



Gunma Museum of Art,
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

群馬県立館林美術館年報 平成18年度

Annual Report

目次

•展覧会 p.5

A 展覧会一覧	p.5
B 企画展示記録	p.6
C 特別展示記録	p.31
D コレクション展示記録	p.41
E 観覧者数一覧表	p.47

•教育普及 p.48

A 講演会	p.48
B 作品解説会・ギャラリートーク	p.48
C ワークショップ	p.51
D 創作体験コーナー みんなのアトリエ	p.53
E 美術講座	p.53
F ミュージアム・オリエンテーリング GMAT探検隊	p.54
G 子どもミュージアム・スクール	p.54
H アーティスト・トーク	p.55
I 学校連携その他	p.55
J 刊行物	p.57
K ボランティア	p.59
L 博物館実習	p.59
M 友の会	p.59

•所蔵資料 p.60

A 美術作品	p.60
B 図書資料その他	p.64

•関係者および職員名簿 p.65

展覧会

A 展覧会一覧

(1)企画展示

展示名	会期、会場	内容
「ウィリアム・モリス展 —ステンドグラス・テキス タイル・壁紙・家具・書籍の デザイナー—」	4/15～6/18 展示室2～4	19世紀後半のイギリスで、中世の職人を手本にした室内装飾をデザインから製造まで一貫して手がけたウィリアム・モリスの、ステンドグラス、テキスタイル、家具などの作品87点を紹介。特集展示「ロセッティとバーン=ジョーンズ—モリスをめぐる作家たち—」を同時開催。
「昭和の記憶—写真に甦る 人々の情景—」	7/1～9/3 展示室2～4	山口県立美術館所蔵の写真から、自然や人間を写した作品を中心に、戦後日本を代表する写真家21名の作品308点を紹介。
「夢のなかの自然—昭和初 期のシュルレアリスムから 現代の絵画へ—」	9/16～11/26 展示室2～4	昭和初期のシュルレアリスム絵画と現代の日本の絵画に表れた「自然」の表現を、42名の作家の作品92点、および多数の資料によって紹介。

(2)特別展示

展示名	会期、会場	内容
館林でみる群馬県立近代美 術館名品展	12/9～4/1 展示室2～4	群馬県立近代美術館の改修工事による休館にともない、同館コレクションの中から、近代日本と西洋の油彩画、版画、彫刻、重要文化財を含む水墨画、人間国宝による染織作品、ファイバー・ワークなどの優れた作品276点を紹介。

(3)コレクション展示

展示名	会期、会場	内容
近現代の彫刻I	4/15～6/18 展示室1	西村盛雄、フランソワ・ポンポンなど近現代の彫刻を展示。
近現代の彫刻II	7/1～9/3 展示室1	ジム・ダイン、バリー・フラナガンなど近現代の彫刻を展示。
近現代の彫刻III	9/16～11/26 展示室1	保田春彦、清水九兵衛など近現代の彫刻を展示。
近現代の彫刻IV フランス近代の彫刻	12/9～4/1 展示室1	群馬県立近代美術館所蔵のオーギュスト・ロダン、当館所蔵のフランソワ・ポンポンなどの近代の彫刻を展示。

1. ウィリアム・モリス展—スタンドグラス・テキスタイル・壁紙・家具・書籍のデザイナー—

会期 平成18年4月15日(土)～6月18日(日)
 会場 展示室2、3、4
 主催 群馬県立館林美術館
 後援 プリティッシュ・カウンシル
 企画協力 プレーン・トラスト
 協力 松下電工、マーキング・マジック
 観覧料 一般800(640)円、大高生400(320)円
 ()内は20名以上の団体割引料金
 同時開催 特集展示「ロセッティとバーン=ジョーンズ—モリスをめぐる作家たち—」

19世紀英国で最も傑出した芸術家のひとりであるウィリアム・モリス(1834-1896)は、デザイナー、詩人、社会思想家として、産業革命の進展のもとに変貌した社会に警鐘を鳴らし、ものづくりの原点に立ち返る活動を繰り広げた。特に、室内装飾の分野においては、中世の職人を手本としてデザインから製造までを一貫して手がけ、建築空間と装飾の間の関係を重視した造形感覚は、アーツ・アンド・クラフツ運動などに至る近代デザインの展開に大きく貢献した。

植物や鳥の連続模様で代表される、モリスの温かく親しみやすいデザインの原点には、社会全体に自然と調和した美し

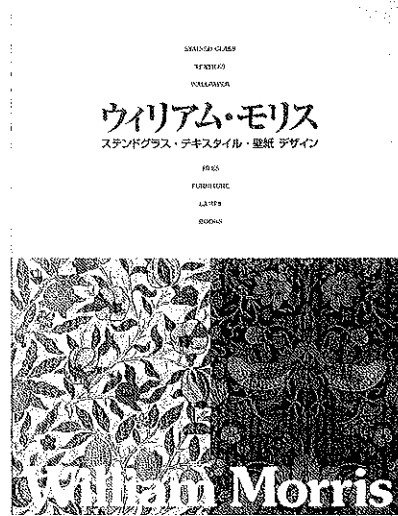
さをもたらそうという壮大な思想がある。その意義は、環境問題や生活の質を重視する現代にあって、いっそう深まっているといえる。

本展は、プレントラストの企画による国内巡回展であり、東京の松下電工汐留ミュージアム、名古屋の松坂屋美術館、鹿児島の高島美術館を巡回した後、当館で開催したものである。モリス商会の作品を中心に、スタンドグラスのデザイン、テキスタイル、家具などの作品87点により、モリスの多彩なデザイン活動を紹介した。会場内には、スタンドグラス、テキスタイル、壁紙、家具、書籍など、モリスの多方面にわたるデザイン活動をセクションに分けて紹介するとともに、家具を配置し、壁紙を貼り、カーテンをかけ、敷物等を敷くなどした、室内を演出するステージを三箇所設け、インテリアを総合的に紹介した。

また、併せて特集展示「ロセッティとバーン=ジョーンズ—モリスをめぐる作家たち—」を行い、国内の美術館等に所蔵されるモリスにゆかりの深い作家の絵画や版画、そしてモリスのデザインとバーン=ジョーンズ等の挿絵によるケルムスコット・プレスの本を展示した。モリスの創作に影響を与えた作家たちの活動とモリスの本のデザインを紹介することにより、モリスの作品世界への一層深い理解を促す一助とした。



ポスター



図録



ジュニアガイド

出品目録

No.	デザイン(作者名)	作品名	制作年	様態	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	製作
SG1	ダンテ・ゲイブリエル・ロッセッティ	山上の垂訓 (オール・セイントズ教会(セルズリー)南側廊窓)	1862	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	124.0×83.8	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
SG2	ウィリアム・モリス	アテネで説教する聖パウロ (オール・セイントズ教会(セルズリー)南側廊窓)	1862	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	124.0×83.8	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
SG3	エドワード・バーン＝ジョーンズ	アダムとエヴァ (オール・セイントズ教会(セルズリー))	1862	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	124.0×83.8	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
SG4	ウィリアム・モリス	大天使ラファエル(左)、ミカ エル(中央)、ガブリエル(右) (セント・メアリー教会(キングズ・ウォルデン)南側廊窓)	1869頃	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	129.9×95.1	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
SG5	エドワード・バーン＝ジョーンズ	希望(左)、慈愛(中央)、信仰 (右) (クライスト・チャーチ大聖堂 (オックスフォード)南側廊西 窓)	1870-71	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	129.9×95.1	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
SG6	エドワード・バーン＝ジョーンズ ウィリアム・モリス	ヴァイターの窓 (クライスト・チャーチ大聖堂 (オックスフォード)聖母孔拝 堂東窓)	1872-73	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	129.9×95.1	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
SG7	エドワード・バーン＝ジョーンズ	堅琴を持つ天使(左)、聖セシ リア(中央)、ヴァイオリンを 持つ天使(右) (クライスト・チャーチ大聖堂 (オックスフォード)セント・ ジョージ・チャペル東窓)	1875	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	129.9×95.1	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
SG8	エドワード・バーン＝ジョーンズ	勝利の天使(左)、聖カタリナ (中央)、苦難の天使(右) (クライスト・チャーチ大聖堂 (オックスフォード)レジメン タル・チャペル東窓)	1878	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	129.9×95.1	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
SG9	エドワード・バーン＝ジョーンズ ウィリアム・モリス	天使団と聖人 (ジーザス・カレッジ・チャペ ル(ケンブリッジ)南翼廊窓)	1873	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	156.6×111	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
SG10	エドワード・バーン＝ジョーンズ フォード・マドックス・ブラウン	聖ルカの窓 (ジーザス・カレッジ・チャペ ル(ケンブリッジ)南翼廊東 壁)	1873	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	129.9×95.1	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
SG11	エドワード・バーン＝ジョーンズ フォード・マドックス・ブラウン	(ジーザス・カレッジ・チャペ ル(ケンブリッジ)身廊南窓)	1873-74	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	129.9×95.1	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
SG12	エドワード・バーン＝ジョーンズ フォード・マドックス・ブラウン	聖マルコの窓 (ジーザス・カレッジ・チャペ ル(ケンブリッジ)南翼廊西 壁)	1874	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	129.9×95.1	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
SG13	エドワード・バーン＝ジョーンズ	聖ヨハネの窓 (ジーザス・カレッジ・チャペ ル(ケンブリッジ)南翼廊西 壁)	1873-75	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	129.9×95.1	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
SG14	エドワード・バーン＝ジョーンズ	忍耐、服従、従順 (ジーザス・カレッジ・チャペ ル(ケンブリッジ)北翼廊窓)	1876	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	129.9×95.1	モリス商会
SG15	エドワード・バーン＝ジョーンズ	アブサロムの窓 (セント・ジョン・ジ・エヴァン ジェリスト教会(ノッティ・ アッシュ)北側廊窓)	1872-90	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	129.9×95.1	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
SG16	エドワード・バーン＝ジョーンズ	アダム(左上)、エノス(左下)、 ノア(右上)、アブラハム(右 下) (セント・マーティン教会 (ブランプトン)北側廊西端窓)	1878	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	124.0×83.8	モリス商会
SG17	エドワード・バーン＝ジョーンズ	モーセ(左上)、ソロモン(左 下)、ダヴィア(右上)、エリヤ (右下) (セント・マーティン教会 (ブランプトン)北側廊中央窓)	1878	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	124.0×83.8	モリス商会
SG18	エドワード・バーン＝ジョーンズ	(セント・マーティン教会 (ブランプトン)内陣東窓)	1880-81	バックライト フィルム	バックライト フィルム・リブロダク ション	156.6×111.0	モリス商会
SG19	エドワード・バーン＝ジョーンズ	希望(左)、慈愛(中央)、信仰 (右) (セント・マーティン教会 (ブランプトン)南側廊窓)	1887	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	124.0×83.8	モリス商会
SG20	エドワード・バーン＝ジョーンズ	(セント・ステイヴン教会 (ガタカー)身廊西窓)	1883	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	129.9×95.1	モリス商会

No.	デザイン(作者名)	作品名	制作年	様態	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	製作
SG21	ジョン・ヘンリー・ダール	聖ペテロへの召命 (セント・ピーター教会 (スウィントン)西側廊窓)	1902	バックライト フィルム	ステンドグラス・リブ ロダクション	124.0×83.8	モリス商会
1	ウィリアム・モリス(デザイン、制作 とも)	ハマスミス・ラグ	1870頃	テキスタイル	木綿の縦糸にウールの 手結び織り	85.0×114	モリス商会
2	ウィリアム・モリス	ひなぎくあるいは草	1870-75	ラグテキスタイル	ヘックモンドワイク社 :キダーミンスター・ カーベット機械織り、 あるいはウィルトン・ ロイヤル・カーベット 社:ブラッセル及びウ ィルトン・パイル織り	183.0×84.0	ヘックモンドワイク社 あるいはウィルトン・ ロイヤル・カーベット 社
3	ウィリアム・モリス	チューリップとバラ	1876	内装用ファブリック	ウール、三重織	80.0×85.0	ヘックモンドワイク社
4	ウィリアム・モリス	小鳥	1878	壁掛け布	ジャカード手織り、 ウール	270.0×84.5	モリス商会
5	ウィリアム・モリス	孔雀と竜	1878	内装用ファブリック	ジャカード手織り、 ウール	226.0×138.0 (布サイズ)	モリス商会
6	ウィリアム・モリス	花園	1879	内装用ファブリック	ジャカード手織り、 シルク、シルク・ウール	58.0×63.0	モリス商会
7	ウィリアム・モリス	カンピオン	1883	壁掛け布	ジャカード手織り、 ウール	150.0×78.0	モリス商会
8	ジョン・ヘンリー・ダール	斜文トレイル	1893頃	内装用ファブリック	ジャカード手織り、 ウール	72.0×112.0	モリス商会
9	ウィリアム・モリス	チューリップ	1875	内装用ファブリック	木版、色刷り、木綿	85.0×92.5	モリス商会
10	ウィリアム・モリス	いちご泥棒	1883	内装用ファブリック	木版、色刷り、木綿	92.5×98.0	モリス商会
11	ウィリアム・モリス	ロウデン	1884	内装用ファブリック	木版、色刷り、木綿	105.0×95.0	モリス商会
12	ウィリアム・モリス	クレイ	1884	内装用ファブリック	木版、色刷り、木綿	110.0×88.0	モリス商会
13	ウィリアム・モリス	草原	1885	内装用ファブリック	木版、色刷り、木綿	124.0×98.0	モリス商会
14	ウィリアム・モリス	メドウェイ	1885	内装用ファブリック	木版、色刷り、木綿	99.0×99.0	モリス商会
15	ウィリアム・モリスあるいはジョン・ ヘンリー・ダール	らっぱ水仙	1891	内装用ファブリック	木版、色刷り、木綿	110.0×98.0	モリス商会
16	ウィリアム・モリス	ひなぎく	1862頃	壁紙	木版、色刷り	81.5×57.0	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
17	ウィリアム・モリス (小鳥はフィリップ・ウェップ)	格子垣(白)	1862頃	壁紙	木版、色刷り	106.0×56.0	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
18	ウィリアム・モリス (小鳥はフィリップ・ウェップ)	格子垣(黒)	1862頃	壁紙	木版、色刷り	100.0×57.0	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
19	ウィリアム・モリス	柘榴あるいは果実	1866頃	壁紙	木版、色刷り	75.0×56.5	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
20	ウィリアム・モリス	柳	1874	壁紙	木版、色刷り	90.0×56.0	モリス商会
21	ウィリアム・モリス	柳(金色)	1874	壁紙	木版、色刷り	91.0×53.5	モリス商会
22	ウィリアム・モリス	ぶどう	1874	壁紙	木版、色刷り	54.5×56.0	モリス・マーシャル・ フォークナー商会
23	ウィリアム・モリス	マリゴールド(深緑)	1875	壁紙	木版、色刷り	105.0×54.5 (ロール)	モリス商会
24	ウィリアム・モリス	マリゴールド(ピンク)	1875	壁紙	木版、色刷り	82.5×57.5	モリス商会
25	ウィリアム・モリス	マリゴールド(緑)	1875	壁紙	木版、色刷り	53.5×53.5	モリス商会
26	ウィリアム・モリス	るりはこべ	1875	壁紙	木版、色刷り	84.5×55.5	モリス商会
27	ウィリアム・モリス	ひまわり	1879	壁紙	木版、色刷り	96.0×55.6	モリス商会
28	ケイト・フォークナー	マロウ(ぎにあおい)	1879	壁紙	木版、色刷り	81.5×54.0	モリス商会
29	ウィリアム・モリス	小鳥とアネモネ	1882	壁紙	木版、色刷り	86.2×57.0	モリス商会
30	メイ・モリス	すいかずら	1883	壁紙	木版、色刷り	70.0×54.5	モリス商会
31	ウィリアム・モリス	ガーデン・チューリップ	1885	壁紙	木版、色刷り	66.5×56.5	モリス商会
32	ウィリアム・モリス	柳の枝	1887	壁紙	木版、色刷り	93.5×42.5	モリス商会
33	ウィリアム・モリス	やぐるまぎく(茶)	1892	壁紙	木版、色刷り	1035.0×55.5 (ロール)	モリス商会
34	ウィリアム・モリス	やぐるまぎく(青)	1892	壁紙	木版、色刷り	77.0×56.5	モリス商会
35	ジョン・ヘンリー・ダール	ゴールデン・リリー	1899	壁紙	木版、色刷り	66.4×56.5	モリス商会
36	ウォルター・クレイン	孔雀	1860年代	壁紙	木版、色刷り	71.5×104.0	
37	ウォルター・クレイン	オレンジの樹	1886	壁紙	木版、色刷り	114.0×53.2	ジェフリー社
38	ジョン・ヘンリー・ダール	セランダイン	1896	壁紙	木版、色刷り	78.0×56.0	モリス商会
39	チャールズ・フランシス・アンズリー ・ヴォイジー	ふくろう	1899頃	壁紙見本	木版、色刷り	63.0×44.0	エセックス社
40	チャールズ・フランシス・アンズリー ・ヴォイジー	小鳥と樹木 [エセックス・No.1]	1904頃	壁紙見本	木版、色刷り	71.0×53.0	エセックス社
41	チャールズ・フランシス・アンズリー ・ヴォイジー	植物[エセックス・No.A.13]	1905頃	壁紙見本	木版、色刷り	76.0×53.0	エセックス社
42	チャールズ・フランシス・アンズリー ・ヴォイジー	小鳥と花 [エセックス・No.A.14]	1907頃	壁紙見本	木版、色刷り	76.0×53.0	エセックス社
43	ウィリアム・ド・モーガン	イズニック風デザイン	1872-81	タイル	手描き彩色陶器	15.0×15.0	

No.	デザイン(作者名)	作品名	制作年	様態	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	製作
44	ウィリアム・ド・モーガン	花と蔓草		タイル・パネル	手描き彩色陶器	62.2×21.0	
45	ウィリアム・ド・モーガン	浮き出し模様のライオン	1888-97	タイル	手描き彩色陶器	15.0×15.0	ウィリアム・ド・モーガン社
46	ウィリアム・ド・モーガン	赤い薔薇	1888-97	タイル・パネル	手描き彩色陶器	30.0×15.0	ウィリアム・ド・モーガン社
47	ウィリアム・ド・モーガン	ル・メリアン	1890頃	タイル・パネル	手描き彩色陶器	16.0×31.0	ウィリアム・ド・モーガン社
48	ウィリアム・ド・モーガン	イエロー・BBB		タイル・パネル	手描き彩色陶器	16.0×31.0	ウィリアム・ド・モーガン社
49	ウィリアム・モリス	ひなぎく	1862頃	タイル・パネル (暖炉の装飾)	手描き彩色陶器		モリス・マーシャル・フォークナー商会
50	おそらくメイ・モリス(刺繍)	暖炉の竪立て	1890頃	家具	マホガニーの枠に刺繍 パネルはめ込み	102.5×65.0× 31.0	モリス商会
51	おそらくフィリップ・ウェップ	サセックス・シリーズの肘掛け椅子	1911頃	家具	黒檀色仕上げのブナ材 蘭草座	85.0×50.0×44.0	モリス商会
52	おそらくフォード・マドックス・ブラウン	サセックス・シリーズの丸椅子	1865頃	家具	黒檀色仕上げの木材、 蘭草座	83.5×44.5×42.0	モリス商会
53	おそらくダント・グイブリエル・ロセッティ	ロセッティの長椅子	1863頃	家具	黒檀色仕上げのブナ材 蘭草座	89.5×139.0× 46.0	モリス・マーシャル・フォークナー商会
54	フィリップ・クリセット	肘掛け椅子	1890・ 1913頃	家具	トネリコ材、蘭草座	115.0×58.5× 41.0	
55	ウィリアム・アーサー・スミス・ベンソン	ランプ	1900頃	ランプ	銅、真鍮、ガラス	59.0×42.0 (ランプシェード 部分直径13cm)	W.A.S.ベンソン・アンド・カンパニー
56	ウィリアム・アーサー・スミス・ベンソン	卓上ランプ	1860年代	ランプ	銅、真鍮、ワセリンガラス	41.0×17.0 (ランプシェード 部分直径17cm)	W.A.S.ベンソン・アンド・カンパニー
57	ウィリアム・アーサー・スミス・ベンソン	卓上ランプ		ランプ	真鍮、ワセリンガラス	38.8×39.0(ランプ シェード部分直 径13cm)	W.A.S.ベンソン・アンド・カンパニー
58	ウィリアム・アーサー・スミス・ベンソン	卓上ランプ	20世紀 初頭	ランプ	銅、真鍮	42.5×28.0(ランプ シェード部分直 径10cm)	W.A.S.ベンソン・アンド・カンパニー
59	ウィリアム・アーサー・スミス・ベンソン	壁掛け鏡	20世紀 初頭	鏡	銅、エンボス加工	79.0×63.0×3.1	
60	ウィリアム・モリス	【輝く平原の物語】	1891	書籍	木口木版・紙	20.0×14.0	ケルムスコット・プレス
61	ウィリアム・モリス	ウィリアム・シェイクスピア 【詩集】	1893	書籍	木口木版・紙	21.5×15.0	ケルムスコット・プレス
62	ウォルター・クレイン	【花のファンタジー 吉きイ ングランドの庭にて】	1899	カラー挿絵本	リトグラフ、多色刷・紙	27.0×19.5	ハウス・オブ・ハーバー ・アンド・ブラザーズ
63	ウォルター・クレイン	【花の饗宴】	1899	カラー挿絵本	リトグラフ、多色刷・紙	25.6×19.5	キャッスル・アンド・カンパニー
64	ウォルター・クレイン	【1898年イースター・アート】	1898	カラー挿絵本	リトグラフ、多色刷・紙	33.7×26.2	J.S.ヴァーチャー社
65	ウォルター・クレイン	【プリントッド・リネン・ア ンド・コットン】	1881以降	ペラ見開き	リトグラフ、多色刷・紙	28.0×22.5	モリス商会
66	エイマー・ヴァランス	【ウィリアム・モリスの芸術】	1897	書籍		39.3×31	ジョージ・ベル・アンド ・サンズ
67	ジョン・ヘンリー・ダール	リスとナイチンゲール	1895頃	刺繍壁掛け	シルク・ダマスク織り、 絹、サテンの刺繍	263.0×218.0	モリス商会

特集展示

No.	デザイン(作者名)	作品名	制作年	様態	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	製作	所蔵
1	アルフレッド・テニソン著、ダンテ・ゲイブリエル・ロッセティ他挿絵	テニソン詩集	1857刊	書籍	木口木版・紙	21.5×15.0 (頁サイズ)	エドワード・モクソン	群馬県立館林美術館
2	ダンテ・ゲイブリエル・ロッセティ画	レディ・リリス	1867	絵画	水彩・紙	52.0×43.0		栃木県立美術館寄託 作品
3	ダンテ・ゲイブリエル・ロッセティ画	マドンナ・ピエトラ	1874	絵画	パステル・紙	90.0×56.0		郡山市立美術館
4	エドワード・バーン＝ジョーンズ画	キリストの昇天	1875	絵画	チョーク・墨・紙	52.7×42.5		郡山市立美術館
5	エドワード・バーン＝ジョーンズ画	アヴァロンにおけるアーサー王の眠り	1894	絵画	水彩・紙	53.6×190.7		郡山市立美術館
6	エドワード・バーン＝ジョーンズ画	フラワーブック	1882-1898 (1905刊)	版画	多色刷りリトグラフ、手彩色・紙	32.0×25.2 (頁サイズ)	ファイブ・アーツ・ソサエティ	群馬県立館林美術館
7	ウィリアム・モリス著、エドワード・バーン＝ジョーンズ画	『クピドとプシケの物語』	1974	書籍	木口木版・紙	34.9×25.0	クロムバー・ヒル・エディションズ	郡山市立美術館
8	ウィリアム・モリス著・デザイン、エドワード・バーン＝ジョーンズ画	ジョン・ボールの夢 および 王の教訓	1892	書籍	木口木版・紙	20.1×14.3	ケルムスコット・プレス	共立女子大学図書館
9	ウィリアム・モリス著・デザイン、チャールズ・マーチ＝ジョージ画	ユートピア便り	1892	書籍	木口木版・紙	20.6×14.2	ケルムスコット・プレス	共立女子大学図書館
10	ダンテ・ゲイブリエル・ロッセティ著、ウェリアム・モリスデザイン	バラッドと物語詩	1893	書籍	木口木版・紙	20.7×14.5	ケルムスコット・プレス	共立女子大学図書館
11	ウィリアム・モリス著・デザイン、ウォルター・クレイン画	輝く平原の物語—その地は生者の国、あるいは不滅の者の土地とも呼ばれる	1894	書籍	木口木版・紙	29.0×21.2	ケルムスコット・プレス	共立女子大学図書館
12	アルジャーノン・チャールズ・スウィンバーン著、ウィリアム・モリスデザイン	カリュドンのアタランタ—悲劇	1894	書籍	木口木版・紙	29.2×21.2	ケルムスコット・プレス	共立女子大学図書館
13	ウィリアム・モリス著・デザイン、エドワード・バーン＝ジョーンズ画	世界のかなたの森	1894	書籍	木口木版・紙	20.8×14.5	ケルムスコット・プレス	共立女子大学図書館
14	15世紀の伝承、ウィリアム・モリスデザイン	悔罪詩篇—七つの悔罪詩篇の英語韻文版	1894	書籍	木口木版・紙	20.9×14.2	ケルムスコット・プレス	共立女子大学図書館
15	ウィリアム・モリス著・デザイン、エドワード・バーン＝ジョーンズ画	世界のはての泉	1896	書籍	木口木版・紙	28.5×20.5	ケルムスコット・プレス	共立女子大学図書館
16	ジェフリー・チャーサー著、エドワード・バーン＝ジョーンズ画、ウィリアム・モリスデザイン	ジェフリー・チャーサー 作品集	1896	書籍	木口木版・紙	42.5×29.5	ケルムスコット・プレス	共立女子大学図書館
17	エドモンド・スペンサー著、ウィリアム・モリスデザイン	羊飼いの唇	1896	書籍	木口木版・紙	23.3×16.3	ケルムスコット・プレス	共立女子大学図書館
18	ジャン・フロワサル著、ウィリアム・モリスデザイン	バーナーズ 翻訳フロワサル年代記の見本版の未完成試し刷り	1896	紙葉	木口木版・ヴェラム	42.5×56.7	ケルムスコット・プレス	共立女子大学図書館
19	ウィリアム・モリス著・デザイン、エドワード・バーン＝ジョーンズ画	ヴォルズング族のシグルズとニープルング族の滅亡の物語	1898	書籍	木口木版・紙	32.5×23.3	ケルムスコット・プレス	共立女子大学図書館

◎印刷物・会場作成物

・図録 B5変形(29×22.2cm)108頁

内容:

はじめに(ウィリアム・モリス出版委員会)
 ウィリアム・モリスとその時代—装飾芸術と環境保護—(藤田治彦)
 カタログ
 ステンドグラス
 モリスとステンドグラス(村岡靖泰)
 テキスタイル
 栄養たっぷりの刺激—素敵な作品との出会い—(箕輪直子)
 壁紙
 モリスのパターン・デザインと庭に咲く花(今井美樹)
 タイル・家具・ランプ・書籍
 邂逅、そして一筋の糸—モリスと日本—(林望)
 ウィリアム・モリス年譜(猪谷聡)
 出品リスト(カタログに挟み込み)
 編集:株式会社プレートラスト、シナジー株式会社
 発行:ウィリアム・モリス出版委員会
 発売:株式会社 梧桐書院
 ・特集展示 パンフレット A3、二つ折り
 ・ジュニアガイド A3、四つ折り
 ・ポスター B2
 ・ちらし A4
 ・ウィリアム・モリス展会場パネル
 挨拶パネル2枚(和文 英文)
 作家ポートレートパネル
 セクション解説パネル4枚
 写真パネル2枚
 ・特集展示会場パネル
 特集展示概説パネル1枚
 作家略歴パネル2枚
 作品解説パネル22枚
 ・会場配布用作品リスト
 ・会場DVD放映
 「ウィリアム・モリスの世界」製作・著作:NHKエデュケーショナル

◎主要関連記事(長文掲示は末尾に*)

[新聞等]

・朝日新聞
 4.15、6.3、6.10
 「ウィリアム・モリス展」〈群馬マリオン 沿線美術館情報〉
 ・朝日ぐんま
 6.2 「『ウィリアム・モリス展』—ステンドグラス・テキスタイル・壁紙・家具・書籍のデザイン—」〈美術探訪〉*
 ・太田タイムス
 4.1 「ウィリアム・モリス展 群馬県立館林美術館で開催 4月15日から」*
 4.29 「自然との調和 モリス展 館林美術館」〈ちょっとそこまで スタッフおすすめスポット〉*
 ・上毛新聞
 3.31、4.14、5.16
 「館林美術館企画展『ウィリアム・モリス展』」〈ゆうまちゃんの掲示板〉
 4.3 「連続模様のモリスを語る 30日に館林美術館『ウィリアム・モリス展』記念講演会」
 4.11 「県立つつじが岡公園 つつじまつり 見どころ 県立館林美術館『ウィリアム・モリス展』を開催」
 4.14、5.19、6.9
 「県立館林美術館『ウィリアム・モリス展』」〈気になる情報 ぱれっと〉
 4.15 「館林美術館企画展示『ウィリアム・モリス展』作品解説会」〈ゆうまちゃんの掲示板〉
 5.1 「壁紙、家具、テキスタイル・・・デザインの巨匠モリスを知ろう」〈bunka〉

4.21、5.12、5.26
 「企画展 ウィリアム・モリス展」〈週末の主な観光イベント〉
 4.27 「館林美術館企画展示『ウィリアム・モリス展』記念講演会」〈ゆうまちゃんの掲示板〉
 4.15、5.4
 「館林美術館企画展示『ウィリアム・モリス展』作品解説会、子どもギャラリートーク」〈ゆうまちゃんの掲示板〉
 5.23 「植物でアート 館林美術館でワークショップ じっくり観察、模様で表現」*
 5.28 「バーン=ジョーンズ『フラワー・ブック』」〈ゆらり 大人の鑑賞時間〉*
 ・上毛新聞シャトル(館林ニュース)
 4.3、4.7、4.14、4.17、4.24、4.28、5.1、5.5、5.8、5.12、5.19、5.22、5.26、5.29、6.2、6.5、6.9、6.12、6.16
 「企画展示 ウィリアム・モリス展」〈出かけてみませんか 情報BOX〉
 4.14、4.17、4.28、5.19、5.26、5.29、6.2
 「学芸員による作品解説会」〈出かけてみませんか 情報BOX〉
 4.14、4.17、4.24、4.28、5.15、5.19、5.22、5.26、5.29、6.2
 「子どもギャラリートーク」〈出かけてみませんか 情報BOX〉
 4.19 「ウィリアム・モリス展 ヒナギク、チューリップ、ヤナギ・・・植物をモチーフに華やかな連続模様」*
 4.22、4.24、4.28
 「ウィリアム・モリス展記念講演会『バーン=ジョーンズが人を、ウェップが鳥を、そして、モリスが野の花を描いた』」〈出かけてみませんか 情報BOX〉
 4.16、4.30、5.14、5.28、6.11
 「館林美術館 ウィリアム・モリス展—ステンドグラス・テキスタイル・壁紙・家具・書籍のデザイン」〈museum〉
 ・下野新聞
 「群馬県立館林美術館 ウィリアム・モリス展」
 ・新美術新聞
 No.1082
 「ウィリアム・モリス展 4/15-6/18 群馬県立館林美術館」〈2006年度上半期開催の主な美術展覧会〉
 ・東京新聞
 4.13、4.27、5.11、6.1
 「群馬県立館林美術館 ウィリアム・モリス展」〈ゆめぼつけ 美の散策〉
 5.10 「ウィリアム・モリス展 館林市・群馬県立館林美術館」〈お楽しみウィークリー 展覧会〉
 ・日本経済新聞
 4.14 「ウィリアム・モリス展」〈文化イベント〉
 4.26 「ウィリアム・モリス展」〈美術 がいど ガイド〉
 ・毎日新聞
 4.12、4.19、5.10、5.24、5.31
 「館林美術館(館林市)『ウィリアム・モリス展』」〈ロセッティとバーン=ジョーンズ—モリスをめぐる作家たち〉〈見る 聴く 遊ぶ Gallery 見る 群馬のミュージアム〉
 5.3 「人間性豊かな作品 ウィリアム・モリス展 県立館林美術館 来月18日まで」〈見る 聴く 遊ぶ Gallery 見る 群馬のミュージアム〉
 6.14 「館林美術館(館林市)『ウィリアム・モリス展』」〈見る 聴く 遊ぶ Gallery 見る 群馬のミュージアム〉
 ・まいにち
 4月号 「館林市 19世紀 イギリスのデザイナー ウィリアム・モリス展 群馬県立館林美術館にて」*〈イベント・インフォメーション〉*
 5月号 「ウィリアム・モリス展」〈ロセッティとバーン=ジョーンズ—モリスをめぐる作家たち—〉〈イベント・インフォメーション〉
 ・讀賣新聞
 「ウィリアム・モリス展 県立館林美術館」〈ギャラリー〉
 ・群馬よみうり あみご
 4.8 「ウィリアム・モリス展 県立館林美術館」〈イベント・インフォメーション〉
 4.15 「ウィリアム・モリス展 記念講演会 県立館林美術館」〈イベント・インフォメーション〉

[定期刊行物]

・足利漫我人

4、5、6月号

「県立館林美術館情報 ウィリアム・モリス展」〈マガジン・ネットワーク〉

4月号「県立館林美術館情報 ウィリアム・モリス展」〈マガジン・ネットワーク〉

・いきいき

2月号「ウィリアム・モリスの世界へ、ようこそ」〈いきいきアートコレクション〉

・楽SAI

4・5月号

「群馬県立館林美術館「ウィリアム・モリス展」—ステンドグラス・テキスタイル・壁紙・家具・書籍のデザイン—」〈県内美術館・博物館情報〉

・教育ぐんま

5月号「ウィリアム・モリス展—ステンドグラス・テキスタイル・壁紙・家具・書籍のデザイン—」

・グラフぐんま

4月号「ウィリアム・モリス展 こどもギャラリートーク」〈こどもイベントガイド〉

5月号「ウィリアム・モリス展」〈イベントガイド〉

・ぐんま広報

5月号「館林美術館企画展示 ウィリアム・モリス展」〈催し〉

・ぐんま情報誌 からっ風

3・4月号

「ウィリアム・モリス展—ステンドグラス・テキスタイル・壁紙・家具・書籍のデザイン—」〈Art Museum 2006美術館情報〉

・芸術新潮

1月号「英国の伝統 ウィリアム・モリス展」巡回先一覧

・書道界

5月号「アーツ&クラフツ運動の先駆者 ウィリアム・モリス展」

・ギャラリー

4、5、6月号

「ウィリアム・モリス展」〈全国美術展「美術館&画廊」スケジュール&マップ〉

・スタンピード

7月号「県立館林美術館」〈ギャラリースケジュール〉

・日経アーキテクチュア

4月24日号

「ウィリアム・モリス展」〈情報交差点〉

・ぱくぱく

3月25日号

「館林美術館 自然と一体になった建築と空間でゆったり美術を楽しむ」〈ウィリアム・モリス展〉〈「館林」特集〉

・博物館研究

Vol.41 No.4

「群馬県立館林美術館 ウィリアム・モリス展、ワークショップ、作品解説会」

Vol.41 No.5

「群馬県立館林美術館 ウィリアム・モリス展、作品解説会、こどもギャラリートーク」

・パリッシュ

4月号「ウィリアム・モリス展 群馬県立館林美術館(館林)」

〈MAEBASHI ISESAKI TOWN INFORMATION〉

・美連協ニュース

5月号「ウィリアム・モリス展」〈加盟館展覧会案内〉

・美術の窓

2005年11月号、12月号、2006年1月号

「ウィリアム・モリス—モリスのインテリア・デザイン」〈巡回展情報〉

2月号「ウィリアム・モリス展 群馬県立館林美術館」〈2006年上半年期展覧会一覧(国内&国外)〉

6月号「ウィリアム・モリス展」〈「ロセッティとバーン=ジョーンズ—モリスをめぐる作家たち」展覧会情報〉

・ぶらざ

5、6月号

「ウィリアム・モリス展」〈ギャラリー〉

・マイ・リトル・タウン

4、5月号

「ウィリアム・モリス展—ステンドグラス・テキスタイル・壁紙・家具・書籍のデザイナー」〈EVENT GUIDE〉

5月号「ウィリアム・モリス ワークショップ「植物アレンジメント/変容する植物模様」〈EVENT GUIDE〉

・渡良瀬通信

5月号「19世紀イギリスのデザイナー ウィリアム・モリス展」

〈Watarase Information トピックス〉

5、6月号

「ウィリアム・モリス展」〈Watarase Information アート 美術館〉

6月号「ロセッティとバーン=ジョーンズ—モリスをめぐる作家たち—」〈Watarase Information アート ギャラリー〉

・Deli-J

5月号「館林市 ウィリアム・モリス展 群馬県立館林美術館」〈Event Guide いべんと伝言板〉

◎放送

[ラジオ]

・エフエム群馬

4.21、6.6 17:47-17:51 〈ぐんま情報トッピング〉

・エフエム太郎

4.7、4.14、5.2

8:20-8:25 〈ぐんまいきいき情報〉

・NHK前橋放送局

5.26 18:00- 〈夕焼けほっと群馬 あなたの街からこんぼんは〉

◎関連事業

・記念講演会

4.30 「バーン=ジョーンズが人を、ウェップが鳥を、そしてモリスが野の花を描いた」

講師：藤田治彦氏(大阪大学大学院文学研究科教授)

・ワークショップ

5.14、5.21

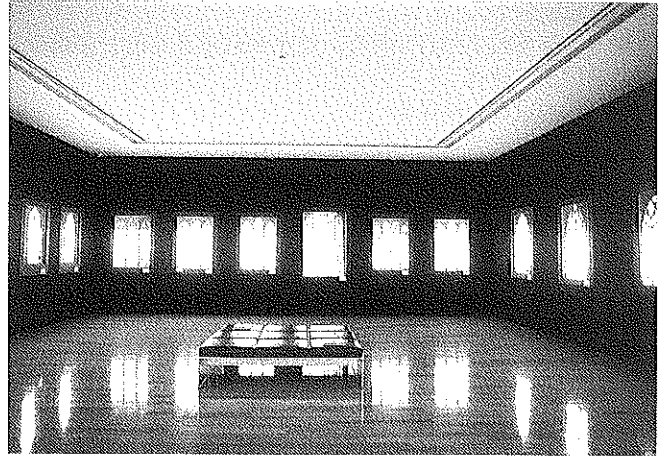
「植物アレンジメント/変容する植物模様」

講師：榎本寿紀氏(美術家)

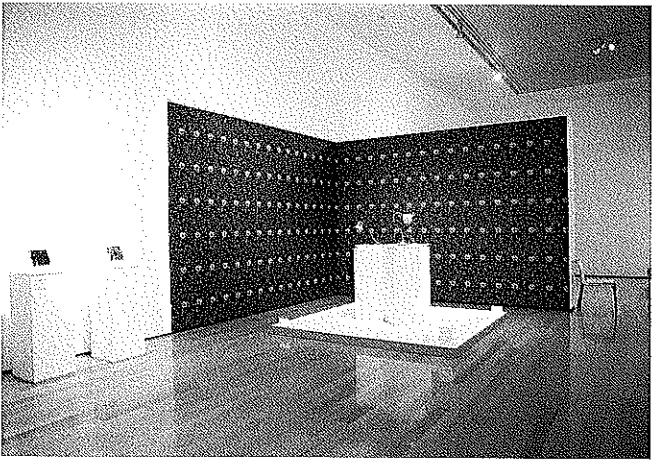
対象：小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)



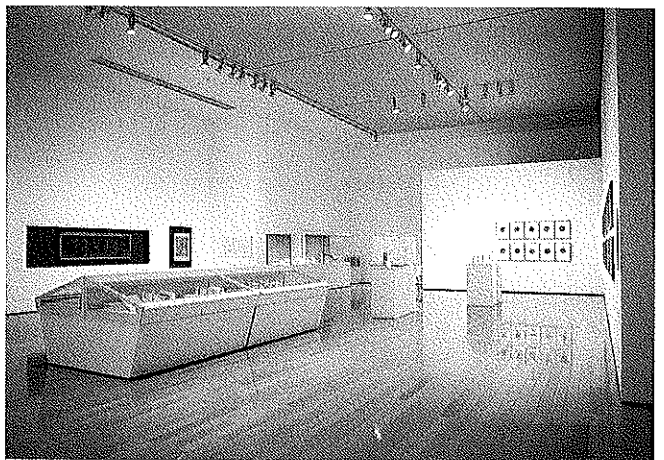
展示室 2



展示室 3



展示室 4



展示室 4 (特集展示)

2. 昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—

会期 平成18年7月1日(土)～9月3日(日)
 前期:7月1日(土)～7月30日(日)
 後期:8月2日(水)～9月3日(日)

会場 展示室2、3、4

主催 群馬県立館林美術館、読売新聞東京本社、美術館連絡協議会

協力 山口県立美術館

協賛 花王株式会社

助成 芸術文化振興基金

観覧料 一般400(320)円、大高生200(160)円
 ()内は20名以上の団体割引料金

山口県立美術館が所蔵する写真コレクションにより、戦後日本を代表する写真家の作品を前後期に分けて全21作家、総計308点紹介。山口県立美術館は、1990年前後に戦後日本の写真家を取り上げる展覧会を3回行っている。その後展示作品のほとんどを収蔵しており、戦後日本の写真家のオリジナル

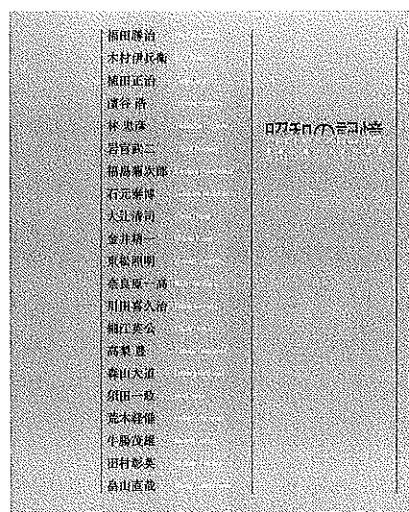
プリントを日本において先駆的に収蔵した美術館として知られ、そのプリントの質の高さも特筆される。

日本の写真評論を代表する金子隆一氏、飯沢耕太郎氏が企画に関わった展覧会を元にしたコレクションであるため、作品数は多くないものの、両氏の歴史観を反映した卓越したコレクションとなっている。その構成を損なわないように作品を選択し、近年収蔵された畠山直哉の作品もあわせ、山口県立美術館の写真コレクションのエッセンスを抽出して、戦後日本写真史を概観することができるような展示を目指した。

本格的な写真の展覧会は当館初。当館のテーマに合わせ、自然や人間を写した作品を多めに選択した。展示作品には現存しない館林市内の映画館「館林クラブ」を被写体とした須田一政の写真など、群馬県内を被写体とした作品も含まれ、地域へのアピールも行うことができた。写真ファン(美術ファンと完全に重なる訳ではない)にも当館を認知してもらい、良いきっかけとなった。



ポスター



図録



出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	寸法 (縦×横cm)	展示期間
第1章 昭和20年代—リアリズム写真と主観主義写真—					
1	福田勝治	静物	1925	40.2×31.8	前期・後期
2	福田勝治	静物	1925頃	28.6×23.3	後期
3	福田勝治	明日待子	1934	40.4×31.9	後期
4	福田勝治	姿	1934	40.5×31.9	前期
5	福田勝治	夏姿・深川娘	1936	40.4×31.8	後期
6	福田勝治	黒髪	1938	40.0×33.4	前期
7	福田勝治	無題	1948	27.1×21.1	前期
8	福田勝治	心の小窓(藤田泰子)	1949	40.4×31.9	前期・後期
9	福田勝治	光りの貝殻	1949	40.4×32.0	前期・後期
10	福田勝治	白紙	1952	40.5×32.0	前期
11	福田勝治	静物	1952	40.5×31.8	後期
12	福田勝治	太陽光	1952頃	40.4×31.9	前期・後期
13	福田勝治	静物	1954頃	31.8×40.5	前期
14	福田勝治	イタリア紀行:船を上げて	1955	26.1×42.4	前期・後期
15	福田勝治	イタリア紀行	1955	26.9×41.9	後期
16	福田勝治	イタリア紀行:カステル・マダマにて	1955	27.0×42.3	後期
17	福田勝治	イタリア紀行:船も眠りに	1955	29.1×40.1	前期
18	木村伊兵衛	秋田市仁井田・青年 『秋田』より	1952	22.6×32.5	前期・後期
19	木村伊兵衛	列車内 『秋田』より	1953	22.2×32.6	前期
20	木村伊兵衛	秋田 『秋田』より	1953	22.6×32.7	後期
21	木村伊兵衛	秋田 『秋田』より	1953	22.6×32.6	後期
22	木村伊兵衛	秋田市追分・板塀 『秋田』より	1953	22.6×32.5	前期
23	木村伊兵衛	大曲市内小友・湯治場 『秋田』より	1953	21.5×32.6	後期
24	木村伊兵衛	大曲・おぼこ 『秋田』より	1953	32.6×21.4	前期・後期
25	木村伊兵衛	大曲市小貫 『秋田』より	1954	22.7×32.5	前期・後期
26	木村伊兵衛	大曲市内小友 『秋田』より	1958	21.4×32.6	前期
27	木村伊兵衛	大曲市内小友 『秋田』より	1959	21.4×32.6	前期
28	木村伊兵衛	六郷町・盆踊り 『秋田』より	1959	21.4×32.6	前期
29	木村伊兵衛	横手 『秋田』より	1963	32.6×21.5	後期
30	木村伊兵衛	大曲市大曲西根 『秋田』より	1963	21.4×32.5	後期
31	植田正治	少女たち	1945	20.5×31.7	後期
32	植田正治	小狐登場	1948	13.8×20.8	前期
33	植田正治	風船をもった自画像	1948頃	25.0×24.3	前期
34	植田正治	パパとママとコドモたち 「綴り方・私の家族」より	1949	21.9×22.0	前期
35	植田正治	パパとママとコドモたち 「綴り方・私の家族」より	1949	24.9×24.4	前期・後期
36	植田正治	ボクのわたしのお母さん	1950	13.2×21.9	後期
37	植田正治	妻のいる砂丘風景(I)	1950	25.1×24.3	前期
38	植田正治	妻のいる砂丘風景(II)	1950頃	25.0×24.3	後期
39	植田正治	妻のいる砂丘風景(III)	1950頃	23.2×23.0	前期・後期
40	植田正治	砂丘人物	1950頃	24.8×24.5	後期
41	植田正治	砂丘人物	1950	23.5×21.9	前期
42	植田正治	土門拳と朝倉君	1950	21.9×22.0	後期
43	植田正治	砂丘群像 土門拳・石津良介・桑原甲子雄たち	1950	22.5×24.5	後期
44	植田正治	「童暦」より		20.5×31.3	前期
45	濱谷浩	歌ってゆく鳥追い 新潟県桑取谷 『雪国』より	1940	20.0×29.9	前期・後期
46	濱谷浩	冬の道 秋田県船越近郊 『地の貌』より	1955	19.9×30.0	前期
47	濱谷浩	津軽の男 青森県北津軽郡中里町近郷 『裏日本』より	1955	20.0×29.9	前期・後期
48	濱谷浩	氷の下の地引き網 秋田県八郎潟三倉鼻沖にて 『裏日本』より	1955	20.0×30.0	前期
49	濱谷浩	田植女 富山県中新川郡上市町白萩 『裏日本』より	1955	30.0×19.8	前期・後期
50	濱谷浩	巾着網の積み込み作業 山口県阿武郡須佐町 『裏日本』より	1955	19.9×29.8	後期
51	濱谷浩	稲刈り 山形県酒田市最上町 『裏日本』より	1955	29.9×19.8	後期
52	濱谷浩	海の親子 山口県萩市見島	1955	29.9×19.8	前期

No.	作者名	作品名	制作年	寸法 (縦×横cm)	展示期間
53	濱谷浩	娘宿 山口県萩市	1955	19.9×29.9	前期
54	濱谷浩	餅つくり 新潟県小千谷市 『裏日本』より	1956	20.1×29.8	前期
55	濱谷浩	山の湯治場 青森県北郡谷地温泉 『裏日本』より	1957	19.9×29.8	後期
56	濱谷浩	武家屋敷の跡 山口県萩市 『裏日本』より		19.9×30.0	後期
57	濱谷浩	青年宿 山口県萩市玉江浦		19.9×30.0	後期
58	林忠彦	煙草をくゆらす浮浪児 上野	1946	35.5×28.0	前期
59	林忠彦	引き揚げ 上野駅	1946	35.5×23.9	前期
60	林忠彦	銀座のサンドイッチマン	1946	28.0×27.9	後期
61	林忠彦	織田作之助	1946	35.5×28.0	前期・後期
62	林忠彦	太宰治	1946	35.4×23.8	前期・後期
63	林忠彦	倒壊したビルを家に 江戸川橋	1947	28.0×28.1	前期
64	林忠彦	坂口安吾	1948	28.0×31.3	前期・後期
65	林忠彦	ゴミ捨て場のバー 大森	1950	35.5×23.9	後期
66	林忠彦	豊漁 千葉県片貝	1953	23.7×35.4	前期
67	林忠彦	軍隊酒場 新宿	1955	23.7×35.6	後期
68	林忠彦	日本人女性と東京見物をする進駐軍兵士 皇居前広場	1955頃	23.6×35.5	後期
69	林忠彦	議事堂と傷痍軍人	1956	35.5×23.7	後期
70	林忠彦	歌声喫茶 新宿	1957	24.0×35.5	前期
71	岩宮武二	日覆	1946	33.2×15.9	前期
72	岩宮武二	鏡	1946	21.6×30.3	後期
73	岩宮武二	蝶 習作	1947	30.2×23.5	後期
74	岩宮武二	ヌード 習作	1947	29.5×22.1	前期
75	岩宮武二	砂丘	1949	27.3×22.9	前期
76	岩宮武二	猫	1950	23.6×28.9	前期
77	岩宮武二	マヌカン	1953	30.3×20.9	前期
78	岩宮武二	マヌカン	1955	32.8×31.7	後期
79	岩宮武二	マヌカン	1955	30.3×20.5	前期
80	岩宮武二	マヌカン	1955	30.2×20.5	後期
81	岩宮武二	マヌカン	1955	30.3×20.2	後期
82	岩宮武二	三原山〈馬〉	1955	30.3×20.9	後期
83	福島菊次郎	『ピカドン:ある原爆被災者の記録』より	1951	32.9×23.8	前期・後期
84	福島菊次郎	『ピカドン:ある原爆被災者の記録』より	1951	33.0×24.9	前期
85	福島菊次郎	『ピカドン:ある原爆被災者の記録』より	1952	24.8×33.0	前期
86	福島菊次郎	『ピカドン:ある原爆被災者の記録』より	1953	33.0×23.3	前期
87	福島菊次郎	『ピカドン:ある原爆被災者の記録』より	1957	33.0×24.7	前期
88	福島菊次郎	『ピカドン:ある原爆被災者の記録』より	1958	24.3×32.9	前期
89	福島菊次郎	『ピカドン:ある原爆被災者の記録』より	1960	23.2×33.0	前期
90	福島菊次郎	『ピカドン:ある原爆被災者の記録』より	1960頃	33.0×23.7	後期
91	福島菊次郎	『ピカドン:ある原爆被災者の記録』より	1960頃	32.9×23.2	後期
92	福島菊次郎	『ピカドン:ある原爆被災者の記録』より	1960	24.2×32.9	後期
93	福島菊次郎	『ピカドン:ある原爆被災者の記録』より	1960頃	32.9×24.2	後期
94	福島菊次郎	『ピカドン:ある原爆被災者の記録』より	1960頃	24.3×32.9	後期
95	福島菊次郎	『ピカドン:ある原爆被災者の記録』より	1960頃	32.8×24.3	後期
96	福島菊次郎	『ピカドン:ある原爆被災者の記録』より	1960頃	24.2×33.0	前期・後期
97	大辻清司	足について	1949	28.4×24.9	後期
98	大辻清司	からまりのオブジェ	1949	22.4×32.5	前期
99	大辻清司	物体A	1949	31.9×24.4	後期
100	大辻清司	戦災に焼け残った蔵 東京・中野坂上	1950頃	22.3×27.2	前期
101	大辻清司	新宿・夜I 東京・新宿駅南口	1952	25.0×24.9	前期
102	大辻清司	新宿・夜III 東京・新宿駅南口	1952	25.0×24.9	後期
103	大辻清司	ショーウィンドウI 東京・本郷	1954	25.0×24.9	前期
104	大辻清司	ショーウィンドウII 東京・本郷	1956	25.0×24.9	後期
105	大辻清司	ショーウィンドウIII 東京・本郷	1956	25.1×24.9	前期

No.	作者名	作品名	制作年	寸法 (縦×横cm)	展示期間
106	大辻清司	氷紋Ⅱ 群馬・赤城山・大沼	1956	25.1×24.9	前期
107	大辻清司	氷紋Ⅲ 群馬・赤城山・大沼	1950年代	25.1×24.9	後期
108	大辻清司	無言歌Ⅰ 東京・谷原	1957	25.0×24.9	前期
109	大辻清司	無言歌Ⅱ 東京・豊洲	1957	25.2×25.0	後期
110	大辻清司	黒板塀Ⅰ 埼玉・秩父	1957	25.0×24.9	前期
111	大辻清司	黒板塀Ⅱ 埼玉・秩父	1957	25.1×24.9	後期
112	大辻清司	航空機 東京・羽田空港	1957	22.5×32.3	後期
113	金井精一	軽井沢にて	1949	23.6×26.1	後期
114	金井精一	ビヤホール	1949	29.6×23.8	前期
115	金井精一	デンスケ君	1950	23.7×31.4	後期
116	金井精一	板壁	1950	31.5×23.7	後期
117	金井精一	家	1950	22.3×31.4	後期
118	金井精一	青空楽団	1950	21.4×31.5	前期
119	金井精一	おもちゃ屋	1950	23.4×29.6	前期
120	金井精一	車内にて	1951	29.6×23.8	後期
121	金井精一	街角	1951	28.9×23.8	前期
122	金井精一	ロック座裏	1951	31.4×19.6	前期
123	金井精一	ロック座楽屋口	1951	31.5×21.1	前期
124	金井精一	サーカス	1951	31.5×22.0	後期
125	金井精一	おもちゃ屋	1952	31.5×21.1	前期

第2章 昭和30年代—セルフエージェンシー「VIVO」とその時代—

126	石元泰博	『ある日ある所』より	1948-52	23.9×23.6	前期
127	石元泰博	『ある日ある所』より	1948-52	20.6×20.4	後期
128	石元泰博	『ある日ある所』より	1950頃	24.0×23.8	後期
129	石元泰博	『ある日ある所』より	1950頃	23.9×23.8	前期
130	石元泰博	『ある日ある所』より	1948-52	28.2×22.3	前期
131	石元泰博	『ある日ある所』より	1948-52	19.0×24.5	後期
132	石元泰博	『ある日ある所』より	1948-52	24.0×23.9	後期
133	石元泰博	『ある日ある所』より	1952-53	23.9×23.8	前期
134	石元泰博	『ある日ある所』より	1948-52	22.4×28.2	前期
135	石元泰博	『ある日ある所』より	1948-52	22.3×28.3	前期
136	石元泰博	『ある日ある所』より	1948-52	28.2×22.4	前期
137	石元泰博	『ある日ある所』より	1948-52	24.0×23.7	後期
138	石元泰博	『ある日ある所』より	1948-52	23.8×23.8	後期
139	石元泰博	『ある日ある所』より	1948-52	24.0×23.7	後期
140	石元泰博	『ある日ある所』より	1948-52	20.0×28.2	前期
141	石元泰博	『ある日ある所』より	1959-61	20.1×28.0	後期
142	東松照明	「〈11時02分〉NAGASAKI」より	1961	33.8×33.6	後期
143	東松照明	「〈11時02分〉NAGASAKI」より	1961	34.5×32.8	後期
144	東松照明	「〈11時02分〉NAGASAKI」より	1961	33.7×33.6	後期
145	東松照明	「〈11時02分〉NAGASAKI」より	1961	33.8×33.6	後期
146	東松照明	「〈11時02分〉NAGASAKI」より	1961	33.3×33.6	後期
147	東松照明	「〈11時02分〉NAGASAKI」より	1962	41.7×28.2	後期
148	東松照明	「〈11時02分〉NAGASAKI」より	1963	27.8×40.3	後期
149	東松照明	「〈11時02分〉NAGASAKI」より	1962	40.3×27.6	後期
150	東松照明	「〈11時02分〉NAGASAKI」より	1963	28.0×40.7	後期
151	東松照明	「〈11時02分〉NAGASAKI」より	1963	37.8×30.0	後期
152	東松照明	波照間島 「太陽の鉛筆」より	1971	28.0×41.2	前期
153	東松照明	波照間島 「太陽の鉛筆」より	1971	41.3×27.6	前期
154	東松照明	波照間島 「太陽の鉛筆」より	1971	27.6×41.2	前期
155	東松照明	宮古島 「太陽の鉛筆」より	1971	41.2×27.2	前期
156	東松照明	新城島 「太陽の鉛筆」より	1972	41.5×27.4	前期

No.	作者名	作品名	制作年	寸法 (縦×横cm)	展示期間
157	東松照明	渡嘉敷島 「太陽の鉛筆」より	1972	27.5×41.1	前期
158	東松照明	西表島 「太陽の鉛筆」より	1972	28.4×41.4	前期
159	東松照明	西表島 「太陽の鉛筆」より	1972	41.3×28.4	前期
160	東松照明	西表島 「太陽の鉛筆」より	1972	27.5×41.2	前期
161	東松照明	宮古島 「太陽の鉛筆」より	1973	27.9×40.9	前期
162	奈良原一高	沈黙の園 #1 『王国』より	1958	26.0×17.0	前期
163	奈良原一高	沈黙の園 #3 『王国』より	1958	26.0×17.3	前期・後期
164	奈良原一高	沈黙の園 #4 『王国』より	1958	25.9×17.6	前期
165	奈良原一高	沈黙の園 #5 『王国』より	1958	18.3×27.9	前期
166	奈良原一高	沈黙の園 #23 『王国』より	1958	25.9×16.3	前期
167	奈良原一高	沈黙の園 #25 『王国』より	1958	18.5×27.9	後期
168	奈良原一高	沈黙の園 #45 『王国』より	1958	20.4×25.8	後期
169	奈良原一高	沈黙の園 #52 『王国』より	1958	26.3×17.2	後期
170	奈良原一高	沈黙の園 #53 『王国』より	1958	25.9×17.2	後期
171	奈良原一高	壁の中 #1 『王国』より	1956	26.0×17.9	前期
172	奈良原一高	壁の中 #3 『王国』より	1958	18.5×28.0	前期・後期
173	奈良原一高	壁の中 #11 『王国』より	1956	18.0×27.9	前期
174	奈良原一高	壁の中 #17 『王国』より	1956	18.6×28.2	後期
175	奈良原一高	壁の中 #29 『王国』より	1956	18.7×28.2	後期
176	川田喜久治	要塞跡 『地図』より	1960-65	29.3×22.1	前期・後期
177	川田喜久治	トーチカ内部 落書き 『地図』より	1960-65	22.1×29.3	後期
178	川田喜久治	要塞跡 火薬庫 『地図』より	1960-65	22.0×29.3	後期
179	川田喜久治	原爆ドームと太陽 『地図』より	1960-65	32.5×21.5	前期
180	川田喜久治	鉄屑 『地図』より	1960-65	22.2×29.3	後期
181	川田喜久治	ケロイドの腕 『地図』より	1960-65	32.5×21.5	前期
182	川田喜久治	特攻隊員の写真 『地図』より	1960-65	32.5×21.5	後期
183	川田喜久治	原爆ドーム天井 しみと剝落 『地図』より	1960-65	18.6×29.6	前期
184	川田喜久治	原爆ドーム壁面 『地図』より	1960-65	29.3×22.3	後期
185	川田喜久治	原爆死 中学生夏服上着 『地図』より	1960-65	32.5×21.5	前期
186	川田喜久治	九十才 日本人 下賜勲章 『地図』より	1960-65	22.1×29.6	前期
187	川田喜久治	原爆ドームの影 『地図』より	1960-65	21.5×32.6	前期
188	川田喜久治	ラッキーストライク 『地図』より	1960-65	32.5×21.5	前期
189	川田喜久治	コココーラ 『地図』より	1960-65	22.0×29.5	後期
190	川田喜久治	要塞跡 『地図』より	1960-65	32.5×21.5	後期
191	細江英公	おとこと女 #1	1960	30.5×20.4	前期
192	細江英公	おとこと女 #4	1960	30.5×20.3	後期
193	細江英公	おとこと女 #6	1960	30.5×19.9	後期
194	細江英公	おとこと女 #8	1960	22.9×22.8	前期
195	細江英公	おとこと女 #10	1960	20.3×30.6	前期・後期
196	細江英公	おとこと女 #16	1960	22.7×23.0	前期
197	細江英公	おとこと女 #19	1960	30.5×19.9	前期
198	細江英公	おとこと女 #20	1960	23.2×23.0	前期
199	細江英公	おとこと女 #24	1960	19.3×31.6	前期・後期
200	細江英公	おとこと女 #25	1959	20.4×30.5	後期
201	細江英公	おとこと女 #29	1960	22.9×22.8	後期
202	細江英公	おとこと女 #33	1960	19.5×30.6	後期
203	細江英公	おとこと女 番外II	1960	20.8×29.6	前期
204	細江英公	おとこと女 番外III	1959	20.8×29.6	後期

第3章 昭和40年代—コンボラ写真と私写真—以降

205	高梨豊	船橋市 ヘルスセンター 7月17日 「東京人」より	1965	20.3×30.6	後期
206	高梨豊	千代田区 丸の内松竹 4月4日 ビートルズ映画大会 「東京人」より	1965	20.3×30.6	前期
207	高梨豊	豊島区 西武デパート 4月25日 「東京人」より	1965	30.6×20.3	後期

No.	作者名	作品名	制作年	寸法 (縦×横cm)	展示期間
208	高梨豊	新宿区 新宿駅ビル 3月21日 東京・ニューヨーク姉妹校絵画展 「東京人」より	1965	20.3×30.6	前期
209	高梨豊	新宿区 歌舞伎町つり堀 6月13日 「東京人」より	1965	20.3×30.6	後期
210	高梨豊	台東区 浅草寺 8月29日 「東京人」より	1965	20.3×30.6	後期
211	高梨豊	文京区 東大 5月23日 五月祭 「東京人」より	1965	20.3×30.6	前期
212	高梨豊	新宿区 伊勢丹 10月23日 タミーちゃん ¥1,000 ペパーちゃん ¥700 「東京人」より	1965	20.3×30.6	後期
213	高梨豊	台東区 上野駅 12月30日'64 東レラッシュコート 「東京人」より	1964	30.6×20.3	前期
214	高梨豊	新宿区 新宿-4 5月1日 「東京人」より	1965	20.3×30.6	後期
215	高梨豊	新宿区 新宿駅西口(3月28日) 「東京人」より	1965	30.6×20.3	前期
216	高梨豊	足立区 竹ノ塚 第2団地 「東京人」より	1965	20.3×30.6	後期
217	高梨豊	渋谷区 代々木国立屋内競技場 私たちの住まい展 10月17日→11 月8日 「東京人」より	1965	20.3×30.6	後期
218	高梨豊	千代田区 東京駅 「東京人」より	1964-65	30.6×20.3	前期
219	高梨豊	新宿区 角筈-1 ビュフェ・ととや 「東京人」より	1964-65	20.3×30.6	前期
220	高梨豊	新宿区 新宿駅 2月12日 「東京人」より	1965	20.3×30.6	前期
221	森山大道	にっぽん劇場 『にっぽん劇場写真帖』より	1966	34.2×23.3	前期・後期
222	森山大道	にっぽん劇場 『にっぽん劇場写真帖』より	1966	34.2×23.3	前期
223	森山大道	暁の1号線(三重県桑名市朝日町) 『狩人』より	1968	23.3×34.3	前期
224	森山大道	背のびして見る海峡を 『狩人』より	1970	23.3×34.3	後期
225	森山大道	犬の町 『狩人』より	1971	23.3×34.3	前期・後期
226	森山大道	地平線 『狩人』より	1971	23.9×34.3	後期
227	森山大道	『狩人』より	1971	23.3×34.3	後期
228	森山大道	『狩人』より	1971	34.3×23.3	前期
229	森山大道	『狩人』より	1971	23.3×34.3	前期
230	森山大道	櫻花	1972	23.3×34.3	後期
231	森山大道	夕張 「北海道」より	1973	23.3×34.3	前期
232	森山大道	むつ松・日本三景その3 『続にっぽん劇場写真帖』より	1974	25.3×34.3	後期
233	森山大道	キャベツ	1975	23.3×34.3	前期
234	森山大道	猪豚 『続にっぽん劇場写真帖』より	1977	23.3×34.3	後期
235	須田一政	埼玉越生、梅祭 1976年3月14日 『風姿花伝』より	1976	32.7×32.4	前期
236	須田一政	群馬安中 1976年 『風姿花伝』より	1976	32.6×32.5	前期
237	須田一政	群馬太田 1975年6月8日 『風姿花伝』より	1975	32.5×32.5	後期
238	須田一政	鎌倉明月院 1975年6月21日 『風姿花伝』より	1975	32.6×32.5	前期
239	須田一政	横浜山下公園、港祭 1976年5月 『風姿花伝』より	1976	32.6×32.5	前期
240	須田一政	山形尾花沢、花笠祭 1976年8月27日 『風姿花伝』より	1976	32.5×32.6	後期
241	須田一政	秋田西馬音内、盆踊り 1976年8月18日 『風姿花伝』より	1976	32.6×32.5	前期
242	須田一政	山形銀山温泉 1976年8月28日 『風姿花伝』より	1976	32.5×32.5	前期
243	須田一政	茨木阿字ヶ浦 1977年8月7日 『風姿花伝』より	1977	32.7×32.5	後期
244	須田一政	群馬館林 1976年6月6日 『風姿花伝』より	1976	32.7×32.5	前期・後期
245	須田一政	鎌倉長谷観音、ぼたん祭 1976年6月12日 『風姿花伝』より	1976	32.6×32.5	後期
246	須田一政	岐阜郡上八幡 1975年12月3日 『風姿花伝』より	1975	32.5×32.5	後期
247	須田一政	神奈川三浦三崎 1975年6月2日 『風姿花伝』より	1975	32.5×32.5	前期・後期
248	須田一政	埼玉秩父小鹿野、鉄砲祭 1976年12月15日 『風姿花伝』より	1976	32.6×32.5	後期
249	荒木経惟	『センチメンタルな旅』より	1971	23.3×34.5	前期
250	荒木経惟	『センチメンタルな旅』より	1971	23.2×34.4	前期
251	荒木経惟	『センチメンタルな旅』より	1971	23.3×34.6	前期
252	荒木経惟	『センチメンタルな旅』より	1971	23.4×34.6	前期
253	荒木経惟	『センチメンタルな旅』より	1971	23.3×34.5	前期
254	荒木経惟	『センチメンタルな旅』より	1971	23.2×34.6	前期
255	荒木経惟	『センチメンタルな旅』より	1971	23.4×34.5	前期
256	荒木経惟	『センチメンタルな旅』より	1971	23.4×34.6	後期
257	荒木経惟	『センチメンタルな旅』より	1971	23.3×34.5	後期

No.	作者名	作品名	制作年	寸法 (縦×横cm)	展示期間
258	荒木経惟	『センチメンタルな旅』より	1971	23.3×34.6	前期・後期
259	荒木経惟	『センチメンタルな旅』より	1971	23.3×34.6	後期
260	荒木経惟	『センチメンタルな旅』より	1971	23.3×34.6	後期
261	荒木経惟	『センチメンタルな旅』より	1971	23.4×34.6	後期
262	荒木経惟	『センチメンタルな旅』より	1971	23.4×34.5	後期
263	荒木経惟	『センチメンタルな旅』より	1971	23.3×34.6	後期
264	牛腸茂雄	『SELF AND OTHERS』(60点組)より	1977	14.3×21.4	前期・後期
265	牛腸茂雄	『SELF AND OTHERS』(60点組)より	1977	14.4×21.5	前期・後期
266	牛腸茂雄	『SELF AND OTHERS』(60点組)より	1977	14.3×21.4	前期
267	牛腸茂雄	『SELF AND OTHERS』(60点組)より	1977	14.3×21.4	前期
268	牛腸茂雄	『SELF AND OTHERS』(60点組)より	1977	14.4×21.5	前期
269	牛腸茂雄	『SELF AND OTHERS』(60点組)より	1977	14.3×21.4	前期
270	牛腸茂雄	『SELF AND OTHERS』(60点組)より	1977	14.2×21.2	後期
271	牛腸茂雄	『SELF AND OTHERS』(60点組)より	1977	14.3×21.3	後期
272	牛腸茂雄	『SELF AND OTHERS』(60点組)より	1977	14.3×21.3	後期
273	牛腸茂雄	『SELF AND OTHERS』(60点組)より	1977	14.3×21.4	後期
274	牛腸茂雄	『SELF AND OTHERS』(60点組)より	1977	14.3×21.4	前期
275	牛腸茂雄	『SELF AND OTHERS』(60点組)より	1977	14.4×21.3	後期
276	牛腸茂雄	家族の写真(6才の時)1952『SELF AND OTHERS』(60点組)より	1977	4.1×5.4	前期・後期
277	牛腸茂雄	Self-portrait 『SELF AND OTHERS』(60点組)より	1977	14.2×21.4	前期・後期
278	牛腸茂雄	『SELF AND OTHERS』(60点組)より	1977	14.3×21.5	前期・後期
279	田村彰英	1967年7月18日 「家」(12点組)より	1967	40.5×40.5	前期
280	田村彰英	1967年7月18日 「家」(12点組)より	1967	40.4×40.7	前期
281	田村彰英	1967年7月18日 「家」(12点組)より	1967	40.4×40.5	前期
282	田村彰英	1967年7月18日 「家」(12点組)より	1967	40.4×40.5	前期
283	田村彰英	1967年10月8日 「家」(12点組)より	1967	40.4×40.6	前期
284	田村彰英	1967年10月24日 「家」(12点組)より	1967	40.4×40.7	前期
285	田村彰英	1967年12月24日 「家」(12点組)より	1967	40.4×40.7	前期
286	田村彰英	1968年2月16日 「家」(12点組)より	1968	40.5×40.2	前期
287	田村彰英	1968年6月19日 「家」(12点組)より	1968	40.5×40.1	前期
288	田村彰英	1968年6月22日 「家」(12点組)より	1968	40.4×40.6	前期
289	田村彰英	1968年7月6日 「家」(12点組)より	1968	40.5×40.6	前期
290	田村彰英	1968年7月27日 「家」(12点組)より	1968	40.5×40.6	前期
291	田村彰英	1976年12月16日 「道」(12点組)より	1976	40.4×40.6	後期
292	田村彰英	1977年4月25日 「道」(12点組)より	1977	40.5×40.5	後期
293	田村彰英	1978年1月3日 「道」(12点組)より	1978	40.4×40.7	後期
294	田村彰英	1978年8月25日 「道」(12点組)より	1978	40.1×40.2	後期
295	田村彰英	1979年2月13日 「道」(12点組)より	1979	40.1×40.1	後期
296	田村彰英	1979年4月23日 「道」(12点組)より	1979	40.4×40.3	後期
297	田村彰英	1979年6月10日 「道」(12点組)より	1979	40.5×40.2	後期
298	田村彰英	1979年8月19日 「道」(12点組)より	1979	40.5×40.3	後期
299	田村彰英	1979年12月23日 「道」(12点組)より	1979	40.4×40.2	後期
300	田村彰英	1980年6月28日 「道」(12点組)より	1980	40.5×40.2	後期
301	田村彰英	1980年12月31日 「道」(12点組)より	1980	40.5×40.3	後期
302	田村彰英	1981年2月17日 「道」(12点組)より	1981	40.5×40.5	後期
303	島山直哉	LIME WORKS LW25008 『LIME WORKS』より	1992	71.6×145.1	後期
304	島山直哉	LIME WORKS LW30214 『LIME WORKS』より	1992	71.5×145.0	前期
305	島山直哉	LIME WORKS LW30504 『LIME WORKS』より	1992	71.5×145.1	前期
306	島山直哉	LIME WORKS LW35508 『LIME WORKS』より	1993	71.5×145.0	後期
307	島山直哉	LIME WORKS LW37507 『LIME WORKS』より	1993	145.1×71.6	前期
308	島山直哉	LIME WORKS LW39316 『LIME WORKS』より	1994	71.5×145.0	後期

技法: Nos.303-308はタイプCプリント。他はゼラチン・シルヴァー・プリント。

◎印刷物・会場作成物

・図録 A5(21.0×17.3cm)50頁

内容:

目次

謝辞、あいさつ(館長 木島俊介)

第1章 昭和20年代—リアリズム写真と主観主義写真—

第2章 昭和30年代—セルフエージェンシー「VIVO」とその時代—

第3章 昭和40年代—コンボラ写真と私写真—以降

編集・発行:群馬県立館林美術館

章解説、作家・作品解説:当館学芸員 中田宏明

デザイン:矢萩喜徳郎

制作:(株)キジュウロウヤハギ

・ジュニアガイド A3、四つ折り

・ポスター B2

・チラシ A4

・パネル

挨拶パネル2枚(館長挨拶 和文、英文)

章解説パネル3枚

作家・作品解説パネル21枚

山口県立美術館紹介パネル1枚

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に*)

[新聞等]

・朝日新聞

7.1 「昭和の記憶—写真に甦(よみがえ)る人々の情景」(群馬マリオン ミュージアム museum)

7.8、7.15、7.22

「群馬県立館林美術館 昭和の記憶—写真に甦(よみがえ)る人々の情景」
〈群馬マリオン 沿線美術館情報〉

7.13 「写真で浮かぶ「昭和」安吾や太宰 大曲・おぼこ… オリジナル
プリント多数 館林で企画展」*〈くらし・経済〉

・朝日ぐんま

8.4 「昭和の記憶 ～写真に甦(よみがえ)る人々の情景～」*〈美術探訪〉

8.11 「ワークショップ創作体験コーナー「みんなのアトリエ・日光写真」」*〈イベントBOX〉

・太田タイムス

7.8 「戦後日本を代表する写真作家の作品 昭和の記憶—写真に甦(よみがえ)る人々の情景—群馬県立館林美術館」*

・産経新聞

7.14 「甦(よみがえ)る昭和—館林で写真展」*

・上毛新聞

6.25、8.6

「館林美術館企画展示「昭和の記憶—写真に甦(よみがえ)る人々の情景」
〈ゆうまちゃんの揭示板〉

7.1 「よみがえる昭和の情景 著名写真家21人の300点 安吾の姿や
70年代の街も きょうから館林美術館」*〈地域総合〉

7.4 「館林美術館企画展示「昭和の記憶—写真に甦(よみがえ)る人々の
情景」記念講演会」*〈ゆうまちゃんの揭示板〉

7.11 「館林美術館創作体験「みんなのアトリエ」ボランティア募集」
〈ゆうまちゃんの揭示板〉

7.7、8.4、8.11、8.25

「企画展「昭和の記憶—写真に甦(よみがえ)る人々の情景—」*〈週末の主な
観光イベント〉

7.22 「館林美術館創作体験「みんなのアトリエ」*〈ゆうまちゃんの掲
示板〉

7.28 「「見る見るうち」像浮かぶ 日光写真創作体験—館林美術館」*

7.25 「ピンホール写真応用し現代美術 5・6日 館林美術館で ワーク
ショップ」*

7.31 「一瞬に込めた創造性 戦後の写真家21人を紹介 本県ゆかりの
作品など3部構成で300点」*

7.31 「植田正治(1913～2000)砂丘舞台上に空間演出」* (中田宏明・県立
館林美術館学芸員〈戦後写真の名作「昭和の記憶」展から 1〉

8.6 「館林美術館 ピンホール写真できた 現代美術にチャレンジ」*

8.7 「林志彦(1918～1990)「文士」の力強さ表現」* (中田宏明・県立館
林美術館学芸員〈戦後写真の名作「昭和の記憶」展から 2〉

8.11 「県立館林美術館「昭和の記憶—写真に甦(よみがえ)る人々の情景 山口県
立美術館所蔵作品より」*〈気になる情報 ばれっと 県内 美術
館 博物館〉

8.21 「荒木経惟(1940～)私の領域に踏み込む」* (中田宏明・県立館林
美術館学芸員〈戦後写真の名作「昭和の記憶」展から 3〉

8.28 「森山大道(1938～)表現の自由度広げる」* (中田宏明・県立館林
美術館学芸員〈戦後写真の名作「昭和の記憶」展から 4〉

・上毛新聞シャトル(館林ニュース)

6.25、7.9、7.23、8.6、8.20、9.3

「館林美術館「昭和の記憶—写真に甦(よみがえ)る人々の情景」
〈mUSEUm GUNMA〉

6.30 「「昭和の記憶」一堂に 写真家21人の308展紹介 館林美術館であ
すから企画展」*

7.3、7.11、7.17、7.21、7.24、7.28、7.31、8.4、8.7、8.11、8.18、8.21、
8.26、8.28、9.1

「企画展示「昭和の記憶—写真に甦(よみがえ)る人々の情景」*〈出かけてみ
ませんか 情報BOX〉

7.11、7.24、7.28、7.31、8.4、8.7、8.11、8.18、8.26

「学芸員による作品解説会」*〈出かけてみませんか 情報BOX〉

7.17、7.21、7.24、7.28、8.4、8.7、8.11、8.18、8.21、8.26

「子どもギャラートーク」*〈出かけてみませんか 情報BOX〉

7.17、7.21、7.24、7.28、7.31、8.4、8.7、8.11、8.18、8.21

「創作体験コーナー・みんなのアトリエ「日光写真」*〈出かけてみ
ませんか 情報BOX〉

7.17、7.21、7.24、7.28

「記念講演会「写真の昭和—山口県美コレクションによる」
*〈出かけてみませんか 情報BOX〉

7.19 「作品に理解深めて「昭和の記憶」展 学芸員解説会 館林美術
館」*

7.30 「浮かび上がる絵に歓声 館林美術館「日光写真」に親子39組参
加」*

8.1 「戦後写真の評価を紹介 館林で河野さん記念講演」*

8.8 「手作りカメラで撮影 館林美術館ワークショップ 先鋭的な写
真に挑戦」*

・上毛スポーツ

7.14 「県立館林美術館「昭和の記憶—写真に甦(よみがえ)る人々の情景 山口県
立美術館所蔵作品より」

・新美術新聞

2006.3.11

「昭和の記憶—写真に甦(よみがえ)る人々の情景」*〈2006年度上半期開催の
主な美術展覧会〉

・東京新聞

6.29、7.13、8.3、8.17

「群馬県立館林美術館 昭和の記憶—写真に甦(よみがえ)る人々の情景—」
*〈ゆめぼっけ 美の散策〉

・日本経済新聞

6.30 「群馬県立館林美術館 企画展示 昭和の記憶—写真に甦(よみがえ)る人々の
情景」*〈文化イベント〉

7.1 「須田一政「群馬館林1976年6月6日」(1976年)」*〈文化〉

・毎日新聞

7.12、8.16

「館林美術館(館林市)「昭和の記憶 写真に甦(よみがえ)る人々の情景 前
期」*〈見る 聴く 遊ぶ 群馬 Gallery 見る 群馬のミュージアム〉

7.19 「貴重写真目白押し 特別企画展 昭和の記憶—写真に甦(よみがえ)る人々の
情景 県立館林美術館」* (中野秀喜)〈見る 聴く 遊ぶ 群馬
Gallery 見る 群馬のミュージアム〉

・讀賣新聞

6.23 「昭和の記憶—写真に甦(よみがえ)る人々の情景—」*〈(社告)〉

7.2 「昭和の記憶、写真でたどる「人々の情景」展始まる」*

・群馬よみうり あみーご

7.1 「館林 写真家が切り取った昭和 9月3日まで、県立館林美術館で
企画展」*〈地域の話題 太田・館林(4)〉

- 7.8 「館林 創作体験コーナーみんなのアトリエ[日光写真]」<県内情報>
8.23 「日光写真 子供たちに人気 館林」*<ほのぼの@タウン>

[定期刊行物]

- 足利漫我人
7、8、9月号
「県立館林美術館情報[昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—]」<マガジン・ネットワーク>
- 8月号 「県立館林美術館情報【ワークショップ】「写真の家を建てる～風景を閉じ込める立体ピンホール写真」」<マガジン・ネットワーク>
- ギャラリー
7、8月号
「群馬県立館林美術館 昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—」<全国美術展「美術館&画廊」スケジュール>
- 8月号 「[昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—]ワークショップ「写真の家を建てる」」<Exhibition Spot8>
- 教育ぐんま
7月号 「企画展示「昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—」<夏休みの思い出を作ろう～県教育委員会施設の夏休み特集～>
- グラフぐんま
7月号 「県立館林美術館 企画展示「昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—」平成18年9月3日(日)まで」*<Galleryギャラリー>
- 8月号 「館林美術館「昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—」」*<各県有施設で多彩な催し>
- ぐんま広報
8月号 「館林美術館企画展示「昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—」<催し>
- ぐんま情報誌 からっ風
7・8月号
「群馬県立館林美術館 企画展示「昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—」」*<Art Museum 2006 美術館情報>
- 広報めいわ
8月号 「県立館林美術館からのお知らせ ◇企画展示「昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—」<くらしの情報>
- 自治ネットニュース
Vol.23 平成18年8月1日
「東部県民局の観光情報」<東部県民局インフォメーション>(館林行政事務所 戸谷)
- 日経Masters
7月号 「[昭和の記憶]—写真に甦る人々の情景—」<マスターズカレンダー>
- 日本カメラ
8月号 「[昭和の記憶]写真に甦る人々の情景 開放感の満ちた空間で日本の写真史に触れる喜び」*(TEXT&PHOTO.上野修)<写真展プレビュー Photo Exhibition Preview>
「群馬県立館林美術館 昭和の記憶～写真に甦る人々の情景～」<GALLERY INFORMATION>
- 日本フォトコンテスト
8月号 「企画展「昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—」」*<GALLERY DIGEST>
- 博物館研究
Vol.41 No.6、7
「群馬県立館林美術館 昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—」<特別展 美術>
- 美術の窓
2月号 「昭和の記憶—写真に甦る人々の情景(仮)」<7月に始まる展覧会>
- 7、8月号
「群馬県立館林美術館 昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—」<展覧会情報 美術館>
- 8月号 「昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—」<国内&海外展覧会情報一覧 開催中>

- 美連協ニュース
8月号 「群馬県立館林美術館 昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—」<加盟館展覧会案内>
- ぶらざ
7、9月号
「群馬県立館林美術館「昭和の記憶 写真に甦る人々の情景」」<月刊TOWN情報>
- まいにち
6.29 「館林の昭和も 館林美術館で写真展」*
「群馬県立館林美術館(館林市)昭和の記憶～写真に甦る人々の情景～」<EVENT INFORMATION イベント・インフォメーション—渡良瀬インフォメーション—美術館>
- 7、8月号
「群馬県立館林美術館(館林市)昭和の記憶～写真に甦る人々の情景～」<EVENT INFORMATION イベント・インフォメーション 美術館>
- マンスリーとーぶ
8月号 「写真コレクションで振り返る 昭和の記憶～館林美術館」*
- みーつけた
6月号 「写真から思い出す昭和の記憶」*<読む 聴く 観る>
- メイプル
9月号 「長尾智子さん(料理研究家) 広大な眺めと建物も作品と一緒に楽しむ 群馬県立館林美術館 群馬県館林市」*<永久保存版 BOOK in BOOK 旅メイプル/Museum 12人が選んだ私の「とっておき美術館」>
- 渡良瀬通信
7、8、9月号
「群馬県立館林美術館(館林市)昭和の記憶～写真に甦る人々の情景～」<Watarase Information 美術館>
- CAPA
8月号 「[昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—]展」<GALLERY INFORMATION 7～8月>
- Deli-J
7.30 Vol.68
「館林市 昭和の記憶—写真に甦る人々の情景— 群馬県立館林美術館」<Event Guideいべんと伝言板>
- Signs & Display サイン&ディスプレイ
7月号 「昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—」<催事情報>

◎放送

[ラジオ]

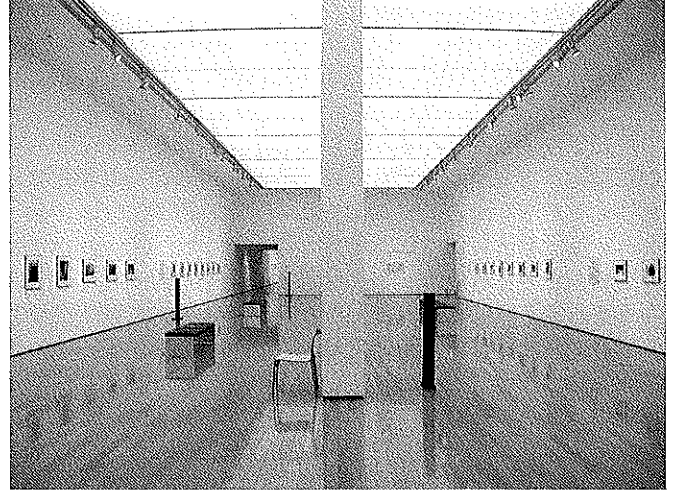
- エフエム群馬
7. 10:40-10:45 <ぐんま情報トッピング>
7. 17:47-17:51 <FM県政ガイド>
- エフエム太郎
7.7 8:20-8:25 <ぐんまいきいき情報>
7.14 8:20-8:25 <ぐんまいきいき情報>

◎関連事業

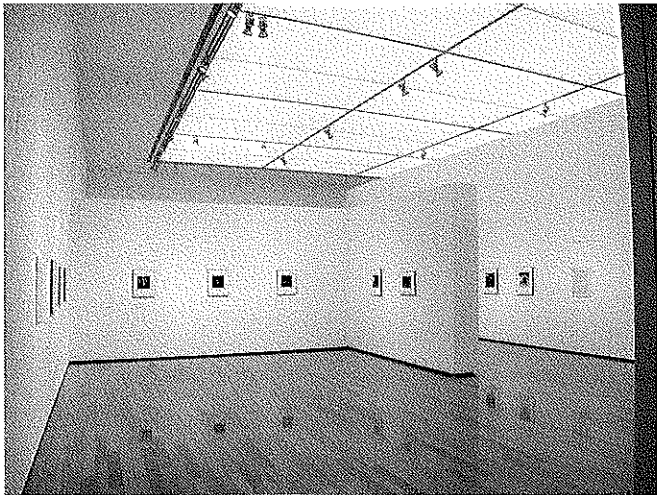
- 記念講演会
7.30 「写真の昭和—山口県美所蔵作品を中心に—」
講師:河野通孝(山口県立美術館普及課長)
- ワークショップ
8.5-6 「写真の家を建てる—風景を閉じ込める立体ピンホール写真—」
講師:大竹敦人(美術家)
対象:中学生以上
- 創作体験コーナー みんなのアトリエ
7.27、8.3、8.10、8.17、8.24



会場入口



展示室 2



展示室 4



展示室 4

3. 夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ—

会期 平成18年9月16日(土)～11月26日(日)
 会場 展示室2、3、4
 主催 群馬県立館林美術館
 助成 財団法人 地域創造
 観覧料 一般800(640)円、大高生400(320)円
 ()内は20名以上の団体割引料金

大正末期から昭和初期にかけて日本に紹介されたフランスの芸術運動シュルレアリスムは、日本の造形芸術に多大なる影響をもたらした。特に絵画においては、西欧のシュルレアリスム絵画の形式的な模倣がさかんに行われ、「シュール派」なる呼称で呼ばれるひとつの様式的傾向を指摘されるまでになった。近年、このようなシュルレアリスムに影響を受けた日本の近代絵画における研究は、さまざまなアプローチから試みられ、多くの成果を得ているところである。

本展は、こうした日本の「シュルレアリスム絵画」にあらわ

れるモチーフとしての「自然」あるいは「風景」を取り上げ、それらがどのように機能し、どのような意味を持ってきたかを考察することで、日本近代における「不条理なる絵画」とその作家たちが目指した造形指向の再検討をはかることを目的とした。

まず、シュルレアリスム絵画に代表される近現代日本の美術、特に絵画・版画・写真にみられる不条理な世界と、そこにたちあらわれる「自然」のイメージの関係について、作品と文献資料等の展示によって考察し、その構造と意味を検証した。次に、現代の絵画にみられる「不条理なる自然」の表現について、現代の作家たちの作品をもとに検討し、画家たちの近代と現代をつなぐ精神にせまるとともに、昭和初期から現代の日本を照射し、現代絵画の可能性を考察した。

なお、本展の展覧会図録は、美術館連絡協議会の「カタログ論文賞 自主企画部門」を受賞した。

夢のなかの自然
 —昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ—

不可思議な風景は
 いまも生きて
 いるか。

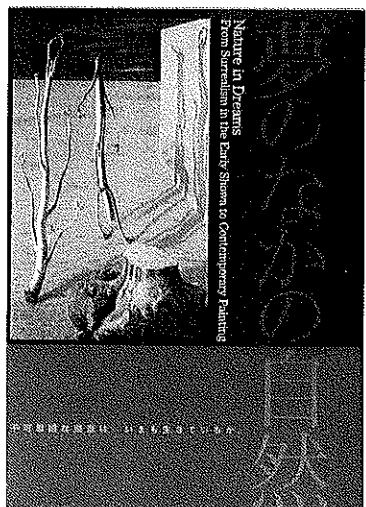
藤岡	藤山幸一
渡瀬清爾	田島二郎
岡田謙吉(博士)	土屋幸夫
石塚謙吉	中村武敏
多田忠房	中島信太郎
丸尾重雄	原田誠雄
杉本義孝	日野一徳
伊藤昌雄	三浦村太郎
小川勝雄	水崎博雄
桂芳三郎	宮田博雄
宮田博雄	山崎博
藤田昌雄	高杉玄
山口英村	菅原四郎
北野丹	米倉明仁
小杉謙	
志賀野江	
藤田一也	伊藤啓
石原貞太郎	北原正樹
石田昌	中野浩二
下巻重雄	子村信
杉本英	長岡美子

【開催要項】
 展示期間 平成18年9月16日(土)～11月26日(日)
 展示時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 休館日 9月15日(金)、10月15日(日)、11月11日(土)
 観覧料 一般800円(640円)、大高生400円(320円)
 学生500円(400円)、幼児200円(100円)
 2歳未満無料
 会場 群馬県立館林美術館
 〒372-8501 群馬県館林市館林1-1-1
 TEL 0286-22-1111 FAX 0286-22-1112
 観覧券 0286-22-1111
 観覧券 0286-22-1112
 観覧券 0286-22-1113
 観覧券 0286-22-1114
 観覧券 0286-22-1115
 観覧券 0286-22-1116
 観覧券 0286-22-1117
 観覧券 0286-22-1118
 観覧券 0286-22-1119
 観覧券 0286-22-1120
 観覧券 0286-22-1121
 観覧券 0286-22-1122
 観覧券 0286-22-1123
 観覧券 0286-22-1124
 観覧券 0286-22-1125
 観覧券 0286-22-1126
 観覧券 0286-22-1127
 観覧券 0286-22-1128
 観覧券 0286-22-1129
 観覧券 0286-22-1130

2006年9月16日(土)▶11月26日(日)

群馬県立館林美術館 GMART

宝くじは
 宝くじは
 宝くじは
 宝くじは



図録

夢のなかの
 自然

こどもとおとなの
 てんじつガイド

群馬県立館林美術館
 ジュニアガイド

ポスター

出品目録

No.著者・編者/作者名	資料名/作品名	刊行年/制作年	発行/技法・材質	寸法 (縦×横cm)	所蔵	展示 期間
序 昭和初期・日本・シュルレアリスム、そして自然						
1	森口多里／編	『巴里新興絵画選集』	1933	平凡社	東京都現代美術館	*
2	瀧口修造・山中散生／編	『海外超現実主義作品集』みづゑ臨時増刊	1937	春鳥会	東京都現代美術館	*
3		大正～昭和初期の理科教科書・参考書	1913～1933		前橋市教育資料館	*
4		『風俗画報』(復刻版) 第338～426号	1906～1911 (1973)	東陽堂(国書刊行会)	個人蔵	*
5		『アサヒグラフ』第1巻第1号	1923	朝日新聞社	個人蔵	*
6		『理化少年』第5巻第1号	1922	日本少年理化学会	個人蔵	*
7		『最新科学図鑑』全18巻のうち第2,3,4,14,15,17巻	1930～1933	アルス	当館蔵	*
8	児童百科大辞典刊行会／編	『児童百科大辞典』天文気象篇	1932	玉川学園出版部	富岡市立美術館・ 福沢一郎記念美術館	*
9		『La Nature』	1903	Librairie de L'Académie de Médecine	富岡市立美術館・ 福沢一郎記念美術館	*
10		『Cahiers d'Art』第6-7号	1936	Edition "Cahiers d'Art"	個人蔵	*
11		『Minotaure』第11号	1938	Albert Skira	個人蔵	*
12		『アトリエ』第7巻第1号 超現実主義研究号	1930	アトリエ社	群馬県立館林美術館	*
13	アンドレ・ブルトン／著 瀧口修造／訳	『超現実主義と絵画』	1930	厚生閣書店	個人蔵	*
14	外山卯三郎／編	『洋画研究』第19号	1934	芸術学研究会	個人蔵	*
15		『二科画集』第22～27回	1935～1940	大阪 朝日新聞社	東京都現代美術館	*
16		『独立展集』第5～9回	1935～1939	東京 朝日新聞社	東京都現代美術館	*
17		『エコルド東京』第1巻第1～2号	1936	エコルド東京美術協会	東京都現代美術館	*
18	福沢一郎／著	『シュルレアリスム』(近代美術思潮講座第4巻)	1937	アトリエ社	群馬県立館林美術館	*
19	福沢一郎／著	『エルンスト』(西洋美術文庫第23巻)	1939	アトリエ社	個人蔵	*
20	瀧口修造／著	『グリ』(西洋美術文庫第24巻)	1939	アトリエ社	個人蔵	*
21		『美術文化』第5,6号	1939～1941	美術文化協会	東京都現代美術館	*
22	マックス・エルンスト	博物誌 (34点組のうち18点)	1926	コロタイプ・紙	富岡市立美術館・ 福沢一郎記念美術館	
		II ある眼差し		43.0×26.5		○
		V 地震		43.0×26.2		●
		VI バンパ		26.2×36.1		◎
		IX 魅惑の糸杉		42.0×25.5		◎
		X 彼女は自分の秘密を守る		42.7×26.0		○
		XI 鞭打ちあるいは溶岩の紐		27.0×42.5		●
		XII 名誉の庭、大洪水、地震の植物		26.2×43.0		○
		XVI 菩提樹は従順である		26.0×43.0		●
		XVII 打ち明け話		42.0×25.0		●
		XVIII 葉の品性		42.0×25.0		◎
		XX シーザーのパレット		43.0×26.0		○
		XXI 壁づたいの忍び歩き		43.0×26.2		●
		XXIV 14歳以下の稲妻		42.0×26.0		●
		XXV 夫婦のダイヤモンド		42.0×24.0		○
		XXVI 振り子の起源		42.0×26.0		◎
		XXIX 光の車輪		25.0×42.0		○
		XXX 脱走者		26.0×43.0		◎
		XXXI 太陽の貨幣制度		43.0×26.0		◎
23	サルヴァドール・グリ	マルドロールの歌 (42点組のうち18点)	1934	エッチング、インク・紙	32.5×25.0	広島県立美術館 *

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横cm)	所蔵	展示 期間
第1部 不条理なる風景—日本の「シュルレアリスム」と自然のかたち							
第1章 絵画—記号としての「自然」はどう機能するか							
24	古賀春江	白い貝殻	1932	油彩・カンヴァス	162.0×130.6	ポーラ美術館(ポーラ・コレクション)	
25	福沢一郎	溺死	1930	油彩・カンヴァス	91.0×117.0	富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館	
26	川口軌外	貝殻	1935	油彩・カンヴァス	80.3×115.5	和歌山県立近代美術館	
27	今西中通	真珠	1935	油彩・カンヴァス	130.0×192.7	神奈川県立近代美術館	
28	三岸好太郎	海と射光	1934	油彩・カンヴァス	72.8×60.5	名古屋市美術館	
29	飯田操朗	朝	1935	油彩・カンヴァス	162.5×130.5	兵庫県立美術館	
30	内田眞蔵	失題	1935	油彩・カンヴァス	37.9×45.5	個人蔵	
31	北脇昇	独活	1937	油彩・カンヴァス	117.0×74.0	東京国立近代美術館	
32	北脇昇	土星への幻想	1938	デカルコマニー、コラーージュ・紙	32.0×22.5	東京国立近代美術館	○
33	北脇昇	月1	1937	モノタイプ・紙	29.6×25.6	東京国立近代美術館	●
34	北脇昇	月2	1937	モノタイプ・紙	38.2×26.9	東京国立近代美術館	◎
35	北脇昇	流行現象構造	1940	油彩・カンヴァス	160.5×129.0	京都市美術館	
36	杉全直	跛行	1938	油彩・カンヴァス	97.0×130.3	姫路市立美術館	
37	土屋幸夫	果てしなき饗食	1938	油彩・カンヴァス	37.9×45.5	広島県立美術館	
38	浜田浜雄	ユバス	1939	油彩・カンヴァス	52.0×64.0	東京国立近代美術館	
39	矢崎博信	高原の幻影	1938	油彩・カンヴァス	130.4×162.0	諏訪市美術館	
40	浅原清隆	郷愁	1938	油彩・カンヴァス	111.1×148.8	東京国立近代美術館	
41	浅原清隆	郷愁	1938	油彩・カンヴァス	60.5×73.0	兵庫県立美術館	
42	福沢一郎	花(風景)	1938	油彩・カンヴァス	116.5×90.9	多摩美術大学美術館	
43	鎌田正蔵	白日夢	1938	油彩・カンヴァス	59.5×79.3	郡山市立美術館	
44	吉川三伸	葉に因る絵画	1940	油彩・カンヴァス	45.5×52.8	名古屋市美術館	
45	小川原脩	砂漠の花	1937	油彩・カンヴァス	36.3×44.0	横浜美術館(小川原脩氏寄贈)	
46	吉井忠	赤い風景	1939	油彩・カンヴァス	80.4×99.9	福島県立美術館	
47	伊藤久三郎	合歡の木	1939	油彩・カンヴァス	130.0×162.0	京都市美術館	
48	小牧源太郎	入江のほとり	1939	油彩・カンヴァス	72.7×90.9	姫路市立美術館	
49	米倉寿仁	破局(寂滅の日)	1939	油彩・カンヴァス	162.0×130.5	東京国立近代美術館	
50	柿手春三	霧	1941	油彩・板	27.3×40.9	三良坂平和美術館	
51	佐田勝	野霧	1941	油彩・カンヴァス	97.0×193.9	姫路市立美術館	
52	寺田政明	夜(眠れる丘)	1940	油彩・カンヴァス	125.0×178.8	板橋区立美術館	
53	寺田政明	発芽A	1940	油彩・カンヴァス	80.5×53.2	個人蔵(板橋区立美術館寄託)	
54	下郷羊雄	伊豆の海	1937	油彩・カンヴァス	72.7×53.3	名古屋市美術館	
55	巖光	静物(雉)	1941	油彩・カンヴァス	198.0×101.0	東京都現代美術館	
56	巖光	グラジオラス	1942頃	油彩・カンヴァス	32.8×23.7	横須賀市美術館開設準備室	
57	岩橋英遠	歴史	1940	紙本着彩・二曲一隻屏風	151.0×152.0	個人蔵	
58	山崎隆	風	1941	紙本着彩・二曲一隻屏風	168.6×184.6	京都市美術館	
第2章 版画と写真の冒険—写し取られる「自然」							
59	鷹山宇一	機械と虫	1930	木版・紙	33.0×37.3	個人蔵	★
60	鷹山宇一	機械と鳥	1930頃	木版・紙	34.0×35.0	個人蔵	☆
61	鷹山宇一	たそがれ		木版・紙	25.0×48.0	個人蔵	☆
62	鷹山宇一	若き花	1941	木版・紙	37.3×28.5	個人蔵	★
63	加藤太郎	作品(1)	1936	木版・紙	36.3×27.3	兵庫県立美術館	●
64	加藤太郎	作品(2)	1936	木版・紙	36.2×23.5	兵庫県立美術館	○
65	加藤太郎	トンボ	1944	木版・紙	21.0×14.3	兵庫県立美術館	◎
66	加藤太郎	四葉(『一木集(1)』より)	1944	木版・紙	23.7×15.1	町田市立国際版画美術館	●
67	加藤太郎	木の葉	1936頃	木版・紙	36.4×23.5	個人蔵(郡山市立美術館寄託)	○
68	加藤太郎	ユリ		木版・紙	16.5×16.7	個人蔵(郡山市立美術館寄託)	◎
69	加藤太郎	『JEU D'OBJET 1』	1945	木版・紙/書籍	11.3×12.1	郡山市立美術館	*
70	加藤太郎	『JEU D'OBJET 2』	1945	木版・紙/書籍	14.6×13.4	郡山市立美術館	*
71	三岸好太郎	筆彩素描集『蝶と貝殻』 (書籍)	1934	グアッシュ、凸版墨刷、水彩・紙	30.2×22.4	京都国立近代美術館	*
		蛾					○
		旅愁					●
		ヴィーナスと蝶					●
		貝殻					◎
		雲の上の蛾					○
		海洋を渡る蝶					◎
		海と射光					◎
		ヒマラヤ杉と蝶					●
		蝶と蛾					○
		花と蝶					○

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (縦×横cm)	所蔵	展示 期間
72	阿部展也(芳文)	【妖精の距離】(瀧口修造詩)	1937	印刷・紙	30.2×24.3(48.6)	多摩美術大学図書館 瀧口修造文庫	*
73	中山岩太	貝殻と竜の落し子	1935	ゼラチン・シルバー・プリント	14.9×10.5	中山岩太の会(兵庫県立美術館寄託)	○
74	中山岩太	蝶I	1941	ゼラチン・シルバー・プリント	12.6×8.5	中山岩太の会(兵庫県立美術館寄託)	●
75	中山岩太	冬眠	1942頃	ゼラチン・シルバー・プリント	26.0×22.0	中山岩太の会(兵庫県立美術館寄託)	◎
76	安井仲治	蝶(二)	1938	ゼラチン・シルバー・プリント	39.1×26.8	個人蔵	○
77	安井仲治	(蝶)	1938頃	ゼラチン・シルバー・プリント	20.5×29.3	個人蔵	○
78	安井仲治	(虫)	1938頃	ゼラチン・シルバー・プリント	37.2×27.2	個人蔵	◎
79	安井仲治	(クレーンとクラゲ)	1938	ゼラチン・シルバー・プリント	28.3×19.5	個人蔵	●
80	安井仲治	クラゲと葉	1938	ゼラチン・シルバー・プリント	18.7×21.3	個人蔵	●
81	安井仲治	生	1938	ゼラチン・シルバー・プリント	38.2×27.1	個人蔵	◎
82	小石清	半世界(全10点)	1940	ゼラチン・シルバー・プリント		東京都写真美術館	
		1. 洪水			37.9×30.3		◎
		2. 戦勝記念物			27.2×20.0		◎
		3. 肥大した戦敗記念物			29.4×23.7		◎
		4. 舞踏・インフレーション			34.3×34.0		○
		5. 世紀への記念塔			48.8×36.0		●
		6. 黙劇			32.0×44.0		◎
		7. 象と鳩			29.4×32.5		○
		8. 抜殻の挙動			44.6×34.2		●
		9. 静謐			37.4×28.4		●
		10. 曼陀羅			32.8×43.8		○
83	田島二男	四つの眼		ゼラチン・シルバー・プリント	40.3×30.9	名古屋市美術館	○
84	田島二男	培養された貌	1935頃	ゼラチン・シルバー・プリント	49.8×40.1	名古屋市美術館	●
85	田島二男	作品A- 自然より	1940	ゼラチン・シルバー・プリント	46.5×46.1	名古屋市美術館	◎
86	後藤敬一郎	砂丘の女と流木	1939頃	ゼラチン・シルバー・プリント	23.8×47.8	名古屋市美術館	●
87	後藤敬一郎	消滅する風景	1935~40	ゼラチン・シルバー・プリント	34.8×51.0	名古屋市美術館	○
88	後藤敬一郎	最後の審判図	1935~40	ゼラチン・シルバー・プリント	55.5×45.2	名古屋市美術館	◎
89	下郷半雄	超現実主義写真集「メセム属」	1940	印刷・紙/書籍	18.1×12.8	名古屋市美術館	*

第2部 そして現代へ―「不条理なる風景」はどう表現されるか

90	真島直子	地ごく楽 2003-2	2003	鉛筆・紙	400.0×153.0		
91	真島直子	地ごく楽 2004-2	2004	鉛筆・紙	114.0×530.0		
92	真島直子	命草子	2006	鉛筆・紙(組作品)			
93	伊藤存	近所の果て	2000	刺繍、布、パネル	115.0×85.0	個人蔵	
94	伊藤存	よだれのきらめき	2001	刺繍、布、パネル	300.0×300.0	高橋コレクション	
95	伊藤存	浸透と冠水	2002	刺繍、布	140.0×90.0	吉井仁美氏蔵	
96	伊藤存	側線ベルト	2003	刺繍、布、パネル	180.0×270.0	ワタリウム美術館	
97	伊藤存	野犬	2005	刺繍、布	120.0×160.0	大林コレクション	
98	平町公	吹き割れの滝図	1993	墨、アクリル・カンヴァス	204.0×4119.0		
99	平町公	三段峡図第2部	1997	墨、アクリル・カンヴァス	207.0×4074.0		
100	近藤正勝	Mountain m	1998	アクリル・カンヴァス	160.0×147.0	個人蔵	
101	近藤正勝	Woods in the snow	2001	アクリル・カンヴァス	145.0×145.0	個人蔵	
102	近藤正勝	Cottage II	2006	油彩・カンヴァス	170.0×240.0		
103	近藤正勝	Eerie tree by the lake	2006	油彩・カンヴァス	195.0×142.0		
104	近藤正勝	Mountain View Through the Trees	2006	油彩・カンヴァス	92.0×142.0		
105	近藤正勝	Migrating Geese Under the Moon	2006	油彩・カンヴァス	101.0×101.0		
106	中川トラヲ	ロールプレイ	2004	油彩、アクリルマーカー・パネル	52.9×72.7		
107	中川トラヲ	ルールとプロセス	2004	油彩・パネル	36.4×77.2	個人蔵	
108	中川トラヲ	当てこすり	2005	油彩・パネル	60.0×40.5		
109	中川トラヲ	永遠の秘密	2005	油彩・ヴァカンズル	80.0×65.3		
110	中川トラヲ	overcast skylight	2006	油彩・カンヴァス	47.0×38.3		
111	中川トラヲ	nous	2006	油彩・パネル	72.7×100.0		
112	中川トラヲ	しばらくお待ち下さい	2006	油彩・パネル	112.0×145.0		
113	中川トラヲ	閃きは僕のもの	2006	油彩・パネル	182.0×226.0		

展示期間 ○=9/16~10/9 ●=10/11~11/5 ◎=11/7~26 ☆=9/16~10/22 ★=10/24~11/26 * =会期中適宜展示替(頁替含む) 空欄=全期間展示

◎印刷物・会場作成物

•図録 A5(21.0×15.0cm)160頁

内容:

謝辞

あいさつ(館長 木島俊介)

序 昭和・日本・シュルレアリスム、そして自然

彼らは自然をどう見たか……大正・昭和のヴィジュアル・イメージ

第一部 不条理なる風景—日本の「シュルレアリスム」と自然のかたち

第一章 絵画—記号としての「自然」はどう機能するか

第二章 版画と写真の冒険—写し取られる「自然」

第二部 そして現代へ—「不条理なる風景」はどう表現されるか

真島直子

伊藤 存

平町 公

近藤正勝

中川トラヲ

おわりに

資料編

作家略歴

略年譜

主要参考文献

出品リスト

英文要約

序論・本論・資料編(学芸員 伊藤佳之)

編集・発行:群馬県立館林美術館

翻訳:スタンリー・N.アンダソン

制作:美術出版デザインセンター

•ジュニアガイド A3、四つ折り

•ポスター B2

•ちらし A4

•パネル

挨拶パネル2枚(館長挨拶文 和文、英文)

展示解説パネル6枚

•会場配布用出品リスト

◎主要関連記事(長文掲載は末尾に*)

[新聞等]

•朝日新聞

9.17 「不思議空間を展開 館林美術館」(群馬)*

9.23、9.30、10.7、10.14、10.21、10.28

「群馬県立館林美術館 夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ」(群馬マリオン 沿線美術館情報)

11.7 西田健作「戦争前夜の「不安」共有」(ナビゲータ(夕刊))*

11.18 「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ」(群馬マリオン ミュージアム)

•朝日ぐんま

11.3 「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ」(美術探訪) *

•太田タイムス

9.9 「「自然」風景」からシュールを読み解く 県立館林美術館」*

•産経新聞

9.14 「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ」(ぐんぐんぐんま)

•上毛新聞

9.8、9.22、11.17

「県立館林美術館「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ」(気になる情報ばれっと 県内美術館 博物館)

9.9 「館林美術館企画展示「夢のなかの自然」関連連続美術講座」(ゆうまちゃんの掲示板)

9.12 「館林美術館企画展示「夢のなかの自然」関連ワークショップ「わたしだけの風景☆多々良沼←→美術館絵図」参加者募集」(ゆうまちゃんの掲示板)

9.15、9.29

「企画展「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ」(週末の主な観光 イベント)

9.16 「芸術運動の影響紹介 福沢一郎ら35人 きょうから館林美術館」*

9.18 「館林美術館企画展示「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ」(ゆうまちゃんの掲示板)

9.18、

11.15

「館林美術館企画展示「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ」(作品解説会) (ゆうまちゃんの掲示板)

10.7 「画家や時代背景に触れる 館林美術館 企画展に合わせ講座」*

10.9 「散歩で刻んだ印象描く ワークショップ参加者を募集 14、15日」*

10.18 「館林美術館がワークショップ 歩いて描いて絵図作り」*

11.1 「館林美術館企画展示「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ」(出品作家によるアーティストトーク) (ゆうまちゃんの掲示板)

•上毛新聞シャトル(館林ニュース)

9.4、9.8、9.16、9.18、9.23 9.25、9.29、10.2、10.6、10.9、10.13、10.16、10.20、10.23、10.28、10.30、11.3、11.6、11.10、11.18、11.20、11.24

「企画展「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ」(出かけてみませんか 情報BOX)

9.4、9.8、9.16、10.2、10.9、10.13、10.30、11.3

「企画展「夢のなかの自然」出品作家によるアーティスト/トーク」(出かけてみませんか 情報BOX)

9.15 「あすから「シュルレアリスム」展 不思議を感じて 館林美術館」*

9.16 9.18、9.25、10.6、10.9、10.23、10.28、11.18

「学芸員による解説会」(出かけてみませんか 情報BOX)

9.18、9.23、9.29

「連続美術講座・夢のなかの自然「昭和初期とシュルレアリスム 自己をみつめた作家たち」」(出かけてみませんか 情報BOX)

10.13、10.16、10.20

「連続美術講座・夢のなかの自然「シュルレアリスムと写真 写し取られる不可思議な風景」」(出かけてみませんか 情報BOX)

10.29、11.12、11.26

「県立館林美術館「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ」(MUSEUM)

11.10 「寺田農さん迎え講座 12日、館林美術館」*

11.10 「連続美術講座・夢のなかの自然「寺田農と語る 自然へのまなざし—シュルレアリスムが遺すもの」」(出かけてみませんか 情報BOX)

11.14 「描くことが好きだった 父の芸術への思い語る 館林美術館 寺田農さん(俳優)招き講座」*

•日本経済新聞

9.15 「夢のなかの自然 昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ」(文化イベント)

•まいにち

9、10月号

「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ」(イベント・インフォメーション)

•毎日新聞

9.1、9.22

「館林市・夢のなかの自然 昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ」(ぐんまワイド/ふれあい歳時記)

10.4、10.18、10.25、11.8、11.22

「館林美術館(館林市)「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ」(見る 聴く 遊ぶ 群馬 Gallery 見る 群馬のミュージアム)

9.13 「独特の不思議な絵 作品展 夢のなかの自然 16日から県立館林美術館」(見る 聴く 遊ぶ 群馬 Gallery 見る 群馬のミュージアム) *

•読売新聞

10.15 「芸術の秋!親子でスケッチ 自然の大切さ体感 館林美術館」(群馬) *

●向毛新聞

10.20 「人間の心に潜むもの 群馬県立館林美術館」〈近県美術館、博物館だより〉*

[定期刊行物]

●足利漫我人

10、11月号

「県立館林美術館情報 夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ—」〈マガジン・ネットワーク〉

●一枚の絵

10月号「群馬県立館林美術館 夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ—」〈アートニュース 全国の主な美術展情報〉

●ギャラリー

9月号「夢のなかの自然」〈Exhibition Spot6〉

9、10、11月号

「群馬県立館林美術館 夢のなかの自然」〈全国美術展「美術館&画廊」スケジュール&マップ〉

●グラフぐんま

10月「館林美術館「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ—」〈イベントガイド〉

●ぐんま広報

9月号「館林美術館 夢のなかの自然」〈ここにも寄ってみよう!!〉

●ぐんま情報誌 からっ風

11・12月号

「群馬県立館林美術館「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ—」〈Art Museum 2006 美術館情報〉

●広報めいわ

9月「企画展示「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ—」〈くらしの情報〉

●上州文化

8月号「企画展示「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ—」〈平成18年度県民芸術祭参加事業(9~11月)〉

●博物館研究

vol.41 No.9、10、11

「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ—」〈特別展 美術〉

●美術手帖

10月号「群馬県立館林美術館 夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ—」〈Exhibition Preview そのほか注目展覧会から〉

●美術の窓

10月号「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ—」〈話題の展覧会〉

10、11、12月号

「群馬県立館林美術館 夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ—」〈展覧会情報 美術館〉

12月号石川翠「夢の先・夢の後(前編)」〈視点〉*

2007年1月号

石川翠「夢の先・夢の後(後編)」〈視点〉*

●マンスリーとーぶ

10月号「シュルレアリスム絵画 昭和初期から現代絵画」〈EVENT 沿線催しもの情報〉*

●わたらせ倶楽部(季刊)

秋号「群馬県立館林美術館 企画展示 夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ—」

●渡良瀬通信

9、10、11月

「夢のなかの自然」〈Watarase Information 美術館〉

●Deli-J

10、11月号

「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ—」群馬県立館林美術館〈Event Guide イベントと伝言板〉

●SPA!

9.19 「夢のなかの自然」〈information〉

◎放送

[テレビ]

●館林ケーブルテレビ

10.18~10.25 6:00~23:00の各時02-30(9:00、13:00-14:00を除く)
〈街スタ!TV〉

[ラジオ]

●エフエム群馬

9.29 10:45-10:49 〈ぐんま情報トッピング〉

●エフエム太郎

9.15、10.16 8:20-8:25 〈ぐんまいきいき情報〉

◎関連事業

●出品作家によるアーティスト・トーク

9.16 伊藤存、近藤正勝、中川トラヲ

10.14 平町公

11.4 真島直子

●連続美術講座「夢のなかの自然」

9.17 第1回「夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ—」

講師:伊藤佳之(当館学芸員)

10.1 第2回「昭和初期とシュルレアリスム 自己をみつめた作家たち」

講師:大谷省吾氏(東京国立近代美術館主任研究員)

10.22 第3回「シュルレアリスムと写真 写し取られる不可思議な風景」

講師:竹葉丈氏(名古屋市美術館学芸員)

11.12 第4回「寺田農と語る 自然へのまなざし—シュルレアリスムが遺すもの」

講師:寺田農氏(俳優・映画監督)、伊藤佳之(当館学芸員)

●ワークショップ

10.14-15

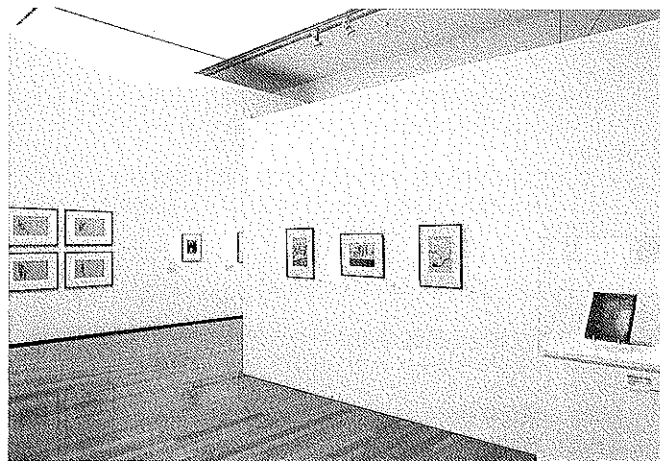
「わたしだけの風景☆多々良沼←→美術館絵図」

講師:平町公(出品作家)

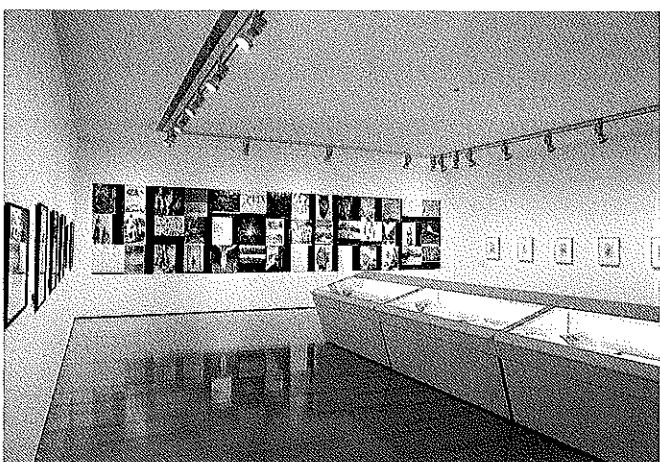
対象:小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)



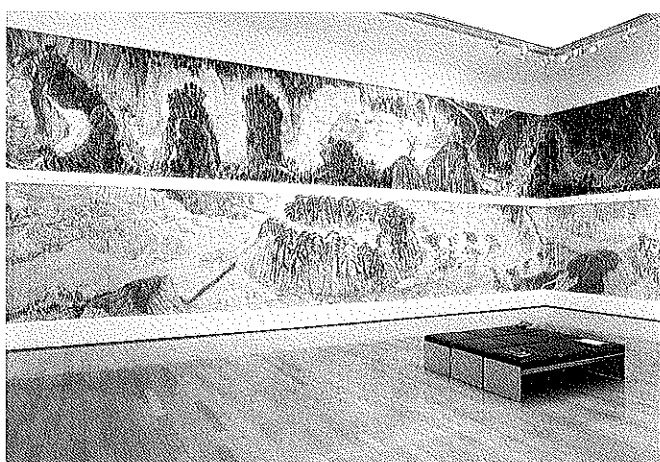
展示室 4



展示室 4



展示室 3



展示室 2

館林でみる 群馬県立近代美術館名品展

会期 平成18年12月9日(土)～平成19年4月1日(日)
 会場 展示室2、3、4
 観覧料 一般200(160)円、大高生100(80)円
 ()内は20名以上の団体割引料金

群馬県立近代美術館の改修工事による一時休館にともない、同館のコレクション作品を紹介する特別展示を行った。近代美術館では1974年の開館以来、30年以上にわたり作品収集を行っており、本展では、1,700点にのぼるコレクションより約270点の作品を、5つのセクションに分けて紹介した。「Ⅰ. 西洋の近代美術」では、ルノワール、モネ、ピカソなどの油彩画、ゴッホ、ルドン、ムンクなどの版画、「Ⅱ. 日本の近代美術」では、岸田劉生、佐伯祐三、安井曾太郎など日本近代の洋画

および湯浅一郎、山口薫、福沢一郎、鶴岡政男ら、群馬ゆかりの画家の代表作、「Ⅲ. 墨絵の世界」では、国指定重要文化財の伝蛇足《山水図》や尾形光琳ら、戸方庵井上コレクションを中心とした水墨画、「Ⅳ. 染織—伝統の技と美—」では、志村ふくみ、北村武資ら、人間国宝の染めと織り、「Ⅴ. ファイバー・ワーク」では、小林正和、磯辺晴美ら、現代の繊維の造形を紹介した。また本展にあわせて「展覧会を楽しむガイド」を作成した。ガイドでは、館林美術館学芸員が1人1点を紹介する「キュレーターズ・アイ」、本展ができるまでの「展覧会の裏方」、1974年から現在までの「群馬県の美術館とコレクションの歴史」、館長コラム「美術館とコレクション」を掲載し、展覧会と美術館の収集活動について理解を深めてもらう資料として来館者に配付した。



ポスター



リーフレット

出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	備考	展示 期間
I. 西洋の近代美術							
1	コンスタン・トロワイヨン	風景	19世紀中頃	油彩・板	25.0×45.0	井上房一郎氏寄贈	
2	カミーユ・ピサロ	エラニーの教会と農園	1884	油彩・カンヴァス	54.5×63.0		
3	ピエール・オーギュスト・ルノワール	読書するふたり	1877	油彩・カンヴァス	32.4×24.8		
4	ジュール・バスキン	丸椅子に座る長い髪の娘	1924	油彩・カンヴァス	81.0×64.5		
5	マリー・ローランサン	ブルドッグを抱いた女	1914	油彩・カンヴァス	92.0×73.0		
6	クロード・モネ	ジュフォス、夕方の印象	1884	油彩・カンヴァス	59.5×81.0	群馬県企業局寄託 作品	
7	クロード・モネ	睡蓮	1914-17	油彩・カンヴァス	131.0×95.0	群馬県企業局寄託 作品	
8	マルク・シャガール	世界の外のどこへでも	1915	油彩・カンヴァスに裏打ち されたカルトン	61.0×47.3	群馬県企業局寄託 作品	12/9-2/4
9	ケル=グザヴィエ・ルーセル	田園詩(教え)	1929	パステル・カルトンに裏打 ちされた紙	50.2×65.0		1/17-4/1
10	レオナルド・フジタ	人形を抱く少女	1923	油彩・カンヴァス	73.4×54.3		
11	ラウル・デュフィ	ポール・ヴィヤール博士の家族	1927-33頃	油彩・カンヴァス	114.5×110.0		
12	アルベール・マルケ	赤い背景の裸婦	1913	油彩・ボード	46.0×65.0		
13	オディロン・ルドン	聖セバスティアヌス	1910頃	パステル・紙	66.7×53.7		①
14	オディロン・ルドン	ペガサスにのるミュース	1910-17	油彩・カンヴァス	73.5×54.4		2/6-4/1
15	エドヴァルト・ムンク	オースゴールストランの夏	1890年代	油彩・板	26.5×35.0		
16	モーリス・ド・ヴラマンク	わかれ道	1917	油彩・カンヴァス	26.8×35.5		①、②
17	モーリス・ド・ヴラマンク	風景	1940	グワッシュ・紙	44.0×54.0		③
18	ジョルジュ・ルオー	秋	1938	油彩・カンヴァス	68.0×102.0		
19	オーギュスト・ロダン	彫刻家とミュース	1890	ブロンズ	64.7×49.5×53.7		
20	オシップ・ザッキン	野原を歩くファン・ゴッホ	1956	ブロンズ	71.0×32.0×25.0	群馬県立近代美術 館寄託作品	
21	フランシスコ・デ・ゴヤ	『妾』(全22点)より	1815-24頃 (1877刊行)	エッチング、アクアチント ・紙			
21-1		(1)女の妾			21.3×32.1		①
21-2		(2)恐柿の妾			21.8×31.8		①
21-3		(3)滑稽の妾			21.2×32.1		①
21-4		(4)大阿呆			22.0×31.8		①
21-5		(5)飛行の妾			21.7×32.7		①
21-6		(6)激怒の妾			21.6×31.6		②
21-7		(7)結婚の妾			21.8×32.4		②
21-8		(8)袋詰めの人たち			21.1×32.0		②
21-9		(9)すべてが妾			21.6×32.4		②
21-10		(10)女を誘拐する馬			21.2×31.6		②
21-11		(11)貧の妾			21.6×32.1		③
21-12		(12)陽気の妾			21.5×32.4		③
21-13		(13)飛翔法			21.7×32.5		③
21-14		(14)謝肉祭の妾			20.9×31.9		③
21-15		(15)明晰の妾			21.1×31.7		③
22	エドヴァルト・ムンク	病める少女	1894	ドライポイント、ルーレッ ト・紙	38.9×29.2		①
23	エドヴァルト・ムンク	その翌朝	1895	ドライポイント、アクアチ ント・紙	191.1×27.3		①
24	エドヴァルト・ムンク	女・三相	1899	リトグラフ・紙	46.0×59.6		①
25	エドヴァルト・ムンク	棧橋の少女たち	1918-20	木版、リトグラフ・紙	49.8×42.7		②
26	エドヴァルト・ムンク	宇宙での出逢い	1899	木版・紙	18.2×25.2		②
27	エドヴァルト・ムンク	月光	1896	木版・紙	40.3×47.8		②
28	エドヴァルト・ムンク	マドンナ	1895-1902	リトグラフ、木版・紙	60.5×44.2		③
29	エドヴァルト・ムンク	女の髪の中の男	1896	木版・紙	54.8×38.0		③
30	エドヴァルト・ムンク	別離II	1896	リトグラフ・紙	41.8×64.5		②
31	ジョルジュ・ルオー	『ミセレーレ』(全58点)より	1922-27 (1948刊行)	エッチング・紙			
31-1		I われを憐れみたまえ、おん身の大きいな る慈悲によって	1923		57.8×42.1		①
31-2		VII われら自ら王と置いて	1923		58.6×41.7		①
31-3		XLVIII 压榨機にて、葡萄は潰された	1922		39.4×48.4		①
31-4		XIII 愛することのいかに甘美しき	1923		57.3×40.9		①
31-5		XXXV 《イエスは世の終わりまで苦しみ たまわん……》	1926		58.2×41.4		②
31-6		II ランスの微笑からほど遠く	1922		51.1×38.3		②
31-7		XLVII 深き淵より……	1927		43.2×60.0		②

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	備考	展示 期間
31-8		LIII 七つの剣の悲しみを負う聖母	1926		58.2×41.0		②
31-9		XXXIV 《屍蠟すら滅びぬ》	1926		58.0×44.7		③
31-10		XLIV 我がうるわしの国、今いずこ	1927		42.2×59.5		
31-11		XLV 死は彼を奪いぬ、いら草の床より出でしとき	1922		53.8×33.3		③
31-12		XLVI 《正しき人は白檀の木のごとく己を打つ斧に香を移す》	1926		58.3×42.0		③
32	ジョルジュ・ルオー	『流れる星のサーカス』(全17点)より	1938刊行	シュガー・アクアチント、 アクアチント、ドライボイ ント・紙			
32-1		I 扉絵—見世物小屋の呼び込み			30.5×19.8		①
32-2		II 黒いピエロ			30.3×20.5		①
32-3		III 青いレモン			30.8×21.0		①
32-4		IV こびと			30.5×20.7		①
32-5		V 曲芸師			31.0×20.4		②
32-6		VI 小さな女曲馬師			30.3×20.7		②
32-7		VII ルイゾン夫人			30.5×21.0		②
32-8		VIII 悲しげな瘦った骨			31.0×20.2		②
32-9		IX カルメンシータ夫人			30.7×20.8		③
32-10		X 親代々の旅芸人			30.4×20.2		③
32-11		XI アーサー親方			30.2×20.3		③
32-12		XII 苦い甘さ			30.4×19.7		③
33	オディロン・ルドン	『陪審員』(全7点)より	1887	リトグラフ・紙			
33-1		I 庶民階級の男、粗野な人物がひとり、馬の頭の下を通り抜けて行った			18.3×13.6		①
33-2		II 樹々の枝が骸骨のように入り組んだ並木道の入り口に、つるりとしてやせ細った亡霊が姿をあらわす			15.5×9.8		①
33-3		III 近くの鐘塔で重々しい鐘の音が時を告げていた			20.5×15.4		①
33-4		V 目に見えず、奇矯で、幻想的な、いま萌芽しつつあるものから成る世界が、なぜ存在しないといえようか			21.8×16.9		①
33-5		VI 彼女は劇的で、大いなる様子で、ドリュイド教の巫女のような髪をして彼の前に姿を現す			19.2×14.2		①
33-6		VII 亡霊の不吉な命令：「おまえは自殺しなければならぬ！」は遂行された。夢は死をもって終わった			23.8×18.7		①
34	オディロン・ルドン	『夢想(我が友アルマン・クラヴォーの思い出のために)』(全6点)	1891	リトグラフ・紙			
34-1		I …それは一枚のヴェール、ひとつの刻印であった…			18.7×13.2		②
34-2		II そして彼方には星の偶像、神格化			27.6×19.1		②
34-3		III ゆらめく光、吊るされた永遠なるひとつの頭			27.3×20.6		②
34-4		IV かげった翼の下で、黒い存在が烈しく噛みついていた…			22.3×17.0		②
34-5		V この世の巡礼者			27.5×20.3		②
34-6		VI 日の光			20.8×15.5		②
35	オディロン・ルドン	『ギュスターヴ・フロベールに(『聖アントワヌの誘惑』第2集)』(全7点)より	1889	リトグラフ・紙			
35-1		I 聖アントワヌ：……その顔を覆い隠す長い髪を透かし見た時、私はそれがアンモナリアだと思いこんだのだ……			28.5×23.0		③
35-2		II ……血の色をした細長い蛹…			21.9×18.4		③
35-3		III 死神：私の皮肉には、いかなる皮肉もかないはしない！			26.2×19.7		③
35-4		IV 聖アントワヌ：どこかに始源的な形象があるはずだ。その身体は心像に過ぎないのだ			17.0×12.4		③
35-5		V スフィンクス：……私のまなざしは何物もそらすことができず、万象の彼方、近づきえない地平の果てにじっと向けられたままにいるのだ キマイラ：私はね、軽々として陽気だよ！			28.0×20.0		③
35-6		VI スキアポデス：頭をできるだけ低くすること、それが幸福の秘訣だ！			27.0×20.5		③

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	備考	展示 期間
36	ヴァシリー・カンディンスキー	『響き』(全56点)より	1912	木版・紙			
36-1		1 赤色の前の二人の騎手					①
36-2		5 叙情的なるもの					①
36-3		15 東方的なもの					②
36-4		16 赤、青、黒の中の三人の騎手					③
36-5		25 ボート漕ぎ					③
36-6		32 山々					②
36-7		36 りんごの木					②
36-8		45 万聖節					③
36-9		52 大いなる復活					①
37	オスカー・ココシユカ	『夢みる少年たち』(全6点)より	1908	リトグラフ・紙	24.0×29.0		
37-1		Ⅲ 船乗りが呼ぶ					①
37-2		Ⅳ 遠い島					①
37-3		Ⅴ 語らう男女					①
38	アンリ・マティス	『ジャズ』(全20点)より	1947	ステンシル、グアッシュ・紙	42.0×65.5		
38-1		Ⅱ サーカス					①
38-2		Ⅳ 白象の悪夢					①
38-3		Ⅴ 馬、女曲馬師、遣化師					①
38-4		Ⅵ 狼					①
38-5		Ⅶ ハート					②
38-6		Ⅷ イカルス					③
38-7		X ピエロの葬送					②
38-8		XI コドマ兄弟					②
38-9		XIII 剣を呑み込む男					③
38-10		XIV カウボーイ					③
38-11		XV ナイフ投げの男					②
38-12		XVII 運命					③
39	ジョアン・ミロ	『ユビュ王』(全13点)より	1966	リトグラフ・紙	42.1×64.7		
39-1		2 宴会					①
39-2		3 ポーランド王宮で					①
39-3		4 閱兵式					①
39-4		5 ポーランド王の虐殺					①
39-5		6 ブーグルラスとその母					②
39-6		7 落とし穴に落ちた貴族たち					②
39-7		8 ロシア皇帝の宮殿にて					②
39-8		9 財宝とユビュおっ母					②
39-9		10 戦争					③
39-10		11 夜、熊					③
39-11		12 ユビュ親父の眠り					③
39-12		13 帰還の旅					③
40	ジョアン・ミロ	星雲	1958	リトグラフ・紙	45.7×65.0		①
41	ジョアン・ミロ	太陽の崇拜者	1969	エッチング、アクアチント、 カーボラダム・紙	102.2×59.0		①
42	ジョアン・ミロ	人物と赤い太陽 I	1950	リトグラフ・紙	64.0×49.5		②
43	ジョアン・ミロ	左へ	1968	エッチング、アクアチント、 カーボラダム・紙	65.0×101.2		②
44	ジョアン・ミロ	外国の女	1958	カラーアクアチント・紙	49.5×32.0		③
45	ジョアン・ミロ	サラセン人と青い星	1973	エッチング、アクアチント、 カーボラダム・紙	137.0×59.0		⑤
46	ジョアン・ミロ	『連作』(全13点)より	1972	リトグラフ・紙			
46-1		No.2			40.7×33.8		③
46-2		No.5			57.0×40.5		②
46-3		No.8			33.5×40.0		②
46-4		No.10			33.5×40.5		③
47	パブロ・ピカソ	魚、瓶、コンボート皿(小さなキッチン)	1922	油彩・カンヴァス	81.0×99.5		
48	ハンス・アルプ	『再びたがをはめられた太陽』(全15点)	1966	木版・紙			
48-1		no.1			35.5×33.2		①
48-2		no.2			37.5×23.2		①
48-3		no.3			21.1×20.5		①
48-4		no.4			30.4×19.4		①
48-5		no.5			306×31.3		①
48-6		no.6			29.9×28.2		②
48-7		no.7			34.5×32.8		②
48-8		no.8			30.4×24.1		②

No	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	備考	展示 期間
48-9		no.9			34.5×32.7		②
48-10		no.10			27.0×21.4		②
48-11		no.11			34.2×34.2		③
48-12		no.12			25.5×22.0		③
48-13		no.13			35.6×34.4		③
48-14		no.14			16.2×15.0		③
48-15		no.15			19.1×18.1		③
49	バーバラ・ヘップワース	球体のなかのうねり	1938	チーク材	高さ22.0		
50	マルク・シャガール	『寓話』(全100点)より	1928-1931 (1952刊行)	エッチング、アクアチント、 ドライポイント、手彩色・紙			
50-1		3 二匹のラバ			29.5×24.9		①
50-2		19 海綿を背負ったロバと塩を背負った ロバ			30.0×24.5		②
50-3		22 オンドリとキツネ			28.6×24.6		①
50-4		24 ジュノンに不平を言うクジャク			29.6×24.0		②
50-5		35 キツネとブドウ			29.5×24.0		③
50-6		45 シカに復讐しようとしたウマ			30.5×24.5		②
50-7		47 オオカミとヤギと小ヤギ			29.6×24.0		①
50-8		51 ヒバリとその子どもたちと畑の持ち 主			29.7×24.0		①
50-9		62 戦いに出かけるライオン			29.8×24.0		③
50-10		71 香具師			29.8×24.2		③
50-11		72 若い未亡人			29.4×23.8		②
50-12		79 靴直しと金融家			30.0×24.6		③
50-13		81 主人の食事を顎にぶらさげたイヌ			29.3×24.0		②
50-14		86 ロバとイヌ			29.7×24.0		①
50-15		96 二羽のオウムと王さまと王子			29.5×23.8		③
51	マルク・シャガール	『サーカス』(全38点)より	1967	リトグラフ・紙			
51-1		1 表題			42.0×32.0		①
51-2		2 自転車のりたち			42.0×32.0		①
51-3		3 緑の馬の上の女曲馬師			42.0×32.0		①
51-4		5 恋人たち			42.0×32.0		①
51-5		6 無題			42.0×32.0		①
51-6		8 無題			42.0×32.0		①
51-7		10 黄色の道化師			42.0×32.0		③
51-8		11 空中ブランコ乗りと曲芸師			42.0×32.0		③
51-9		13 無題			42.0×32.0		①
51-10		14 無題			42.0×32.0		①
51-11		15 猛獣使い			42.0×32.0		③
51-12		17 猛獣たち			42.0×64.0		①
51-13		18 無題			42.0×32.0		③
51-14		19 無題			42.0×32.0		③
51-15		20 無題			42.0×32.0		③
51-16		21 馬たち			42.0×64.0		③
51-17		22 白い服の女曲馬師			42.0×32.0		③
51-18		23 黄色のリング			42.0×32.0		②
51-19		24 無題			42.0×32.0		③
51-20		25 無題			42.0×32.0		②
51-21		28 サーカス			42.0×64.0		②
51-22		30 無題			42.0×32.0		②
51-23		32 扇を持つ女曲馬師			42.0×32.0		②
51-24		34 軽業師たち			42.0×32.0		②
51-25		35 空中ブランコ乗り			42.0×32.0		②
51-26		36 無題			42.0×32.0		②
51-27		37 無題			42.0×32.0		②

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	備考	展示 期間
II. 日本の近代美術							
52	久米桂一郎	ブレハの海	1892	油彩・カンヴァス	47.4×63.4	萩原好夫氏寄贈	
53	岸田劉生	五月の砂道	1918	油彩・カンヴァス	31.0×40.9		
54	横堀角次郎	細き道	1917	油彩・板	30.0×30.4		
55	中川一政	監獄裏の落日	1919	油彩・カンヴァス	45.6×53.0		
56	安井曾太郎	足を洗う女	1913	油彩・カンヴァス	116.8×80.3		
57	湯浅一郎	モデル午睡	1903	油彩・カンヴァス	132.0×68.5	湯浅ゆくゑ・湯浅太助氏寄贈	
58	湯浅一郎	徒然	1904	油彩・カンヴァス	133.0×68.5	湯浅ゆくゑ・湯浅太助氏寄贈	
59	湯浅一郎	村娘	1906-07	油彩・カンヴァス	80.7×65.0	湯浅ゆくゑ・湯浅太助氏寄贈	
60	佐伯祐三	バリ郊外風景	1924	油彩・カンヴァス	60.5×72.8		
61	高島達四郎	婦人像	1927	油彩・カンヴァス	82.0×73.0	高島文子氏寄贈	
62	仲田好江	追分風景	1941	油彩・カンヴァス	60.5×72.5		
63	長谷川利行	少女	1935	油彩・カンヴァス	53.0×41.0	足利銀行寄贈	
64	前田寛治	姉妹	1927	油彩・カンヴァス	145.5×97.0		
65	中村節也	干潮	1935	油彩・カンヴァス	181.8×227.3	作者寄贈	
66	国吉康雄	乳母と子供	1924	油彩・カンヴァス	50.0×40.0		
67	福沢一郎	他人の窓	1930	油彩・カンヴァス	162.1×130.3	作者寄贈	
68	福沢一郎	嘘発見器	1930	油彩・カンヴァス	80.3×100.0	作者寄贈	
69	福沢一郎	怖るべき子供	1930	油彩・カンヴァス	60.0×81.0	作者寄贈	
70	福沢一郎	敗戦群像	1948	油彩・カンヴァス	193.9×259.1	作者寄贈	
71	福沢一郎	メキシコの花火	1956	油彩・カンヴァス	116.7×90.9	早水きよ氏寄贈	
72	福沢一郎	祈り	1958	油彩・カンヴァス	259.1×193.9	作者寄贈	
73	福沢一郎	レダ	1962	油彩・カンヴァス	90.9×116.7	作者寄贈	
74	福沢一郎	黒い癩勤者	1965	アクリル・カンヴァス	130.3×97.0	作者寄贈	
75	福沢一郎	SLUM LORDS RICH ON OUR MISERY	1965	アクリル・カンヴァス	131.5×103.6	作者寄贈	
76	山口 薫	緑衣横臥婦人像	1931 頃	油彩・カンヴァス	92.0×72.7	作者寄贈	
77	山口 薫	バリの画室から	1932	油彩・カンヴァス	80.5×65.2	山口マサ氏寄贈	
78	山口 薫	神話	1932 頃	油彩・カンヴァス	91.0×65.0	山口マサ氏寄贈	
79	山口 薫	地の星「娘と花」	1937-47	油彩・カンヴァス	38.0×45.6		
80	山口 薫	紐	1939	油彩・カンヴァス	100.0×80.0		
81	山口 薫	水	1941	油彩・カンヴァス	81.0×100.0		
82	山口 薫	花子誕生	1951	油彩・カンヴァス	100.0×80.0		
83	山口 薫	林の幻影	1953	油彩・カンヴァス	130.2×162.3		
84	山口 薫	矢羽根飛ぶ	1959	油彩・カンヴァス	130.0×161.5		
85	山口 薫	サラサラ粉雪降る	1960	油彩・カンヴァス	130.1×161.0		
86	山口 薫	白痴の愛(あやこ)	1955	油彩・カンヴァス	91.0×72.6	群馬銀行寄贈	
87	山口 薫	金環色(蝕)の若駒	1968	油彩・カンヴァス	100.0×80.5	山口マサ氏寄贈	
88	鶴岡政男	夜の群像	1949	油彩・板	130.5×162.0		
89	鶴岡政男	落下する人体	1954	油彩・カンヴァス	91.0×72.5		
90	鶴岡政男	黒いベッド	1966	油彩・カンヴァス	162.1×112.1		
91	鶴岡政男	クラゲ	1967	油彩・カンヴァス	130.5×162.5		
92	脇田和	午睡	1959	油彩・カンヴァス	72.7×90.9		
93	南城一夫	鯛の静物	1927	油彩・カンヴァス	72.8×91.0		
94	南城一夫	仔山羊のくる部屋	1969	油彩・カンヴァス	91.0×65.5		
95	牛島憲之	五月の水門	1950	油彩・カンヴァス	72.5×91.0		
96	河 鹿之助	花と廃墟	1966	油彩・カンヴァス	91.0×72.7		
97	オノサト・トシノブ	波紋の緑	1968	油彩・カンヴァス	130.3×193.9		
98	難波田龍起	五月の詩	1961	油彩・エナメル・カンヴァス	90.9×116.7		
99	菅井汲	天	1960	油彩・カンヴァス	162.0×130.5		
100	岡田謙三	ダブル・ランドスケープ	1974	油彩・カンヴァス	198.0×458.0		
101	木村忠太	風景・噴水	1980	油彩・カンヴァス	130.0×162.0		

No	作者名	作品名	制作年	技法材質・形状	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	備考	展示 期間
III. 墨絵の世界							
102	伝牧谿	芦雁図	南宋	紙本墨画・軸	70.0×27.5		12/19-1/14
103	伝胡直夫	山水図	元	絹本墨画・軸	48.5×31.1		①
104	作者不詳	桃花図	明	絹本着色・軸	23.7×25.3		12/9-12/17
105	伝蛇足	山水図	室町	紙本墨画・軸	49.9×42.0		1/14
106	伝蛇足	山水図	室町	紙本墨画・軸	49.9×41.7		1/14
107	秋月等観	山水図	室町	紙本墨画・軸	120.0×45.5		12/9-1/13
108	雪村周継	山水図	室町	紙本墨画・軸	27.5×44.2		12/19-1/14
109	海北友松	漁村夕照図	桃山	紙本墨画金彩・軸	72.4×37.0		12/19-1/14
110	伝狩野永徳	茄子図	桃山	紙本墨画・軸	19.0×50.0		12/9-1/13
111	曾我二直庵	松猿図	江戸	紙本墨画・軸	98.7×40.0		①
112	尾形光琳	鶯図	江戸	絹本墨画・軸	97.5×33.1		12/19-1/14
113	中村芳中	鹿図	江戸	紙本墨画・軸	19.0×47.7		12/9-12/17
114	鈴木其一	猫柳図・楓図	江戸	絹本着色・軸(二幅対)	各94.5×36.1		①
115	風外慧薫	達磨図	江戸	紙本墨画・軸	38.4×54.0		12/9-12/17
116	作者不詳	観月美人図	江戸	紙本着色・軸	39.1×55.3		①
117	山崎龍女	遊女と達磨図	江戸	紙本着色・軸	88.8×38.4		12/9-12/17
118	亀田鵬斎	浅間山真景図	1809	紙本淡彩・軸	127.0×73.0		①
119	小室翠雲	山水図屏風	1923	絹本金地墨画淡彩・六曲一隻	168.8×373.8		①
120	小川芋銭	蓬丘仙猿	1934	紙本墨画淡彩・軸	75.0×112.0		①
121	四方田草炎	風景	昭和	紙墨・鉛筆・額	78.9×121.4		①
IV. 染織—伝統の技と美—							
122	芹沢銈介	いろは文錦朱地黄土掛け縮緬地着物	1975	型絵染着物、絹	身丈166.2×裾62.7		②
123	志村ふくみ	鈴虫	1959	紬織着物	身丈154.6×裾64.0		②
124	志村ふくみ	マルコ	1981	紬織着物	身丈167.2×裾66.3		②
125	志村ふくみ	藍格子段	1983	紬織着物	身丈169.0×裾69.0		②
126	志村ふくみ	白い翼	1989	紬織着物	身丈167.0×裾66.5		②
127	北村武資	金地経錦丸帯	1987	絹、金糸	幅71.0		②
128	北村武資	羅地金襴丸帯	1997	絹、金糸	幅71.0		②
129	森口邦彦	白雨	1970	友禅染着物、絹	身丈168.0×裾63.0		②
130	森口邦彦	天動	1986	友禅染着物、絹	身丈170.0×裾65.0		②
131	小宮康正	長板中形着物「亀甲取花蝶」	1988	長板中形着物、木綿	身丈162.0×裾65.0	作者寄贈	②
V. ファイバー・ワーク							
132	磯辺晴美	いにしへの軌跡	1990	麻、ウール、銀糸、絹、和紙	143.0×289.0		③
133	中川千早	サンライズ・サンセット	1979	毛、絹	各93.5×各93.5		③
134	小林正和	Hanaoto-P3.'91	1991	シルク糸、アルミニウム	135.0×403.0×10.0		③
135	小林尚美	Ito-wa-Ito	1981	木綿	15.0×220.0×200.0		③
136	草間結雄	Landscape Wall B	1982	綿	120.0×205.0		③

* 展示期間:空欄 12月9日(土)~4月1日(日)、①12月9日(土)~1月14日(日)、②1月17日(水)~2月18日(日)、③2月21日(水)~4月1日(日)

* 所蔵の記載のないものは、群馬県立近代美術館所蔵 (No.102~117は「戸方庵井上コレクション」)。

◎印刷物・会場作成物

●展覧会を楽しむガイド

A5判変形(A2判 2つ折り+3山蛇腹折り) 21.0×14.8cm

内容:

キュレーターズ・アイ～館林美術館学芸員が語るこの1点

展覧会の裏方～本展ができるまで

群馬県の美術館とコレクションの歴史～1974年から現在まで

美術館とコレクション(館長 木島俊介)

編集・発行:群馬県立館林美術館

協力:修復研究所21、トップアート鎌倉、ヤマトロジスティクス

デザイン・制作:美術出版デザインセンター

●ポスター B2

●チラシ A4

●パネル

挨拶パネル2枚(主催者挨拶 和文、英文)

セクション解説パネル5枚

●会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に*)

[新聞等]

●朝日新聞

1.13 「伝蛇足「山水図」を公開 県立館林美術館 あす、1日限定で」*

●朝日ぐんま

1.12 「国重文 伝蛇足「山水図」室町後期の名品 3年ぶりに一般公開」*

2.16 「美術講座「ルドンの版画」」

2.23 「美術講座」

3.16 「県立近代美術館の名品一堂に モネ、ムンク、岸田劉生、山口薫」*

●朝日新聞 群馬マリオン

3.10 「館林でみる 県立近代美術館名品展」<ミュージアム>

●おたタイムス

10.21 「ルノワール、モネなど名作を展示 館林でみる群馬県立近代美術館名品展」

12.23 「近代美術館の名品を一同に 名品展」

1.27 「名品展・展覧会を楽しむパンフレット発行」*

●群馬ようほうり

12.23 「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」<展示>

●下野新聞

2.1、3.22、3.29

「群馬県立館林美術館 館林でみる群馬県立近代美術館名品展」

●上毛新聞

12.8 「館林でみる群馬県立近代美術館名品展」<週末の主な観光イベント>

12.9 「近美所蔵品を紹介 モネ、ルノワールなど270点」

12.25 「長期休館中の取り組み課題 高崎・県立近代美術館」*

12.8、1.23、3.11

「館林美術館特別展示「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」<ゆうまちゃんの掲示板>

12.9 「館林美術館「サンデー・ギャラリートーク」<ゆうまちゃんの掲示板>

12.10 「館林美術館「墨絵の世界」<ゆうまちゃんの掲示板>

12.15 「館林美術館「子どもギャラリートーク」<ゆうまちゃんの掲示板>

1.8 「展示作品と背景を紹介 14日から講座」

1.10 「館林美術館美術講座「展示作品をめぐって」<ゆうまちゃんの掲示板>

1.12、2.16、3.9

「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」<気になる情報ばれっと 県内美術館博物館>

1.12 「「山水図」を特別公開」*

1.16 「日中の墨絵読み解く」*

1.17 「館林美術館テーマ展示「染織—伝統の技と美—」<ゆうまちゃんの掲示板>

1.19 「展覧会裏方作業など紹介 違う角度で楽しもう 館林美術館がガイド作製」*

2.2 「特別展示「館林でみる群馬県立近代美術館名品展」<週末の主な観光イベント>

2.3、3.1

「館林美術館美術講座「展示作品をめぐって」<ゆうまちゃんの掲示板>

2.21、3.10

「館林美術館テーマ展示「ファイバー・ワーク」<ゆうまちゃんの掲示板>

3.30 「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」<気になる情報ばれっと>

●上毛シャトル(館林ニュース)

12.8、12.10、12.24、1.14、1.28、2.11、2.25、3.11、3.25

「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」<museum>

12.8 「近美コレクション 館林美術館で公開 油彩や版画 集中展示」*

12.16、12.18、12.23、12.25、1.29、2.5、2.10、2.19、2.24、3.5、3.9、3.16、3.19、3.24、3.26、3.31

「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」<出かけてみませんか 情報BOX>

1.1、1.5、1.8、1.12

「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」<館林でみる 群馬県立近代美術館名品展「伝蛇足<山水図>展示」<美術講座①展示作品をめぐって～墨絵の世界」<出かけてみませんか 情報BOX>

1.15、1.20

「館林でみる群馬県立近代美術館名品展」<美術講座②「展示作品をめぐって～福沢一郎<恐るべき子供>」<出かけてみませんか 情報BOX>

1.22、1.26

「館林でみる群馬県立近代美術館名品展」<美術講座②「展示作品をめぐって～福沢一郎<恐るべき子供>」<美術講座③「展示作品をめぐって～モネ<睡蓮>」<出かけてみませんか 情報BOX>

2.2

「館林でみる群馬県立近代美術館名品展」<美術講座③「展示作品をめぐって～モネ」<出かけてみませんか 情報BOX>

2.12、2.17

「館林でみる群馬県立近代美術館名品展」<美術講座④「展示作品をめぐって～ルドンの版画」<出かけてみませんか 情報BOX>

2.26、3.2

「館林でみる群馬県立近代美術館名品展」<美術講座⑤「展示作品をめぐって～マチス<ジャズ>」<出かけてみませんか 情報BOX>

●東京新聞

12.20 「パブロ・ピカソ「魚、瓶、コンポート皿(小さなキッチン)」<群馬の美>

12.2、1.11、2.15、3.1、3.15

「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」<美術・博物館ガイド>

●日本経済新聞

1.12 「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」<文化イベント>

●両毛新聞

12.20 「西洋、日本の巨匠作品 群馬県立館林美術館」<近県美術館、博物館だより>

●毎日新聞

12.13、1.24、2.7、2.14、2.21、3.7、3.14、3.28

「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」<群馬のミュージアム>

1.10 「モネやピカソなど 館林でみる県立近代美術館名品展」*

1.19 「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」<ふれあい歳事記>

●まいにち

11.28、12.26、1.26、2.7

「館林でみる群馬県立近代美術館名品展」<イベント・インフォメーション>

[定期刊行物]

・足利漫我人

12、1、2、3、4月号

「県立館林美術館情報 館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」

・教育ぐんま

3月号「特別展示「館林で見る 群馬県立近代美術館名品展」

・ギャラリー

12、1、2月号

「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」〈今月の展覧会案内 Exhibition Spot 2〉

12、1月号

「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」〈全国美術展「美術館&画廊」スケジュール&マップ〉

・グラフぐんま

12月号「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」〈Gallery〉

1月号「テーマ展示「染織—伝統の技と美—」〈イベントガイド〉

3月号「テーマ展示「ファイバー・ワーク」

・ぐんま情報誌 からっ風

11・12月号、1・2月号、3・4月号

「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」〈Art Museum〉

・ぐんま広報

1月号「館林美術館テーマ展示「染織—伝統の技と美—」

・広報おおいずみ

11月25日号

「館林で見る 群馬県立近代美術館名品展」

・広報たてばやし

Vol.1949「館林でみる 県立近代美術館名品展」〈情報アラカルト〉

・博物館研究

Vol.41 No.11・12、Vol.42 No.4

「館林でみる群馬県立近代美術館名品展」

Vol.42 No.1、2、3

「館林でみる群馬県立近代美術館名品展」〈美術講座 展示作品をめぐって〉

・美術手帖

2月号「館林でみる群馬県立近代美術館名品展」〈そのほか注目の展覧会から〉

・美術の窓

12、1、2、3月号

「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」〈展覧会情報〉

・美連協ニュース

2月号「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」

・月刊 raifu

12月号「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」〈EVENT GUIDE〉

・渡良瀬通信

12、1、2、3月号

「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」〈Watarase Information〉

・Deli-J

12、1月号

「館林でみる群馬県立近代美術館名品展」〈Event Guide〉

・Vien

2月号「群馬県立館林美術館 館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」〈East Area〉

◎放送

[ラジオ]

・エフエム群馬

12.22 10:40-10:45 〈ぐんま情報トッピング〉

・エフエム太郎

12.8、1.5 8:25-8:30 〈ぐんまいきいき情報〉

1.9 8:25-8:30 〈ぐんまいきいき情報〉

1.16、2.13 8:25-8:30 〈ぐんまいきいき情報〉

2.6、2.13 8:25-8:30 〈ぐんまいきいき情報〉

2.27、3.6 8:25-8:30 〈ぐんまいきいき情報〉

◎関連事業

・美術講座「展示作品をめぐって」

1.14 「墨絵の世界」 講師:中島幸子(学芸員)

1.28 「福沢一郎〈怖るべき子供〉」 講師:伊藤佳之(学芸員)

2.4 「モネ〈睡蓮〉」 講師:伊藤香織(学芸員)

2.18 「ルドンの版画」 講師:松下和美(学芸員)

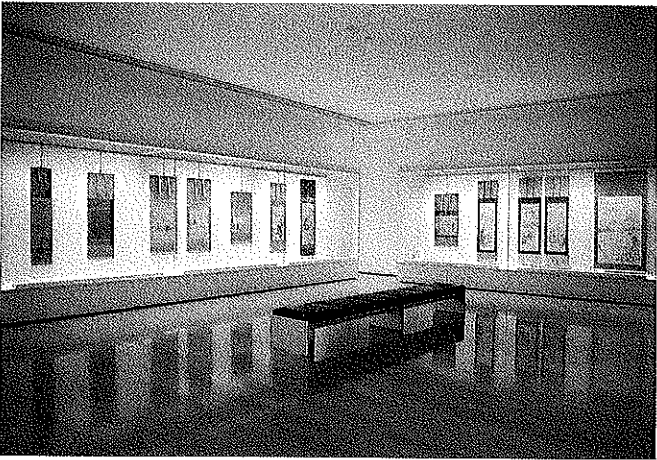
3.4 「マチス〈ジャズ〉」 講師:松下由里(学芸員)



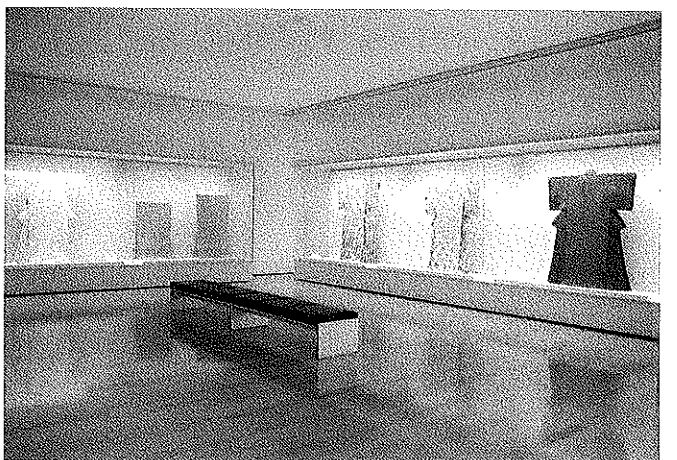
展示室 4



展示室 2



展示室 3



展示室 3

第1期

展示室1

「近現代の彫刻I」 4月15日(土)～6月18日(日)

第2期

展示室1

「近現代の彫刻II」 7月1日(土)～9月3日(日)

第3期

展示室1

「近現代の彫刻III」 9月16日(土)～11月26日(日)

第4期

展示室1

「近現代の彫刻IV フランス近代の彫刻」 12月9日(土)～4月1日(日)

◎印刷物・会場作成物

- 「近現代の彫刻Ⅰ」
- 会場配布用作品リスト
- 「近現代の彫刻Ⅱ」
- 会場配布用作品リスト
- 「近現代の彫刻Ⅲ」
- 会場配布用リスト
- 「近現代の彫刻Ⅳ」
- 解説パネル1枚
- 会場配布用作品リスト

- メイプル
- 9月号「長尾智子さん(料理研究家)広大な眺めと建物も作品と一緒に楽しむ群馬県立館林美術館」<永久保存版Book in Book旅メイプル/Museum 12人が選んだ私の「とっておき美術館」>
- Precious
- 10月号「この作品を観に行こう!料理研究家 長尾智子さんのとっておき 群馬県立館林美術館の『シロクマ』<秋の休日、さ、美術館へ行こう!>

◎主要関連記事(長文記事は末尾に*)

[新聞等]

- 朝日新聞
- 7.26 「ガラスの彫刻に30センチのひび割れ 館林美術館 修復へ」*
- 産経新聞
- 7.26 「ガラス作品に亀裂 館林美術館 温度変化が影響?」*
- 9.20 「天高く飛び「ようこそ」<あーと@群馬>
- 上毛新聞
- 7.26 「ガラス作品に亀裂 館林美術館 日差しで室温上昇」
- 9.16 「館林美術館テーマ展示「近現代の彫刻Ⅲ」展」<ゆうまちゃんの掲示板>
- 「館林美術館テーマ展示「近現代の彫刻Ⅳ」展」<ゆうまちゃんの掲示板>
- 12.9、2.9、3.7
- 「館林美術館「サンデー・ギャラリートーク」」<ゆうまちゃんの掲示板>
- 12.15、12.18、3.3、3.7
- 「館林美術館「子どもギャラリートーク」」<ゆうまちゃんの掲示板>
- 上毛シャトル(館林ニュース)
- 12.7、12.18、12.23、12.25、1.1、1.8、1.20、1.26、1.29、2.2、2.5、2.10、2.12、2.17、2.19、2.24、3.2、3.5、3.9、3.16、3.19、3.24、3.26、3.31
- 「コレクション展示「近現代の彫刻Ⅳ」」<出かけてみませんか 情報BOX>
- 2.5、2.10、2.12、2.17、3.9、3.16、3.19、3.24、3.26、3.31
- 「子どもギャラリートーク」<出かけてみませんか 情報BOX>
- 2.10、3.9、3.19、3.24
- 「サンデー・ギャラリートーク」<出かけてみませんか 情報BOX>
- 東京新聞
- 1.26 「美術館への招待 群馬県立館林美術館「シロクマ」日本人好みの洗練」
- 毎日新聞
- 7.26 「ガラス彫刻「鳥」に亀裂 県立館林美術館 日光の温度変化で」
- 讀賣新聞
- 7.26 「ガラス彫刻に亀裂 館林美術館、空調の温暖差で」

[定期刊行物]

- ぐんま広報
- 3月号「館林美術館 ギャラリートーク」<催し>
- 広報小山
- 3.1 「群馬県立館林美術館 サンデー・ギャラリートーク 子どもギャラリートーク」<インフォメーション>
- 博物館研究
- Vol.41 No.6
- 「群馬県立館林美術館 近現代の彫刻」
- Vol.41 No.11、12
- 「群馬県立館林美術館 コレクション展示「近現代の彫刻」」

近現代の彫刻 I

平成18年4月15日(土)～6月18日(日) 展示室1

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1	西村盛雄	甘露の雨 マナ10	2002	木	65×160×207	群馬県立館林美術館
2	西村盛雄	甘露の雨 マナ9	2002	木	37.0×220×220	群馬県立館林美術館寄託
3	アーブラハム・ダーフィット・クリスティアン	清らかな人 XI	1982	ブロンズ	51.8×28.6×21.8	群馬県立館林美術館
4	土谷 武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0×130.0×160.0	群馬県立館林美術館
5	イサム・ノグチ	リス	1984-88	ブロンズ板	61.0×48.0×39.0	群馬県立館林美術館
6	スタニスラフ・リベンスキー、ヤロスヴァ・プリフトヴァ	鳥	1997	ガラス	72.0×123.0×25.0	群馬県立館林美術館
7	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5×32.2×30.0	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ボンボン	風見鶏	1908-32	銅	47.0×54.4×6.0	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ボンボン	大黒豹	1930-31	ブロンズ	25.0×81.0×14.0	群馬県立館林美術館
10	フランソワ・ボンボン	シロクマ	1923-33	大理石	23.6×47.2×13.4	群馬県立館林美術館
11	フランソワ・ボンボン	パン	1923	ブロンズ	26.0×29.0×12.0	群馬県立館林美術館
12	フランソワ・ボンボン	ほろほろ鳥	1910-12	ブロンズ	19.8×23.4×10.7	群馬県立館林美術館
13	フランソワ・ボンボン	フクロウ	1923頃	ブロンズ	17.7×7.9×8.2	群馬県立館林美術館
14	フランソワ・ボンボン	牝豚	1918-25	ブロンズ	11.0×20.0×5.5	群馬県立館林美術館
15	フランソワ・ボンボン	ヒグマ	1928-26	ブロンズ	9.2×15.8×7.0	群馬県立館林美術館
16	フランソワ・ボンボン	ラクダ	1906-30	ブロンズ	15.6×23.0×6.0	群馬県立館林美術館
17	フランソワ・ボンボン	立って頭を下げている インドの牝鹿	1927-28	ブロンズ	12.5×20.8×8.0	群馬県立館林美術館



近現代の彫刻II

平成18年7月1日(土)～9月3日(日) 展示室1

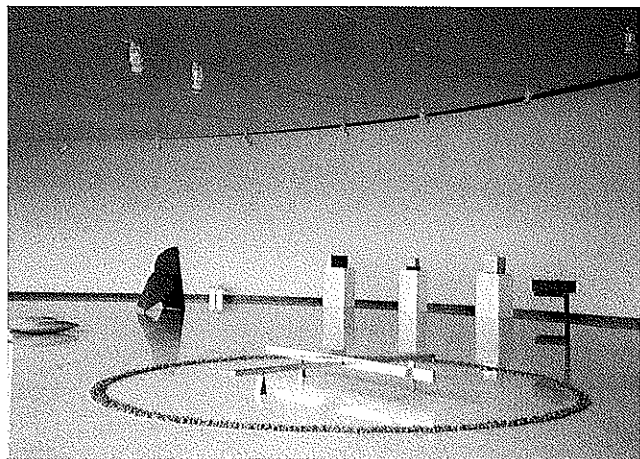
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0×122.0×112.0	群馬県立館林美術館
2	土谷 武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0×130.0×160.0	群馬県立館林美術館
3	アブラハム・ダーフィット・クリスティアン	清らかな人 XI	1982	ブロンズ	166.2×57.8×28.0	群馬県立館林美術館
4	イサム・ノグチ	リス	1984-88	ブロンズ	51.8×28.6×21.8	群馬県立館林美術館
5	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5×104.1×62.2	群馬県立館林美術館
6	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7×40.7×40.7	群馬県立館林美術館
7	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5×32.2×30.0	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ボンボン	風見鶏	1908-32	銅	47.0×54.4×6.0	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ボンボン	大黒豹	1930-31	ブロンズ	25.0×81.0×14.0	群馬県立館林美術館
10	フランソワ・ボンボン	シロクマ	1923-33	大理石	24.7×45.5×11.7	群馬県立館林美術館
11	フランソワ・ボンボン	パン	1923頃	ブロンズ	26.0×29.0×12.0	群馬県立館林美術館
12	フランソワ・ボンボン	ほろほろ鳥	1910-12	ブロンズ	19.8×23.4×10.7	群馬県立館林美術館
13	フランソワ・ボンボン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7×7.9×8.2	群馬県立館林美術館
14	フランソワ・ボンボン	牝豚	1918-25	ブロンズ	11.0×20.0×5.5	群馬県立館林美術館
15	フランソワ・ボンボン	ヒグマ	1918-26	ブロンズ	9.2×15.8×7.0	群馬県立館林美術館
16	フランソワ・ボンボン	ラクダ	1906-30	ブロンズ	15.6×23.0×6.0	群馬県立館林美術館
17	フランソワ・ボンボン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927-28	ブロンズ	12.5×20.8×8.0	群馬県立館林美術館



近現代の彫刻III

平成18年9月16日(土)～11月26日(日) 展示室1

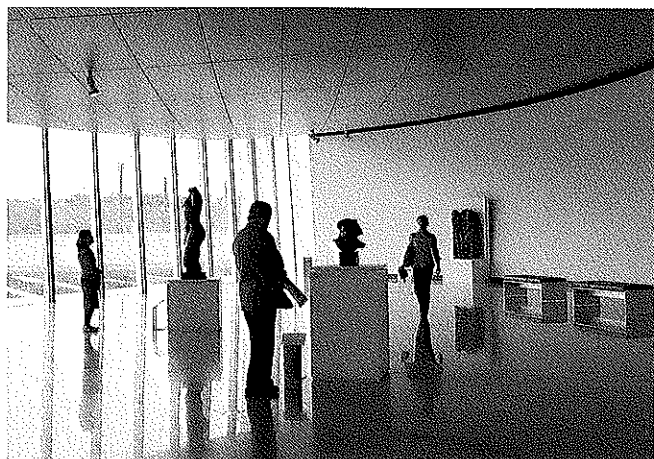
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1	フランソワ・ボンボン	ほろほろ鳥	1910-12	ブロンズ	19.8×23.4×10.7	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ボンボン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0×8.7×9.5	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ボンボン	牝豚	1918-25	ブロンズ	11.0×20.0×5.5	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ボンボン	パン	1923	ブロンズ	26.0×29.0×12.0	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ボンボン	フクロウ	1923頃	ブロンズ	17.7×7.9×8.2	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ボンボン	シロクマ	1923-33	大理石	23.6×47.2×13.4	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ボンボン	ヒグマ	1928-26	ブロンズ	9.2×15.8×7.0	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ボンボン	大黒豹	1930-31	ブロンズ	25.0×81.0×14.0	群馬県立館林美術館
9	森村 均	水平の十字形	1983	金属	30.0×200.0×200.0	群馬県立近代美術館
10	土谷 武	無題	1972	軟鋼	105.0×75.0×160.0	群馬県立館林美術館
11	土谷 武	蝶	1973	軟鋼	147.0×130.0×160.0	群馬県立館林美術館
12	アーブラハム・ダーフィット・クリスティアン	清らかな人 XI	1982	ブロンズ	166.2×57.8×28.0	群馬県立館林美術館
13	保田春彦	立方体分割のための習作	1970	真鍮、ニッケルメッキ	36.0×36.2×36.0	群馬県立近代美術館
14	保田春彦	立方体試作	1971	真鍮、ニッケルメッキ、石	38.5×37×36	群馬県立近代美術館
15	保田春彦	ソフィット A	1977	銅	31.5×31.5×31.5	群馬県立近代美術館
16	清水九兵衛	affinity B	1974	アルミ	27.0×120.0×110.0	群馬県立近代美術館



近現代の彫刻IV フランス近代の彫刻

平成18年12月9日(土)～平成19年4月1日(日) 展示室1

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1	フランソワ・ポンボン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0×18.0×13.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンボン	ラクダ	1906-30	ブロンズ	15.6×23.0×6.0	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンボン	風見鶏	1908-32	銅	47.0×54.4×6.0	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンボン	ぼろぼろ鳥	1910-12	ブロンズ	19.8×23.4×10.7	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンボン	牝豚	1918-25	ブロンズ	11.0×20.0×5.5	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンボン	ヒグマ	1918-26	ブロンズ	9.2×15.8×7.0	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンボン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0×8.7×9.5	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ポンボン	パン	1923	ブロンズ	26.0×29.0×12.0	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ポンボン	フクロウ	1923頃	ブロンズ	17.7×7.9×8.2	群馬県立館林美術館
10	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1923-33	大理石	23.6×47.2×13.4	群馬県立館林美術館
11	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1924	合金	24.0×44.0×12.4	群馬県立館林美術館
12	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1926	ブロンズ	12.0×23.5×5.0	群馬県立館林美術館
13	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1921-24 (28-34製造)	無釉硬質磁器	20.4×39.4×7.3	群馬県立館林美術館
14	フランソワ・ポンボン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927-28	ブロンズ	12.5×20.8×8.0	群馬県立館林美術館
15	フランソワ・ポンボン	大黒豹	1930-31	ブロンズ	25.0×81.0×14.0	群馬県立館林美術館
16	オーギュスト・ロダン	バルザックの頭部 H	1894頃	ブロンズ	30.0×32.0×20.0	群馬県立近代美術館
17	アリスティード・マイヨール	ヴィーナスの誕生	1918	ブロンズ	120.2×53.0×32.0	群馬県立近代美術館
18	エミール=アントワーヌ=ブールデル	アダム・ミスケビッチ記念碑 -3つのポーランド	1928	ブロンズ	132.0×84.0×29.0	群馬県立近代美術館寄託



E 観覧者数一覧表

コレクション展示（特別展示を含む）

	有料観覧者						無料観覧者							観覧者 合計
	個人			団体			有料 合計	小中 生	学校 団体	身体障 害者等	その他	無料 合計		
	一般	大高生	小計	一般	大高生	小計								
光のかけら 4/1～4/2 2日	296	16	312	0	0	0	312	26	0	6	62	94	406	
館林でみる 群馬県立 近代美術館名品展 12/9～3/31 90日 (展示は平成19年度 4月1日まで継続)	8,981	407	9,388	243	0	243	9,631	536	255	236	1,807	2,834	12,465	
コレクション展示 計 92日	9,277	423	9,700	243	0	243	9,943	562	255	242	1,869	2,928	12,871	

企画展示

ウィリアム・モリス展 4/15～6/18 57日	6,224	511	6,735	85	495	580	7,315	417	359	199	2,333	3,308	10,623
昭和の記憶 7/1～9/3 56日	4,717	341	5,058	197	22	219	5,277	1,141	85	150	1,741	3,117	8,394
夢のなかの自然 9/16～11/26 62日	2,865	190	3,055	260	81	341	3,396	275	306	133	3,367	4,081	7,477
企画展示 計 175日	13,806	1,042	14,848	542	598	1,140	15,988	1,833	750	482	7,441	10,506	26,494
合計	23,083	1,465	24,548	785	598	1,383	25,931	2,395	1,005	724	9,310	13,434	39,365

平成18年度の総観覧者数は、39,365人である。

A 講演会

開催日	名称 演題	講師	会場	参加者数
4.30	記念講演会 「バーン=ジョーンズが人を、ウェップが鳥を、 そしてモリスが野の花を描いた」	藤田治彦 (大阪大学大学院文学研究科教授)	講堂	91
7.30	記念講演会 「写真の昭和—山口県美所蔵作品を中心に—」	河野通孝 (山口県立美術館普及課長)	講堂	41

B 作品解説会・ギャラリートーク

1. 学芸員による作品解説会

開催日	展示の名称	解説者	会場	参加者数
4.19	ウィリアム・モリス展	松下由里	展示室	22
5.6	ウィリアム・モリス展	松下由里	展示室	24
5.28	ウィリアム・モリス展	松下由里	展示室	30
6.8	ウィリアム・モリス展	松下由里	展示室	35
7.15	昭和の記憶	中田宏明	展示室	18
7.25	昭和の記憶★	中田宏明	展示室	6
8.2	昭和の記憶	中田宏明	展示室	10
8.8	昭和の記憶★	中田宏明	展示室	4
8.16	昭和の記憶	中田宏明	展示室	17
8.27	昭和の記憶	中田宏明	展示室	35
9.20	夢のなかの自然	伊藤佳之	展示室	18
9.26	夢のなかの自然★	伊藤佳之	展示室	2
10.12	夢のなかの自然	伊藤佳之	展示室	11
10.29	夢のなかの自然	伊藤佳之	展示室	13
11.18	夢のなかの自然	伊藤佳之	展示室	8
12.12	館林でみる群馬県立近代美術館名品展★	松下和美、中島幸子	展示室	1
2.6	館林でみる群馬県立近代美術館名品展★	松下和美、中島幸子	展示室	1

★印は教職員のための作品解説会。

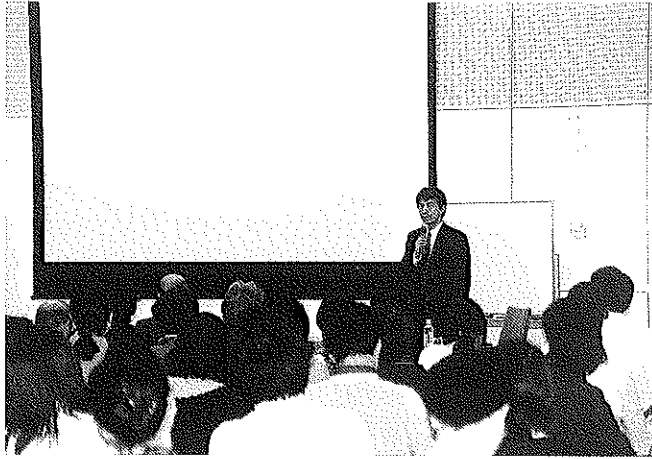
2. サンデー・ギャラリートーク

開催日	解説者	会場	参加者数
12.10	松下和美	展示室	17
12.24	徳江庸行	展示室	21
2.11	松下和美、中島幸子	展示室	42
2.25	松下由里	展示室	17
3.11	松下和美	展示室	33
3.25	松下和美	展示室	27

3. 子どもギャラリートーク

開催日	解説者	会場	参加者数
4.22	松下和美	展示室	2
4.29	伊藤香織	展示室	2
5.13	徳江庸行	展示室	1
5.27	伊藤佳之	展示室	1
6.3	松下由里	展示室	2
7.8	松下由里	展示室	2
7.22	伊藤香織	展示室	3
8.12	徳江庸行	展示室	3
9.23	松下由里	展示室	1
1.13	伊藤香織	展示室	1
1.27	松下由里	展示室	2
2.24	中島幸子	展示室	2
3.31	伊藤香織	展示室	4

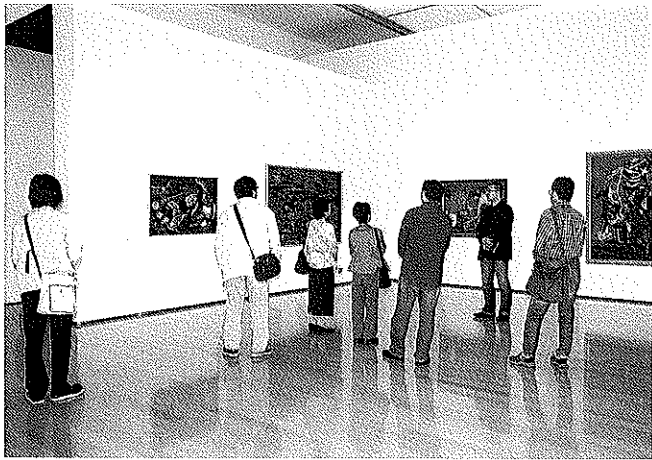
※参加者のあった回のみ記した。



「ウィリアム・モリス展」記念講演会



「昭和の記憶」展記念講演会



学芸員による作品解説会



学芸員による子どもギャラリートーク

C ワークショップ

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.1・21	1. 植物アレンジメント 変容する植物模様	榎本寿紀(美術家)	ワークショップ室、美術館周辺	16
8.5-6	2. 写真の家を建てる 風景を閉じ込める立体ピンホール写真	大竹敦人(美術家)	ワークショップ室、美術館周辺	7
10.14-15	3. わたしだけの風景☆多々良沼←→美術館絵図	平町公 (「夢のなかの自然」出品作家)	講堂、多々良沼周辺	6
12.16-17	4. ハクチョウ観察隊 ハクチョウノミズウミ	早川朋子(振付家、ダンサー)、 山田珠美(ダンサー)、 宇野あかり(ダンサー)	講堂、多々良沼周辺	15
1.20-21	5. 版画ワークショップ 白と黒の宇宙—メゾチントによる銅版画制作	大沼正昭(版画家)、 鈴木吐志哉(版画家)、 坂東陽美(版画家)	ワークショップ室	17

1. 植物アレンジメント 変容する植物模様

美術家の榎本寿紀を講師に招き、参加者の五感を呼び覚ますトレーニングをとおして、植物のイメージを模様にデザインし、ステンシルの技法で表す試みを行った。

2. 写真の家を建てる—風景を閉じ込める立体ピンホール写真—

美術家の大竹敦人を講師に招き、家型の立体ピンホールカメラを作成し、美術館周辺を撮影。立体写真の「家」を撮影場所においてインスタレーションし、「竣工写真」を撮った。

3. わたしだけの風景☆多々良沼←→美術館絵図

「夢のなかの自然」出品作家の平町公を講師に招き、美術館から多々良沼周辺を散策した体験を、縦1m横2mの大きさの和紙に、木炭、墨、淡彩によって描いた。

4. ハクチョウ観察隊 ハクチョウノミズウミ

振付家でダンサーの早川朋子ら3名のダンサーを招き、美術館近くにある多々良沼に飛来する、ハクチョウや周辺の自然を観察した体験を、グループに分かれダンスで表現した。

5. 版画ワークショップ 白と黒の宇宙—メゾチントによる銅版画制作

版画家で創形美術学校講師の大沼正昭ら3名の講師を招き、メゾチントによる銅版画制作を行い、版画作品への理解を深めた。



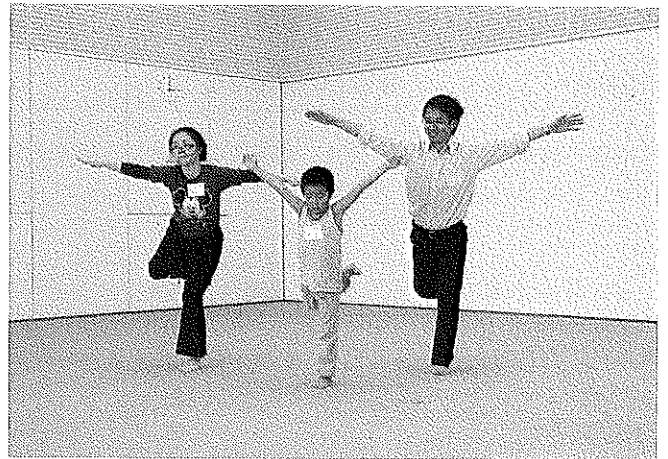
植物アレンジメント 変容する植物模様



写真の家を建てる—風景を閉じ込める立体ピンホール写真—



わたしだけの風景☆多々良沼←→美術館絵図



ハクチョウ観察隊 ハクチョウノミズウミ



版画ワークショップ 白と黒の宇宙—メゾチントによる銅版画制作

D 創作体験コーナー みんなのアトリエ

展覧会「昭和の記憶」会期中に、日光写真を作る「創作体験コーナー みんなのアトリエ」を、7月27日～8月24日の毎週木曜日、計5回開催し、合計190名が参加した。

E 美術講座

1. 「夢のなかの自然」関連講座

開催日	名称	講師	会場	参加者数
9.17	夢のなかの自然―昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ―	伊藤佳之	講堂	29
10.1	昭和初期とシュルレアリスム 自己をみつめた作家たち	大谷省吾(東京国立近代美術館主任研究員)	講堂	29
10.22	シュルレアリスムと写真 写し取られる不思議な風景	竹葉丈(名古屋市美術館学芸員)	講堂	13
11.12	寺田農と語る 自然へのまなざし―シュルレアリスムが遺すもの	寺田農(俳優、映画監督)、伊藤佳之	講堂	66

2. 展示作品をめぐって

開催日	名称	講師	会場	参加者数
1.14	墨絵の世界	中島幸子	講堂	103
1.28	福沢一郎<怖るべき子供>	伊藤佳之	講堂	37
2.4	モネ<睡蓮>	伊藤香織	講堂	98
2.18	ルドンの版画	松下和美	講堂	48
3.4	マチス<ジャズ>	松下由里	講堂	43



創作体験コーナー みんなのアトリエ



「美のなかの自然」関連講座

F ミュージアム・オリエンテーリング GMAT 探検隊

小学3年生から一般まで対象に、クイズ形式のワークシートを使いながら美術館内を巡り、美術館と展示作品に親しんだ。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
6.10	美術館のうらがわ探検	松下由里	美術館	5
11.11	美術館ウォッチング	中島幸子	美術館	3

G 子どもミュージアム・スクール

昨年に引き続き、小学3年生から中学2年生までを対象に、美術鑑賞やワークショップなどの体験を月1回、年間を通して7回連続で行う「子どもミュージアム・スクール」を開催した。この事業は、多彩な美術の体験を継続的に行うことによって、美術館と美術作品に親しみ理解と深めることを目的としている。講師は、作家、中島幸子ほか当館職員が担当した。

開催日	時間	名称 内容	会場	参加者数
5.20	10:30-16:00	開校式、ワークショップ「ぺたぺた、もようづくり」 展覧会鑑賞、作品制作	美術館、 美術館周辺	20
6.17	10:30-16:00	ワークショップ「あじのひらき」 展覧会鑑賞、作品制作	美術館	20
7.29	10:30-16:00	ワークショップ「ピン・ホールカメラを作ろう」 展覧会鑑賞、作品制作	美術館	18
8.26	10:30-12:00 14:00-16:00	ワークショップ「フォト・グラムー光でえがく」 講師:大竹敦人(美術家)、作品制作	美術館	20
9.30	10:30-16:00	ワークショップ「ふしぎな世界をつくろう」 展覧会鑑賞、作品制作	美術館	19
10.21	9:40-16:30	こんにちは美術館「宇都宮美術館をたずねる」 展覧会鑑賞	美術館、 宇都宮美術館	15
11.25	10:30-16:00	ワークショップ「ハクチョウ観察隊 ハクチョウの家をつくろう！」自然観察、展覧会鑑賞、作品制作、修了式	美術館、 多々良沼周辺	16



GMAT探検隊「美術館のうらがわ探検」



子どもミュージアム・スクール

H アーティスト・トーク

企画展覧会「夢のなかの自然」展会期中に、出品作家による展示作品を中心としたギャラリートークを行った。

開催日	アーティスト	参加者数
9.16	伊藤存、近藤正勝、中川トラヲ	52
10.14	平町公	11
11.4	真島直子	25

I 学校連携その他

当館では、学校との連携に力を入れた活動を目標としているため、学校からの要望に可能な限り応え、研究授業の受け入れや、学校の授業における連携などを行った。また、解説を希望する団体については、観覧前に概要説明を行った。

1. 学校との連携事業

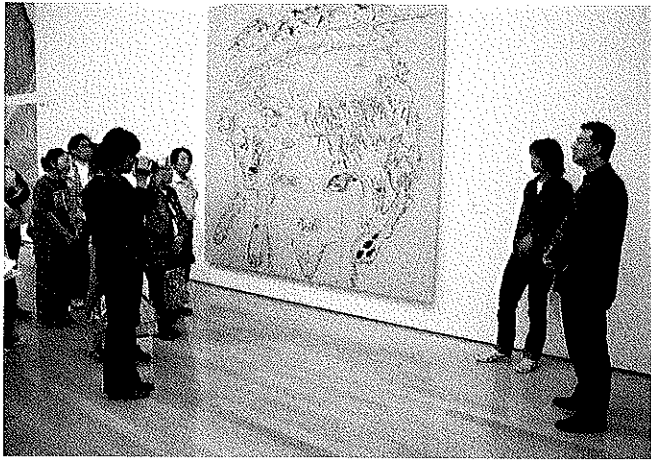
開催日	名称	学校名、学年	講師	会場	参加者数
6.7	地域体験学習	館林市立多々良中学校1年	伊藤佳之	展示室他	161
7.27、8.10	職場体験	館林市立第二中学校2年	伊藤佳之他	ワークショップ室	3
8.17・24	職場体験	邑楽町立邑楽中学校2年	伊藤佳之他	展示室他	2
2.15	作品鑑賞	富士幼稚園	伊藤佳之他	展示室	99
3.2	美術館をもっと知る・考えるためのプログラム	群馬県立西邑楽高等学校1・2年	吉賀あさみ、中島幸子他	展示室他	44

2. 研修等の受け入れ

開催日	名称	学校名、学年	講師	会場	参加者数
7.27、8.3	社会体験研修	館林市立第二中学校	伊藤佳之他	ワークショップ室他	1
8.2	社会体験研修	佐野市中学校教育研究会	中島幸子	研修室他	11

3. 団体観覧者への解説

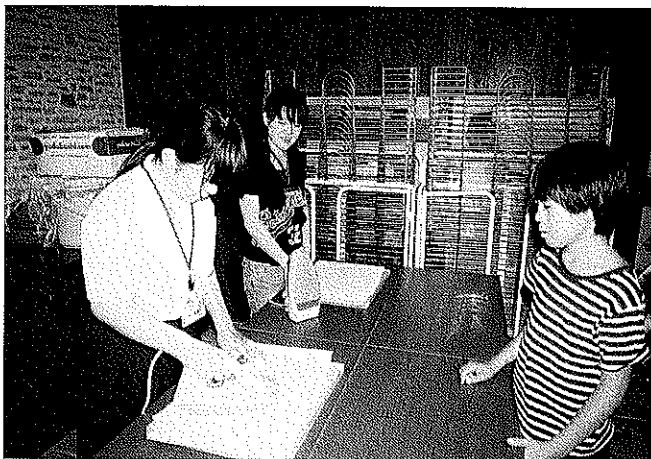
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	1	8	4	10	5	2	10	3	1	4	4	3	55
人数	21	385	390	292	82	48	419	128	20	106	248	171	2,310



アーティスト・トーク(「夢のなかの自然」展)



学校連携(群馬県立西色楽高等学校)



ボランティア(創作体験コーナー みんなのアトリエ)

(展覧会関連のものは、各展覧会の項に記載)

◎GMAT News (A4判、4頁、発行部数8,000部)

GMAT Newsは、企画展示やコレクション展示、講演、ワークショップ、ギャラリートークなどの館行事の紹介や、所蔵品の解説などによって内容を構成している。館の事業の広報をはかるとともに、美術及び美術館に対する県民の理解を深めることを目的として、年4回発行。

• GMAT News 19 平成18年6月1日発行

表紙 昭和の記憶—写真に甦る人々の情景— 出品作品紹介

須田一政《群馬館林 1976年6月6日》「風姿花伝」より

企画展示のご案内 昭和の記憶—写真に甦る人々の情景— 関連事業「鶴岡美紀十辻和美—光のかげら—」関連事業のご報告

「ウィリアム・モリス展」記念講演会

次回企画展示のご案内 夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ— 9月16日(日)~11月26日(日)

講演会、ワークショップ等参加者募集のお知らせ

「昭和の記憶—写真に甦る人々の情景—」記念講演会、ワークショップ、創作体験コーナーみんなのアトリエ「日光写真」

友の会だより 友の会総会のお知らせ、ミュージアムショップ近況報告



• GMAT News 20 平成18年9月1日発行

表紙 夢のなかの自然 出品作品紹介 福沢一郎《溺死》

企画展示のご案内 夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ— 関連イベント

特別展示のご案内 特別展示「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」2006年12月9日~2007年4月1日

「ウィリアム・モリス展」ワークショップのご報告

「昭和の記憶」フォト・ワークショップのご報告

企画展示「夢のなかの自然」関連イベント参加者募集のお知らせ

ワークショップ「わたしだけの風景☆多々良沼←→美術館絵図」、連続美術講座「夢のなかの自然」

友の会だより オータム・コンサートのお知らせ、10月会員を募集中です



• GMAT News 21 平成18年12月1日発行

表紙 特別展示 館林でみる 群馬県立近代美術館名品展 出品作品紹介 クロード・モネ《睡蓮》

特別展示のご案内 館林でみる 群馬県立近代美術館名品展

I 西洋の近代美術 12/9(土)~4/1(日)、II 日本の近代美術 12/9(土)~4/1(日)、III 墨絵の世界 12/9(土)~1/14(日)、IV 染織—伝統の技と美— 1/17(水)~2/18(日)、V ファイバー・ワーク 2/21(水)~4/1(日)

「近現代の彫刻IV」のご案内

次回企画展示のご案内 生誕100年 鶴岡政男展

「夢のなかの自然」ワークショップのご報告

美術講座「展示作品をめぐって」参加者募集のお知らせ

版画ワークショップ参加者募集のお知らせ

友の会だより ニューイヤーコンサートのお知らせ、活動報告



• GMAT News 22 平成19年3月1日

表紙 生誕100年 鶴岡政男展—無頼の遊技— 出品作品紹介 鶴岡政男《出口はどこ》

企画展示のご案内 生誕100年 鶴岡政男展—無頼の遊戯— 関連事業 特別展示のご案内 特別展示「館林でみる 群馬県立近代美術館名品展」

現在開催中~4月1日(日)まで

テーマ展示のご案内

2006年度「子どもミュージアム・スクール」のご報告と2007年度参加者募集

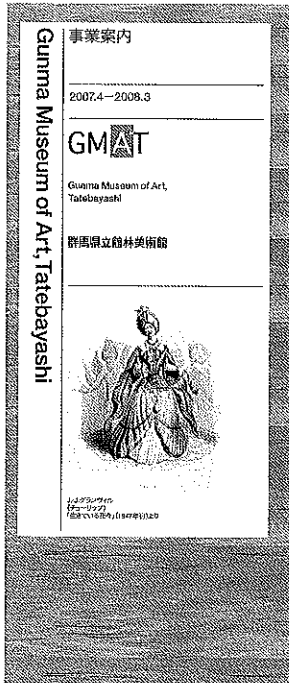
「生誕100年鶴岡政男展」関連事業参加者募集のお知らせ

座談会「父、鶴岡政男を語る」、ワークショップ「ツルオカさんの絵から音楽を作ろう(仮)」

友の会だより 4月会員を募集しています、ミュージアムショップ近況報告、ニューイヤーコンサートのご報告、平成18年度友の会賛助会員一覧

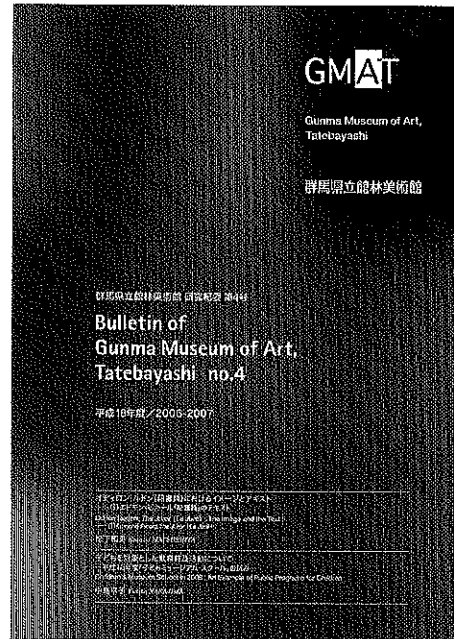


◎群馬県立館林美術館平成19年度事業案内
 B4変形 4つ折り
 平成19年3月発行
 発行部数30,000部

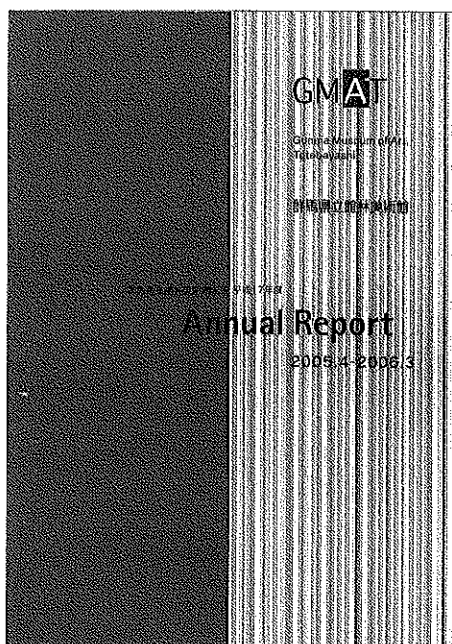


◎群馬県立館林美術館平成18年度研究紀要
 A4判 42頁
 平成19年3月発行
 発行部数700部

内容：
 松下和美 「オディロン・ルドン《陪審員》におけるイメージとテキスト—(1)エドモン・ピカール「陪審員」のテキスト」
 中島幸子 「子どもを対象とした教育普及活動について—平成18年度「子どもミュージアム・スクール」の試み—」



◎群馬県立館林美術館平成17年度年報
 A4判 89頁
 平成19年3月発行
 発行部数900部



K ボランティア

企画展示「昭和の記憶」開催時に、以下のとおりボランティアを募集した。

期日	名称	人数
7.26-8.24	創作体験コーナー「みんなのアトリエ」作業補助ボランティア	26

L 博物館実習

1. 実習生 4名

千葉大学	文学部国際言語文化学科比較文化論コース 1名
武蔵野美術大学	造形学部映像学科 1名
和光大学	表現学部芸術学科グラフィック・デザイン専攻 1名
共立女子大学	文芸学部文学専攻文芸メディアコース 1名

2. 実施期間 平成18年8月15日～20日

3. 実習内容 ◎講義

- ・ 館長講話
- ・ 美術館の概要
- ・ 美術館の学芸業務
- ・ 美術館の教育普及活動
- ・ 美術館の施設管理・運営
- ・ 美術館の環境管理
- ・ 美術館の警備
- ・ 資料の保存と管理

◎実習作業

- ・ 企画展、関連事業の見学
- ・ 創作体験コーナー「みんなのアトリエ」補助
- ・ 美術品の取り扱い
- ・ 来館者インタビュー
- ・ 展示用具整理
- ・ 監視体験
- ・ 広報物の発送準備
- ・ 図書整理
- ・ 課題の作成、発表
- ①「自然と人間のかかわり」をテーマとしている館林美術館で開催したい展覧会
- ②「自然と人間のかかわり」をテーマとしている館林美術館で開催したい教育プログラム
- ③館林美術館をより魅力的な場にするための提案

M 友の会(群馬県立館林美術館友の会)

1. 運営会議

- (1) 総会(7月1日)
- (2) 理事会(7月1日);会運営の方針等重要事項の審議
- (3) 運営委員会(3回、5月16日、7月1日、10月24日);事業の運営企画等具体事項の協議

2. 美術館協力支援事業

- (1) ミュージアム・ショップの運営(平成18年4月～3月、平成19年12ヶ月);展覧会図録、ポストカード、美術関係書籍その他の展示販売をとおり、来館者へのサービスに努めた。
- (2) 美術館支援:美術館活動に必要な図書の寄贈。

3. 会員対象事業

- (1) 美術館情報の提供;5回。会員に対し、「GMAT News」、展覧会・美術館事業の広報資料を送付。
- (2) ミュージアムツアーの開催;美術の鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者数40名。
訪問先:山種美術館、東京国立近代美術館
- (3) オータムコンサート(10月1日);音楽の鑑賞(ピアノ、ベース、シャンソン)と会員相互の親睦を深めた。参加者数175名。
出演者:武藤晶子、菊池敦彦、朝倉まみ
- (4) ニューイヤーコンサート(1月12日);音楽の鑑賞(ピアノ、バリトン)と会員相互の親睦を深めた。参加者数151名。
出演者:細田秀一、小林一博

1. 作品収蔵状況 平成19年3月31日現在

作家区分 収蔵方法	県内作家			国内作家			外国作家			総計
	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	
部門										
日本画	3	1	4	1	0	1	0	0	0	5
油彩その他	7	0	7	16	0	16	6	0	6	29
水彩・素描	11	0	11	3	0	3	8	0	8	22
版画	13	0	13	236	252	488	37	0	37	538
写真	0	0	0	42	0	42	12	0	12	54
彫刻	5	0	5	4	2	6	125	0	125	136
染織・工芸	5	0	5	3	0	3	4	0	4	12
計	44	1	45	305	254	559	192	0	192	796

2. 平成18年度 収蔵作品

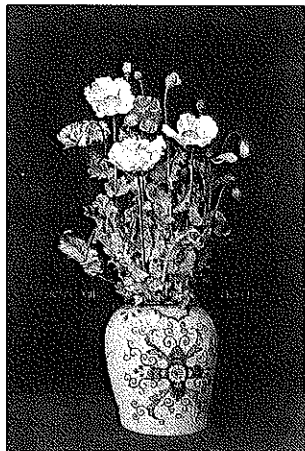
平成18年度においては、油彩その他4点(購入4点)、写真10点(購入10点)の計14点を新たに収蔵した。以下、区分ごとに日本人作家、外国人作家の順番に分け、前者は50音順、後者はアルファベット順に配列している。

各作品データは、以下の順に記す(版画等は、共通するデータを最初に記す)。

- 作者名(生没年)
- 作品名
- 制作年(日本人作家の場合は元号も付す)
- 技法・材質(・形状)
- 寸法(平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行、単位はcm、版画作品は原則としてイメージサイズを示す)
- サイン、年記、その他の記載事項(版画作品の場合は原則として限定番号を記す)
- 発表展覧会および受賞記録
- 受入種別(寄贈の場合は寄贈者名を併記)
- 受入番号

〈油彩その他〉

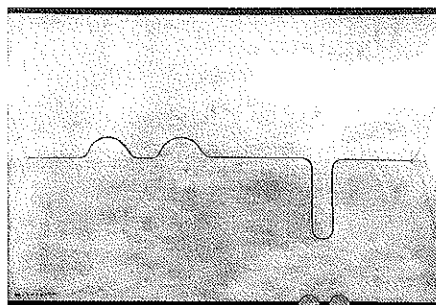
小糸源太郎 (1887~1978)
KOITO Gentaro
けしの花
1933(昭和8)年
油彩・カンヴァス
114.4×77.2
画面中央部に年記とサイン
「MCMXXXIII G.KoiTo」
生誕100年記念 小糸源太郎展
(石川県立美術館ほか、1988年)
購入
783



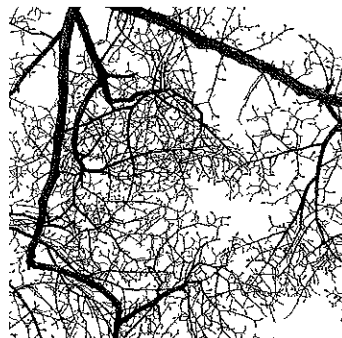
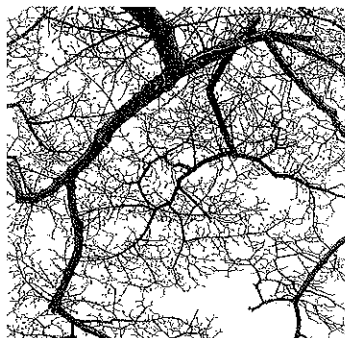
近藤正勝 (1962~)
KONDO Masakatsu
Eerie tree by the lake
2006(平成18)年
油彩・カンヴァス
195.0×142.0
作品裏面に題名と署名及び年記
夢のなかの自然—昭和初期のシュ
ルレアリスムから現代の絵画へ
(群馬県立館林美術館、2006年)
購入
786



鶴岡政男 (1907~1979)
TSURUOKA Masao
地表
1971(昭和46)年
油彩・カンヴァス
130.6×193.7
画面左下に署名「m.Turuoka」
作品裏面に題名「地表」
第10回現代日本美術展(東京都美
術館、1971年)
購入
784

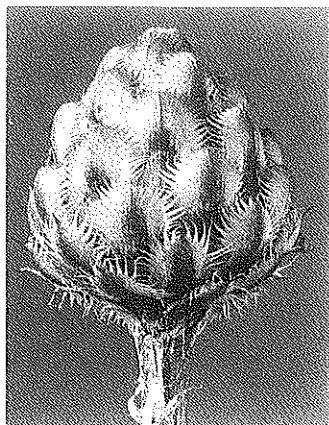


日高理恵子 (1958~)
HIDAKA Rieko
空との距離III
2004(平成16)年
岩絵具・麻紙
200.0×200.0(左)、150.0×150.
0(中)、170.0×170.0(右)(3点組)
各作品裏面に題名「空との距離
III」、署名「日高理恵子」、年記
「2004年」
個展(ギャラリー16、2004年)
購入
785

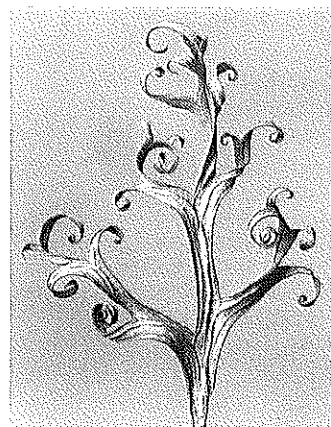


<写真>

カール・プロスフェルト
(1865~1932)
Karl BROSSFELDT
ヤグルマギクの花
1920年代(2005年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント・紙
30.0×20.0(ペーパーサイズ)
作品裏面に、タイトル、ed.15/50、
スタンプ、プリント年
プリント:ドイツ、カール・プロス
フェルト・アルヒーフ、アン・ウン
ト・ユージェン・ヴィルデ夫妻
購入
787



カール・プロスフェルト
(1865~1932)
Karl BROSSFELDT
ヒエンソウ 乾いた葉の一
部
1920年代(2003年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント・紙
30.0×20.0(ペーパーサイズ)
作品裏面に、タイトル、ed.12/50、
スタンプ、プリント年
プリント:ドイツ、カール・プロス
フェルト・アルヒーフ、アン・ウン
ト・ユージェン・ヴィルデ夫妻
購入
788



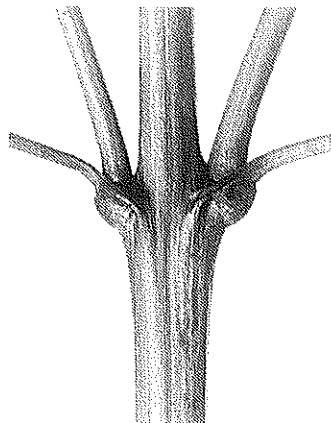
カール・プロスフェルト
(1865~1932)
Karl BROSSFELDT
オシダ 渦巻状の若い複葉
1920年代(2001年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント・紙
30.0×20.0(ペーパーサイズ)
作品裏面に、タイトル、ed.44/50、
スタンプ、プリント年
プリント:ドイツ、カール・プロス
フェルト・アルヒーフ、アン・ウン
ト・ユージェン・ヴィルデ夫妻
購入
789



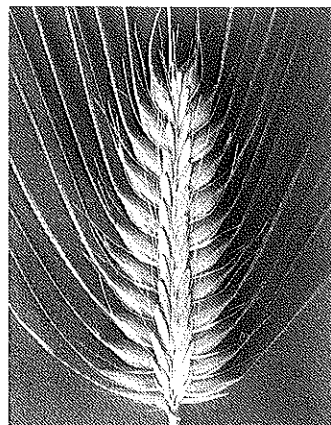
カール・プロスフェルト
(1865~1932)
Karl BROSSFELDT
マメ 若い羽状複葉
1920年代(2000年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント・紙
30.0×20.0(ペーパーサイズ)
作品裏面に、タイトル、ed.12/50、
スタンプ、プリント年
プリント:ドイツ、カール・プロス
フェルト・アルヒーフ、アン・ウン
ト・ユージェン・ヴィルデ夫妻
購入
790



カール・プロスフェルト
(1865~1932)
Karl BROSSFELDT
分枝
1920年代(2001年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント・紙
30.0×20.0(ペーパーサイズ)
作品裏面に、タイトル、ed.5/25、ス
タンプ、プリント年
プリント:ドイツ、カール・プロス
フェルト・アルヒーフ、アン・ウン
ト・ユージェン・ヴィルデ夫妻
購入
791



カール・プロスフェルト
(1865~1932)
Karl BROSSFELDT
オオムギ
1920年代(2003年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント・紙
30.0×20.0(ペーパーサイズ)
作品裏面に、タイトル、ed.8/25、ス
タンプ、プリント年
プリント:ドイツ、カール・プロス
フェルト・アルヒーフ、アン・ウン
ト・ユージェン・ヴィルデ夫妻
購入
792



カール・ブロスフェルト
(1865~1932)

Karl BROSSFELDT

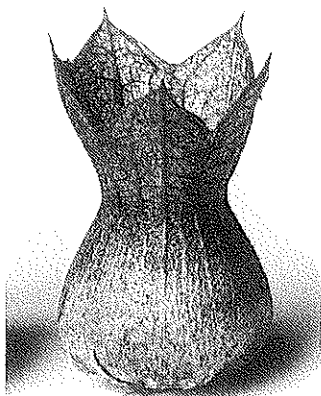
ヒヨスの萼

1920年代(2001年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント・紙
30.0×20.0 (ペーパーサイズ)
作品裏面に、タイトル、ed.23/50、
スタンプ、プリント年

プリント:ドイツ、カール・ブロス
フェルト・アルヒーフ、アン・ウン
ト・ユージェン・ヴィルデ夫妻

購入

793



カール・ブロスフェルト
(1865~1932)

Karl BROSSFELDT

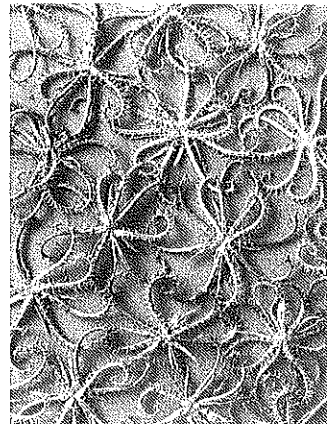
コエルピニアの種子

1920年代(2000年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント・紙
30.0×20.0 (ペーパーサイズ)
作品裏面に、タイトル、ed.6/25、ス
タンプ、プリント年

プリント:ドイツ、カール・ブロス
フェルト・アルヒーフ、アン・ウン
ト・ユージェン・ヴィルデ夫妻

購入

794



カール・ブロスフェルト
(1865~1932)

Karl BROSSFELDT

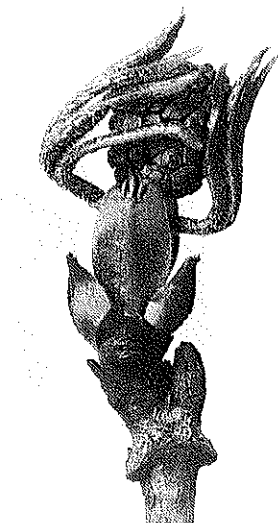
ニワトコ

1920年代(2005年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント・紙
30.0×20.0 (ペーパーサイズ)
作品裏面に、タイトル、ed.13/50、
スタンプ、プリント年

プリント:ドイツ、カール・ブロス
フェルト・アルヒーフ、アン・ウン
ト・ユージェン・ヴィルデ夫妻

購入

795



カール・ブロスフェルト
(1865~1932)

Karl BROSSFELDT

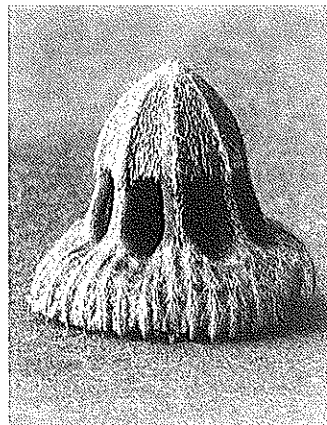
マツムシソウの種子

1920年代(2000年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント・紙
30.0×20.0 (ペーパーサイズ)
作品裏面に、タイトル、ed.14/25、
スタンプ、プリント年

プリント:ドイツ、カール・ブロス
フェルト・アルヒーフ、アン・ウン
ト・ユージェン・ヴィルデ夫妻

購入

796



3.平成18年度 寄託作品

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)
和南城孝志	Archetypus 空間への旅 I	1979	ブロンズ	12.0×35.0×35.0
和南城孝志	Archetypus 円のイメージ	1981	黒大理石	20.0×50.0×50.0
和南城孝志	Archetypus 空間への旅 II	1983	ブロンズ、錫	10.0×30.0×30.0
山口啓介	花の心臓／蕊柱	2003	顔料、樹脂・カンヴァス	270.0×181.0

4.館蔵作品貸出状況

4-1. 館蔵作品貸出状況

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会場・会期
パウル・クレー	子どもたち	豊田市美術館	内なるこども	豊田市美術館 4.14-6.18
パウル・クレー	子どもたち	川村記念美術館 北海道立近代美術館 宮城県美術館 東京新聞事業局	パウル・クレー 創造の物語	川村記念美術館 6.24-8.20 北海道立近代美術館 8.29-10.9 宮城県美術館 10.17-12.10
柄澤齊	『樹々の家族』より30点 No.1~7,9,15~18,20~24,26, 28,29,36,38,41,43,46,52~54, 59,60	栃木県立美術館 神奈川県立近代美術館 日本経済新聞社文化・事業局	柄澤齊展 版画、オブジェ 水彩、本 1971-2006	栃木県立美術館 7.16-9.3 神奈川県立近代美術館 10.28-12.24

5.保存・修復

作者名	作品名	技法・材質	種別	処置内容
バリー・フラナガン	鐘上の野兎	ブロンズ	彫刻	ブロンズ表面コーティング
鶴岡政男	西方の聖	墨・紙	水彩・素描	旧裏打の除去、脱酸、裂けの繕い、新裏打

B 図書資料その他

平成18年度 収蔵図書

種類区分	一般図書	定期刊行物	カタログ	年報目録	研究報告	その他	計
購入	122	117	23	0	0	0	262
寄贈	153	55	530	118	101	1	958
計	275	172	553	118	101	1	1,220

関係者および職員名簿

(平成18年 8月1日現在)

群馬県立館林美術館作品収集委員

氏名	職名
雪山行二	横浜美術館館長
水澤勉	神奈川県立近代美術館企画課長
横山勝彦	練馬区立美術館主査(学芸員)
古田亮	東京藝術大学大学美術館助教授

職員名簿

(平成18年4月1日～19年3月31日)

館長 木島俊介
副館長 稲垣泰男
次長 寺島淳(総務普及グループリーダー)

〈総務普及グループ〉

補佐 貝塚則一
専門員(学芸員) 中島幸子
主任 古屋達夫
主任学芸員 伊藤佳之
主事 堀口英子
教育普及員 最上雅世
福田香織
紅屋浩子
齋藤久美子
森紗耶佳

〈学芸グループ〉

学芸グループリーダー
徳江庸行
専門員(学芸員) 松下由里
主任学芸員 松下和美
主任学芸員 伊藤香織
学芸員 中田宏明
資料整理員 伊羅子典代

群馬県立館林美術館年報 平成18年度

印刷・発行 平成20年3月
編集・発行 群馬県立館林美術館
〒374-0076
群馬県館林市日向町2003
Tel.0276-72-8188
フォーマット・デザイン
矢萩喜從郎
制作 朝日印刷工業株式会社